

高知女子大学年報

平成 1 7 年度



高知女子大学

目 次

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 概 要 | |
| 1 理念及び教育目標 | 1 |
| 2 名称及び所在地 | 1 |
| 2 沿 革 | |
| 1 概 要 | 2 |
| 2 沿 革 図 | 2 |
| 3 主要年表 | 3 |
| 4 名誉教授 | 5 |
| 3 組織及び教職員 | |
| 1 組 織 | 6 |
| 2 教 員 | 8 |
| 3 事務局職員 | 2 4 |
| 4 教育及び研究 | |
| 1 学部・大学院の概要 | 2 5 |
| 2 教育科目及び受講者の状況 | 2 7 |
| 3 教員免許及び国家資格の状況 | 3 9 |
| 4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況 | 4 0 |
| 5 学部別 F D 活動実施状況 | 4 6 |
| 5 学 生 | |
| 1 行事実績 | 4 7 |
| 2 入学の状況 | 4 8 |
| 3 学生数 | 5 6 |
| 4 休学・退学・長期履修者及び単位互換の状況 | 5 7 |
| 5 課外活動 | 5 9 |
| 6 保健管理状況 | 6 0 |
| 7 授業料等の状況 | 6 1 |
| 8 日本学生支援機構奨学金受給状況 | 6 2 |
| 9 卒業（修了）者の状況 | 6 4 |
| 6 総合情報センター | 6 7 |
| 7 国際交流 | 6 8 |
| 8 開かれた大学 | |
| 1 公開講座等実施状況 | 6 9 |
| 2 学会その他の委員等の状況 | 7 1 |
| 3 刊行物、パンフレット等作成状況 | 7 6 |
| 9 J I C A プロジェクト | 7 7 |
| 10 財 務 | |
| 1 収入・支出の状況 | 7 8 |
| 2 外部資金の状況 | 8 0 |
| 3 学長特別枠助成事業の状況 | 8 7 |
| 11 キャンパス | |
| 1 土 地 | 8 9 |
| 2 建 物 | 8 9 |
| (教員の研究や社会的な活動につきましてはここでは省略しています。) | |

1 概 要

1 理念及び教育目標

理 念

50年にわたり一貫して女子教育に貢献してきた伝統を尊重しながら、新しい時代の要請に応え得る質的な変革を行い、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して、次の教育を重視する。

21世紀における
新しい価値観の創造

地域文化の創造

豊かな
人間性の涵養

教育目標

本学は、教育基本法に基づき、広く知識を授け、専門の学芸を教授研究し、もって人格の向上を図るとともに、平和と文化の発展及び福祉の増進に貢献しうる女性を育成し、併せて地域社会の向上に寄与することを目的とする。

2 名称及び所在地

| 名 称 | 所 在 地 | TEL・FAX |
|---------------------------------|--|--|
| 生活科学部 | < 永国寺キャンパス > 〒780-8515 高知市永国寺町 5 番 15 号 | Tel 088-873-2156 (代表) Fax 088-873-3934 |
| 文化学部 | | |
| 大学院人間生活学研究科 (生活科学領域、文化領域) | | |
| 大学院健康生活科学研究科(生活科学領域) | | |
| 事務局 | | |
| 附属図書館本館 | < 池キャンパス > 〒781-0111 高知市池 2751 番地 1 | Tel 088-847-8700 (代表) Fax 088-847-8670 |
| 看護学部 | | |
| 社会福祉学部 | | |
| 大学院看護学研究科 | | |
| 大学院人間生活学研究科(社会福祉領域) | | |
| 大学院健康生活科学研究科 (看護学領域、社会福祉学領域) | | |
| 事務局池事務室 | | |
| 附属図書館池図書室 | | |

2 沿革

1 概要

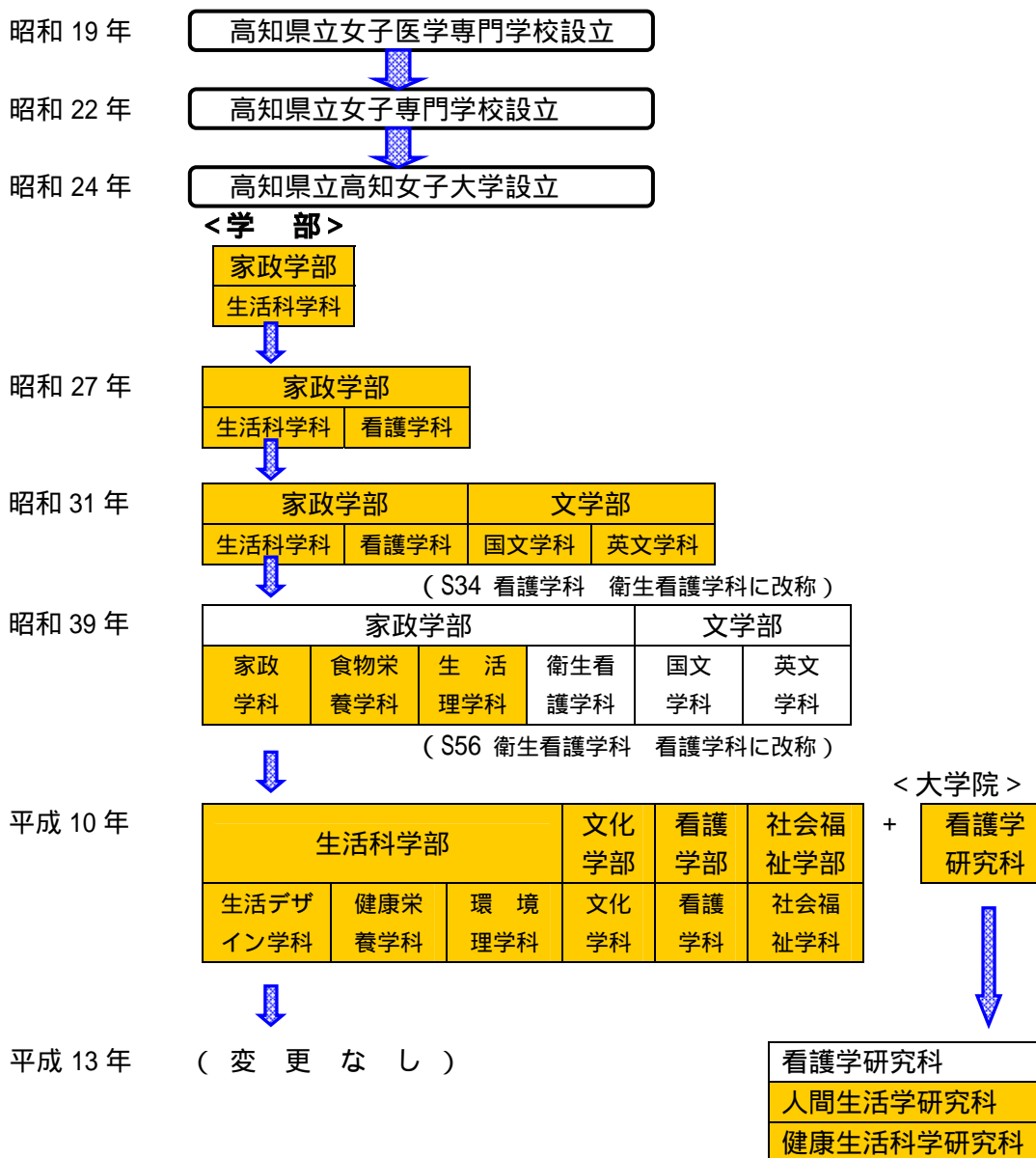
高知女子大学は、昭和22年設立の高知県立女子専門学校を母体として、同24年2月に文部省の設立認可を受け、家政学部生活科学科の単科大学として開学した。

その後、昭和31年に文学部を新設して2学部となった。

平成10年4月には、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して大規模な改組を行い、生活科学部・文化学部・看護学部・社会福祉学部の4学部6学科体制となるとともに、大学院看護学研究科を新設した。

また、平成13年には、大学院に人間生活学研究科及び健康生活科学研究科を増設し、現在に至っている。

2 沿革図



3 主要年表

| | |
|-------------|---|
| 昭和19年12月29日 | 高知県立女子医学専門学校設立認可 |
| 昭和20年 8月 8日 | 医学専門学校開学式及び入学式 |
| 昭和22年 3月31日 | 高知県立女子専門学校設立認可 (県議会で2月25日女子医学専門学校廃止、女子専門学校設置の決議) |
| 昭和24年 2月21日 | 昭和22年創立の県立女子専門学校を母体とし、県立高知女子大学(家政学部生活科学科)設立認可 |
| 昭和24年 4月 1日 | 初代学長岡本重雄就任 |
| 昭和25年 4月 1日 | 家政学部生活科学科を栄養士養成施設として指定 |
| 昭和26年 3月31日 | 教職課程を設置、中学校・高等学校教諭(家庭)免許状授与資格を取得させるための課程として認定 |
| 昭和27年 2月20日 | 家政学部に看護学科増設認可 |
| 昭和27年 3月18日 | 学長岡本重雄退職、教授福田俊治学長事務取扱に就任 |
| 昭和27年 9月22日 | 看護婦学校として指定 |
| 昭和27年10月 1日 | 第二代学長志波清時就任 |
| 昭和29年 3月21日 | 学長病気のため教授中村慶三郎学長代理に就任 |
| 昭和29年 4月 1日 | 正規の課程及び聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(理科、保健、家庭、英語)・養護教諭の免許状授与の資格を取得させるための課程として認定 |
| 昭和30年 3月29日 | 保健婦学校として指定 |
| 昭和30年 9月10日 | 第三代学長中村慶三郎就任 |
| 昭和31年 3月 1日 | 文学部(国文学科、英文学科)増設認可 |
| 昭和32年 4月 1日 | 正規の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与資格を取得させるための課程として認定 |
| 昭和34年 4月 1日 | 家政学部看護学科を衛生看護学科に改称 |
| 昭和34年12月 1日 | 第四代学長紫藤貞一郎就任 |
| 昭和38年 8月 3日 | 学長紫藤貞一郎退職、教授田中亮学長事務取扱に就任 |
| 昭和39年 4月 1日 | 家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称 |
| 昭和39年 4月10日 | 第五代学長徳田弥就任 |
| 昭和41年 3月31日 | 附属図書館新館落成 |
| 昭和42年12月10日 | 家政学部実験棟新館落成 |
| 昭和43年 4月10日 | 第六代学長藤本薫喜就任 |
| 昭和43年10月15日 | 管理棟及び講義棟新館落成 |
| 昭和44年 9月10日 | 講堂兼体育館落成 |
| 昭和45年 4月 2日 | 第七代学長安中正哉就任 |

| | | |
|-------|--------|--|
| 昭和46年 | 3月31日 | 学生寮落成 集団給食実習室落成 |
| 昭和46年 | 4月1日 | 正規の課程及び聴講生の課程を高等学校教諭（看護）免許状授与資格を取得させるための課程として認定 |
| 昭和47年 | 3月31日 | 作法室落成 |
| 昭和48年 | 11月7日 | 運動場完成 |
| 昭和55年 | 4月2日 | 第八代学長岡崎正一就任 |
| 昭和55年 | 10月7日 | 南学舎改築学生会館新築落成 |
| 昭和56年 | 4月1日 | 家政学部衛生看護学科を看護学科に改称 |
| 昭和59年 | 4月2日 | 第九代学長木原正雄就任 |
| 昭和62年 | 11月15日 | 情報処理施設設置 |
| 昭和63年 | 6月28日 | 附属図書館増改築落成 |
| 平成2年 | 3月26日 | 聴講生の課程を中学校・高等学校教諭（国語）免許状授与資格を取得させるための課程として認定 |
| 平成2年 | 3月27日 | 弓道場落成 |
| 平成2年 | 4月2日 | 第十代学長池川順子就任 |
| 平成8年 | 4月2日 | 第十一代学長成田十次郎就任 |
| 平成10年 | 3月31日 | 池校舎落成 |
| 平成10年 | 4月1日 | 改組 生活科学部(生活デザイン学科・健康栄養学科・環境理学科) 文化学部（文化学科） 看護学部（看護学科） 社会福祉学部（社会福祉学科） 大学院看護学研究科 高知女子大学保育短期大学部廃止 |
| 平成13年 | 4月1日 | 大学院増設 大学院人間生活学研究科 大学院健康生活科学研究科 |
| 平成15年 | 1月22日 | 第十二代学長吉野公喜就任 |
| 平成15年 | 4月1日 | 第十三代学長青山英康就任 管理栄養士養成施設として認定 |
| 平成16年 | 4月1日 | 高等学校教諭（福祉）免許状資格取得の大学学部等の課程として認定 |
| 平成17年 | 4月1日 | 栄養教諭免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定 |

4 名 誉 教 授

現在までに名誉教授の称号を授与された方々は、43名である。

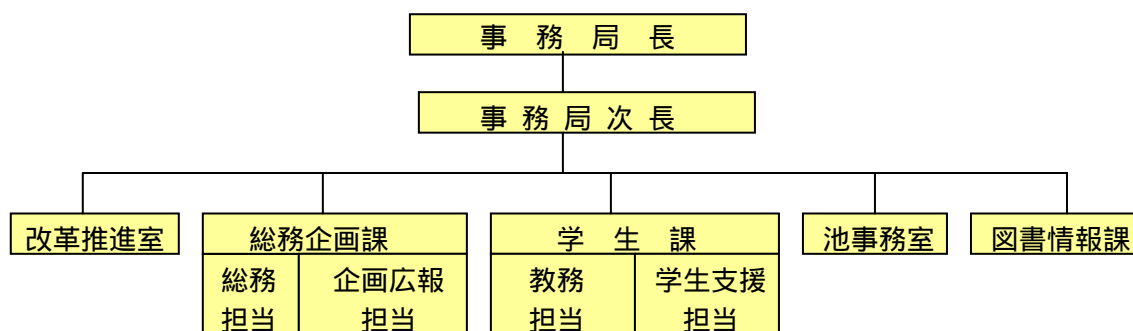
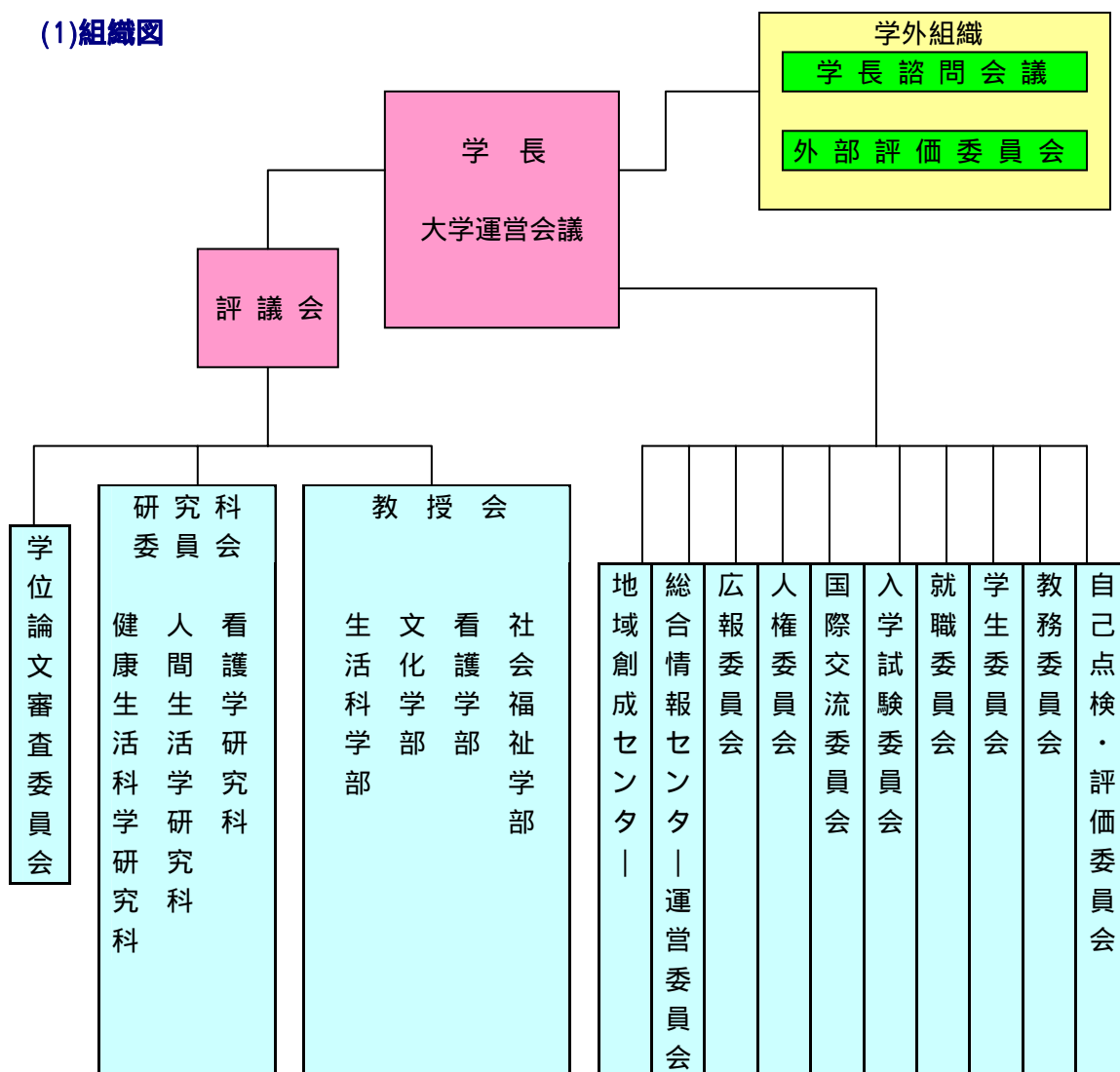
(平成18年3月31日現在)

| | 氏 名 | 学部(退職時) | 授与年月日 | | 氏 名 | 学部(退職時) | 授与年月日 |
|----|---------|---------|------------|----|----------|---------|------------|
| 1 | 正 木 喬 | 文 学 部 | 昭和46. 7.12 | 26 | 岡 崎 芳 子 | 家政学部 | 平成 9. 4. 1 |
| 2 | 田 中 亮 | 家政学部 | 昭和48. 5. 7 | 27 | 宇 久 真 雄 | 文 学 部 | 平成 9. 4. 1 |
| 3 | 市 川 一 夫 | 家政学部 | 昭和48. 5. 7 | 28 | 徳 満 澄 雄 | 文 学 部 | 平成 9. 4. 1 |
| 4 | 笹 原 邦 彦 | 家政学部 | 昭和50. 5.19 | 29 | 中 山 喜代子 | 家政学部 | 平成10. 4. 1 |
| 5 | 山 崎 良 幸 | 文 学 部 | 昭和50. 5.19 | 30 | 金 谷 嘉 郎 | 文化学部 | 平成11. 4. 1 |
| 6 | 丸 山 和 雄 | 文 学 部 | 昭和50. 5.19 | 31 | 岡 本 健 児 | 文 学 部 | 平成12. 4. 1 |
| 7 | 和 井 兼 尾 | 家政学部 | 昭和51.12.20 | 32 | 橋 本 名 正 | 文化学部 | 平成12. 4. 1 |
| 8 | 深 瀬 亀 美 | 家政学部 | 昭和52. 6.27 | 33 | 秋 田 利 彦 | 生活科学部 | 平成12. 7. 7 |
| 9 | 三 宮 慎 助 | 文 学 部 | 昭和54. 4.19 | 34 | 濱 田 美 智 | 社会福祉学部 | 平成13. 4. 1 |
| 10 | 安 中 正 哉 | 学 長 | 昭和55. 4.10 | 35 | 藤 田 加 代 | 文化学部 | 平成14. 4. 1 |
| 11 | 山 本 壽 春 | 家政学部 | 昭和55. 4.10 | 36 | 坂 本 肇 | 文化学部 | 平成14. 4. 1 |
| 12 | 岩 貞 好 | 家政学部 | 昭和55. 4.10 | 37 | 寺 内 アヤ子 | 生活科学部 | 平成14. 4. 1 |
| 13 | 赤 沢 時 之 | 家政学部 | 昭和56. 4.10 | 38 | 山 崎 美 恵子 | 看護学部 | 平成14. 4. 1 |
| 14 | 芝 田 不二男 | 家政学部 | 昭和59. 4.10 | 39 | 津 曲 裕 次 | 社会福祉学部 | 平成14. 4. 1 |
| 15 | 畠 中 幸 | 文 学 部 | 昭和60. 4.10 | 40 | 今 西 一 實 | 社会福祉学部 | 平成14. 4. 1 |
| 16 | 作 田 芳 次 | 家政学部 | 昭和62. 4.10 | 41 | 松 本 女 里 | 看護学部 | 平成15. 4. 1 |
| 17 | 平 見 嘉 彦 | 家政学部 | 平成 3. 5.10 | 42 | 生 田 勝 彦 | 文化学部 | 平成15. 4. 1 |
| 18 | 児 平 文 雄 | 家政学部 | 平成 4. 4. 1 | 43 | 阿 部 捷 男 | 生活科学部 | 平成16. 4. 1 |
| 19 | 松 崎 淳 子 | 家政学部 | 平成 4. 4. 1 | | | | |
| 20 | 山 崎 智 子 | 家政学部 | 平成 6. 4. 1 | | | | |
| 21 | 市 村 金次郎 | 文 学 部 | 平成 7. 4. 1 | | | | |
| 22 | 矢 野 昭 典 | 文 学 部 | 平成 8. 4. 1 | | | | |
| 23 | 藤 村 千 賀 | 家政学部 | 平成 8. 4. 1 | | | | |
| 24 | 池 川 順 子 | 学 長 | 平成 8. 4. 1 | | | | |
| 25 | 松 崎 沙和子 | 家政学部 | 平成 9. 4. 1 | | | | |

3 組織及び教職員

1 組織 (平成 17 年度)

(1)組織図



(2)教職員構成

(平成17年4月1日現在)

| 区分 | 教 員 | | | | | | | 事務局職員 | | | | 合計 | |
|-----|--------|-----|----|-----|----|----|----|-------|------|-----|----|-----|----|
| | 学長 | 副学長 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | 計 | 局長 | 事務職員 | その他 | 計 | | |
| 現 員 | 1 | 0 | 39 | 21 | 16 | 17 | 94 | 1 | 26 | 2 | 29 | 123 | |
| 内 訳 | 学 長 | 1 | | | | | 1 | / | | | | | |
| | 生活科学部 | | | 13 | 5 | 5 | 8 | | | | | | 31 |
| | 文化学部 | | | 11 | 9 | 3 | | | | | | | 23 |
| | 看護学部 | | | 10 | 4 | 5 | 8 | | | | | | 27 |
| | 社会福祉学部 | | | 5 | 3 | 3 | 1 | | | | | | 12 |

(3)平成17年度新規採用教員数

| | 教 授 | 助教授 | 講 師 | 助 手 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|----|
| 生活科学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| 文化学部 | | | 1 | | 1 |
| 看護学部 | 1 | | 1 | 3 | 5 |
| 社会福祉学部 | | | 1 | | 1 |
| 計 | 2 | 1 | 4 | 3 | 10 |

(4)評 議 員

(平成17年4月1日現在)

| | 職 名 | 氏 名 | 職 名 | 氏 名 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-----------|-------|------------------------|-------|-----------|-------|
| 評 議 員 | 学 長 | 青山 英康 | 文化学部長 | 水谷 洋一 | 地域創成センター長 | 佐藤 厚 |
| | 副学長 | | 看護学部長 | 野嶋佐由美 | 生活科学部教授 | 渡邊 文雄 |
| | 学生部長 | 井本 正人 | 社会福祉学部長 | 前山 智 | 文化学部教授 | 芋生 裕信 |
| | 総合情報センター長 | 山田 覚 | 大学院課程長 (健康生活科学研究科長) | 鈴木志津枝 | 看護学部教授 | 藤田 佐和 |
| | 教務部長 | 芝田不比人 | 看護学研究科長 | 中野 綾美 | 社会福祉学部教授 | 川崎 育郎 |
| | 生活科学部長 | 一色 健司 | 人間生活学研究科長 | 荻沼 一男 | 事務局長 | 樫谷 幸男 |

(運営会議メンバー)

2 教 員 (平成17年度)

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|-------|------|--------------------|----------------|---------|----------|
| 学長 | 青山 英康 | 1935 | 岡山大学大学院医学研究科 修了 | 医学博士 (岡山大学) | | |

【学 部】(平成17年度)

生活科学部生活デザイン学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|--------|------|-----------------------------|----------------------|-------------------------|---|
| 教授 | 井本 正人 | 1949 | 京都大学大学院経済学研究科 博士課程修了 | 経済学修士 (京都大学) | 生活経営学, 生活経済学 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究 |
| 教授 | 宇野 浩三 | 1952 | 北海道大学大学院工学研究科 博士課程単位取得退学 | 工学博士 (北海道大学) | 住居学, 居住地計画論 | <ul style="list-style-type: none"> ・水切り瓦・土佐漆喰と左官職 ・住まい・まち・環境教育と協働型教育 ・住宅・住様式の地域性 ・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン ・住民主体のまちづくりとまちづくり学習 |
| 助教授 | 團野 哲也 | 1956 | 東京工業大学大学院理工学研究科 博士課程修了 | 工学博士 (東京工業大学) | 被服材料学, 生活材料 物理化学 | <ul style="list-style-type: none"> ・材料の分光学的キャラクタリゼーション |
| 助教授 | 三浦 要一 | 1965 | 大阪市立大学大学院生活科学研究科 博士課程修了 | 博士(学術) (大阪市立大学) | 住生活学, 住文化史 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究 |
| 助教授 | 松本 由香 | 1959 | 奈良女子大学大学院家政学研究科 修士課程修了 | 修士(家政学) (奈良女子大学) | 衣生活学, ユニバーサル デザイン基礎論 | <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアおよび日本の現代ファッションと伝統染織文化、ユニバーサルファッションに関する研究 |
| 講 師 | 村瀬 敬子 | 1971 | 武庫川女子大学大学院家政学研究科 修士課程修了 | 修士(家政学) (武庫川女子大学) | 基礎デザイン論, アパレル 情報論 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活財の普及と生活意識に関する研究 ・情報化とライフスタイルに関する研究 |
| 助 手 | 川口 順子 | 1948 | 高知女子大学大学院人間生活学研究科 修士課程修了 | 修士(生活科学) (高知女子大学) | 服飾造形実習, アパレル デザイン実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の色彩弁別能力に関する研究 ・虹彩の違いが色の見えに及ぼす影響について ・高齢者のための色彩計画・色彩のユニバーサルデザインについて ・植物の天然色素の染色性に関する研究 |
| 助 手 | 島崎 佐智代 | 1972 | 日本女子大学大学院家政学研究科 修士課程修了 | 修士(家政学) (日本女子大学) | 住居設計実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・高知市戦災復興期都市計画の史的考察 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|--------|------|------------------------|--|----------------|---|
| 助手 | 本村 めぐみ | 1971 | 奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了 | 博士(生活環境学) (奈良女子大学) 修士(家政学) (奈良女子大学) | 生活調査実習, 情報科学演習 | 現代における家族、親子、個々人の「自立」を“シチズンシップ”という概念を見据えて研究テーマにしています。とくに家族内部において、成人子とその親が家庭外の“公共的な領域”でいかなる地位のもとで権利を獲得し、義務を果たしているのかという問題の相互的なかわりを考察しています。 |

生活科学部健康栄養学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|--------|------|---------------------------|--------------------|----------------|--|
| 教授 | 佐藤 厚 | 1948 | 徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了 | 保健学博士 (徳島大学) | 生化学、健康栄養学 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の転倒防止について ・ヒト唾液を用いた糖尿病早期発見のための指標開発 ・生活習慣病の発症予防のための行動変容に関する研究 |
| 教授 | 川村 美笑子 | 1949 | 東北大学大学院農学研究科中途退学 | 農学博士 (東北大学) | 健康科学論、応用栄養学 | <ul style="list-style-type: none"> ・食環境と脳機能 ・必須微量栄養素の生体内動態 ・生活習慣病と食生活スタイル |
| 教授 | 渡邊 文雄 | 1958 | 大阪府立大学大学院農学研究科博士課程終了 | 農学博士 (大阪府立大学) | 基礎食品学, 食品学実験 | <ul style="list-style-type: none"> ・食品に含まれるビタミンB₁₂の特性と栄養評価 ・ビタミンB₁₂の食事摂取基準策定に関する研究 ・ビタミンB₁₂酵素の比較生化学的研究 ・食用藻類の栄養成分強化に関する研究 |
| 教授 | 笠原 賀子 | 1955 | 徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了 | 保健学博士 (徳島大学) | 栄養教育論, 学校栄養指導論 | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食教育の方法論に関する研究 ・コーチングの栄養指導への応用に関する研究 ・子どもの栄養・食生活に関する研究 ・栄養士・管理栄養士の養成に関する基礎的研究 |
| 教授 | 野並 芳樹 | 1951 | 山口大学医学部医学科 | 医学博士 (山口大学) | 臨床病態学 | immunonutritionに関する効能の解明・開発、並びに飲食品の抗酸化力に関する研究 |
| 助教授 | 佐藤 之紀 | 1961 | 東京大学大学院博士課程中途退学 | 博士(学術) (奈良女子大学) | 食品の物性と機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・食品と水との関わり |
| 助教授 | 草間 かおる | 1968 | 徳島大学大学院栄養学研究科博士後期課程単位取得修了 | 栄養学博士 (徳島大学) | 公衆栄養学、地域保健 | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養調査とその評価に関する研究 ・妊婦・授乳婦における栄養状況に関する研究 ・ベトナムにおける栄養評価法の検討 |
| 講師 | 西岡 道子 | 1969 | 高知大学大学院農学研究科修士課程終了 | 修士(農学) (高知大学) | 調理科学, 給食経営管理実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な水産物の摂食に関する研究 ・各種加熱調理における栄養成分の変化について |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|-------|------|-----------------------|---|-------------------------|--|
| 講師 | 松井 慶子 | 1943 | 相模女子大学短期大学部家政科栄養コース卒業 | | 臨床栄養学 | ・食事・経腸栄養・輸液の栄養療法におけるアミノ酸評価と臨床栄養管理への応用 ・糖尿病治療と患者教育・療養指導介入の評価 |
| 講師 | 片山 一男 | 1954 | 佐伯栄養学校 管理栄養士特例養成科卒業 | | 臨床栄養学実習 | ・肝疾患のアミノ酸パターナルと血漿アミノ酸の食事による影響 ・アミノ酸による健常者の血漿アミノ酸濃度パターンの解析 ・ヒト血漿アミノ酸・アミノ酸輸液・食事アミノ酸のそれぞれの評価と臨床栄養管理 |
| 講師 | 高橋 孝子 | 1966 | 女子栄養大学大学院栄養学研究科修士課程修了 | 栄養学修士 (女子栄養大学) | 給食経営管理論, 調理学実習 | ・特定給食施設を対象に栄養管理を目的とした、栄養状態の評価、栄養計画、食事計画と食事管理に関する研究 |
| 助手 | 川村 真美 | 1955 | 高知女子大学家政学部食品栄養学科卒業 | | 生化学実験, 解剖生理学実験 | ・生活習慣と自己免疫疾患の発症について |
| 助手 | 彼末 富貴 | 1960 | 高知女子大学家政学部食品栄養学科卒業 | | 調理学実習, 食品学実験 | ・土佐の伝統食 |
| 助手 | 宮本 恵美 | 1971 | 大阪府立大学農学生命科学研究科博士課程終了 | 博士(農学) (大阪府立大学) 修士(教育学) (鳴門教育大学) | 健康栄養のための基礎科学実験, 栄養教育論実習 | ・ビタミンB ₁₂ 依存性メチルマロニルCoAムターゼの比較生化学的研究 ・食用微細藻類におけるビタミンB ₁₂ の生理機能 ・日本人のビタミンB ₁₂ 食事摂取基準に関する研究 |

生活科学部環境理学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|--------|------|--------------------|----------------|--------------------|--|
| 教授 | 原 絢子 | 1941 | 高知女子大学家政学部生活科学科卒業 | | 固体物理学, 応用物理学 | ・液体のレオロジー ・機能性流体の流動特性 ・植物内の毛細管現象 |
| 教授 | 大久保 茂男 | 1946 | 京都大学大学院理学研究科博士課程修了 | 理学博士 (京都大学) | プログラミング通論, 計算機科学概論 | ・エアリー構造の研究 |
| 教授 | 荻沼 一男 | 1950 | 広島大学大学院理学研究科博士課程退学 | 理学博士 (広島大学) | 環境生物学, 生命史 | ・トウダイグサ科の核形態学的研究 |
| 教授 | 谷本 真二 | 1950 | 大阪大学基礎工学部研究科博士課程退学 | 工学博士 (大阪大学) | 数理統計学, 線型代数学 | ・複雑ネットワークや自己組織化など非線形なシステムの研究 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|-------|------|------------------------|------------------|-----------------------|--|
| 教授 | 一色 健司 | 1958 | 京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学 | 理学博士 (京都大学) | 環境物質学概論, 環境化学 | ・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 ・微量元素の超高感度分析法および存在状態解析法の開発 |
| 教授 | 大村 誠 | 1958 | 京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学 | 博士(理学) (京都大学) | 地球変動学, 地学基礎実験 | ・人工衛星/航空機搭載合成開口レーダ(SAR)の応用 ・地殻変動の観測的研究 ・地形情報の工学的応用 |
| 助教授 | 風間 裕 | 1959 | 北海道大学大学院理学研究科博士課程修了 | 理学博士 (北海道大学) | 物理学通論, 量子物理学 | ・コンピュータを用いた物理学の教材開発 ・軽い核の構造解析 |
| 助手 | 堀内 和美 | 1947 | 高知女子大学家政学部生活理学科卒業 | | 化学基礎実験, 生物学基礎実験 | ・GISH法によるナツツバキ属の核型分析 ・アザミ属の分類学的研究 |
| 助手 | 名和 真一 | 1963 | 京都大学大学院理学研究科博士課程修了 | 理学博士 (京都大学) | プログラミング実習, データ処理実習 | ・量子色力学 |

文化学部文化学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|--------|------|------------------------|-----------------|-------------|---------------------|
| 教授 | 鈴木 滉二郎 | 1944 | 早稲田大学第一法学部卒業 | 法学士(早稲田大学) | 文化政策論 | 文化政策、まちづくり政策 |
| 教授 | 山口 俊治 | 1941 | 広島大学大学院文学研究科修士課程修了 | 文学修士 (広島大学) | フランス語 | フランスの哲学 |
| 教授 | 住友 弘一 | 1941 | ニューポート大学大学院博士課程 | 教育学博士(ニューポート大学) | 音楽文化論(音楽療法) | 音楽療法の理論と実践 |
| 教授 | 山根 久之助 | 1943 | 早稲田大学大学院英文学専攻 | 文学修士 (早稲田大学) | 近代イギリス文学演習 | T.ハーディおよび19世紀イギリス文学 |
| 教授 | 水谷 洋一 | 1944 | 神戸市外国語大学大学院修士課程修了 | 文学修士(神戸市外国語大学) | 英語学 | 中世英国口マンズの研究 |
| 教授 | 北川 明 | 1945 | 広島大学大学院教育研究科博士課程単位取得退学 | 教育学修士 (広島大学) | 教育原理 | W.ディルタイの理解論 |
| 教授 | 佐藤 恵里 | 1948 | 早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了 | 文学博士 (早稲田大学) | 日本近世文学講読 | やつし、風流、俄の研究 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|-------------|------|---------------------------------|-------------------|----------------|---|
| 教授 | 青木 晴男 | 1949 | 早稲田大学大学院文学研究科博士課程3年次退学 | 文学修士 (早稲田大学) | 現代イギリス文学演習 | D.H. ロレンスの作品にみられる自然と人間の描写についてのエコクリティシズム研究 |
| 教授 | 芋生 裕信 | 1953 | 関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 | 文学修士 (関西学院大学) | 日本近現代文学演習 | 日本近現代文学の研究 |
| 教授 | 芝田 不比人 | 1948 | 広島大学大学院教育学研究科学習心理学専攻修士課程修了 | 文学修士 (広島大学) | 発達心理学 | 幼児放送教育の実践研究 |
| 教授 | 鈴木 哲也 | 1955 | 東北大学大学院文学研究科 | 文学修士 (東北大学) | 英米文化史 | キャリア教育論 |
| 助教授 | 岩倉 秀樹 | 1960 | 広島大学大学院社会科学研究科法律学専攻博士課程後期単位取得退学 | 法学修士 (広島大学) | 現代社会論 | 憲法学 |
| 助教授 | アソ・アイスマンガ - | 1966 | Natal大学大学院心理学研究科修士課程修了 | M.A (Natal大学) | 異文化コミュニケーション論 | 心理言語学 |
| 助教授 | 東原 伸明 | 1959 | 国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 | 文学修士 (国学院大学) | 平安朝文学演習 | 中古物語文学の研究 |
| 助教授 | 橋尾 直和 | 1960 | 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学 | 教育学修士 (鳴門教育大学) | 日本語言語文化論講読 | 土佐ことばの文化環境言語学的研究 |
| 助教授 | 高岡 弘幸 | 1960 | 大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 | 文学修士 (大阪大学) | 文化人類学演習 | 排除と怪異の文化人類学的研究 |
| 助教授 | 五百蔵 高浩 | 1963 | 兵庫教育大学大学院連合博士課程(在籍中) | 教育学修士 (鳴門教育大学) | 英語言語文化演習 | 日本人英語学習者の音韻能力獲得について |
| 助教授 | 青木 淳 | 1965 | 総合研究大学院大学文化学研究科博士後期課程修了 | 学術博士(総合研究大学院大学) | 美術史 | 仏教美術研究 |
| 助教授 | 高西 成介 | 1968 | 広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学 | 文学修士 (広島大学) | 中国文学演習 | 六朝唐代小説の研究 |
| 助教授 | 清原 泰治 | 1961 | 筑波大学大学院修士課程修了 | 体育学修士 (筑波大学) | 土佐地域文化研究(スポーツ) | 近代スポーツの普及に関する研究 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|----------------|------|---------------------------|-------------------|-------------|--|
| 講師 | 長妻 由里子 | 1968 | 筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得退学 | 文学修士(筑波大学) | ジェンダー論演習 | 19世紀アメリカ文化における視覚技術とイメージ研究、身体イメージにおけるジェンダー/セクシュアリティ表象研究 |
| 講師 | 山口 善成 | 1974 | 筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科 | 文学修士(筑波大学) | アメリカ文学演習 | 19世紀アメリカ文学・文化 |
| 講師 | マイケル・ジョン・ペインター | 1966 | オークランド大学大学院 | 応用言語学修士(オークランド大学) | 英語コミュニケーション | 英語教育 |

看護学部看護学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|--------|------|------------------------------|-----------------------|---------|---|
| 教授 | 野嶋 佐由美 | 1950 | カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了 | 看護学博士(カリフォルニア大学) | 基礎看護学 | 家族看護に関する研究、家族エンパワーメント看護モデルの開発、精神看護介入分類に関する研究 |
| 教授 | 山田 覚 | 1957 | 東海大学大学院工学研究科博士課程修了 | 工学博士(東海大学) | 看護管理学 | 看護管理システムの評価と構築、看護サービスの質の測定と評価方法 |
| 教授 | 齋藤 信也 | 1958 | 岡山大学大学院医学研究科終了 | 医学博士(岡山大学) | 専門基礎医学 | 在宅緩和ケアシステムの構築 |
| 教授 | 鈴木 志津枝 | 1953 | オレゴンヘルスサイエンス大学看護学部博士課程修了 | 看護学博士(オレゴンヘルスサイエンス大学) | 慢性期看護学 | 在宅ターミナルケアに関する地域ネットワークシステムモデルの開発 |
| 教授 | 中野 綾美 | 1958 | 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学 | 看護学博士(日本赤十字看護大学) | 小児看護学 | 子どものヘルスプロモーションに関する研究、病気の子どもを育む家族に関する研究、小児看護技術に関する研究 |
| 教授 | 森下 利子 | 1950 | 三重大学医学部衛生学講座衛生学専攻修了 | 医学博士(三重大学) | 急性期看護学 | タッチやタッチングによるリラクゼーションや援助技術に関する研究 |
| 教授 | 藤田 佐和 | 1959 | 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程修了 | 看護学博士(聖路加看護大学) | 慢性期看護学 | 慢性状態にある人の病の体験や看護介入に関する研究、がん体験者の折り合いをつける力や適応に関する研究 |
| 教授 | 時長 美希 | 1957 | 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程前期修了 | 看護学修士(聖路加看護大学) | 地域看護学 | 在宅で療養している難病患者とその家族に対する保健師の看護介入方法に関する研究、脆弱性を有する個人と家族を対象とする地域看護活動モデルの構築 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|--------|------|----------------------------|------------------|---------|---|
| 教授 | 谷脇 文子 | 1950 | 香川医科大学医学研究科修士課程看護学専攻 | 医学修士 (香川医科大学) | 看護管理学 | 看護師の臨床実践能力の習得に関する研究 |
| 教授 | 粕田 孝行 | 1950 | 名古屋保健衛生大学 | | 精神看護学 | 境界性人格障害の理解と看護アプローチ |
| 助教授 | 長戸 和子 | 1961 | 高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了 | 看護学博士(高知女子大学) | 基礎看護学 | 家族看護に関する研究、慢性疾患をもつ人の家族のマネジメント力に関する研究 |
| 助教授 | 益守 かづき | 1964 | 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了 | 看護学修士(日本赤十字看護大学) | 小児看護学 | 小児看護に関する研究、疾患をもつ子どもや家族のヘルスプロモーションに関する研究 |
| 助教授 | 竹崎 久美子 | 1960 | 高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了 | 看護学博士(高知女子大学) | 老人看護学 | 高齢者の認知症ケア・長期療養施設におけるケア・小規模型サービス拠点に関する研究 |
| 助教授 | 森下 安子 | 1958 | 東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了 | 看護学修士(東京医科歯科大学) | 老人看護学 | ケアマネジメントに関する研究、老人の自立支援・介護予防に関する研究 |
| 講師 | 大川 宣容 | 1967 | 千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了 | 看護学修士(千葉大学) | 急性期看護学 | クリティカルケアにおける看護師の看護援助技術に関する研究 |
| 講師 | 池添 志乃 | 1965 | 高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了 | 看護学博士(高知女子大学) | 基礎看護学 | 家族看護に関する研究、生活の再構築に取り組む家族の介護キャリアに関する研究 |
| 講師 | 青本 さとみ | 1963 | 聖路加看護大学大学院修士課程修了 | 看護学修士(聖路加看護大学) | 精神看護学 | ダンスセラピーや集団への介入 |
| 講師 | 川上 理子 | 1967 | 東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了 | 看護学修士(東京医科歯科大学) | 地域看護学 | 在宅療養者と家族に関する研究 |
| 助手 | 瓜生 浩子 | 1969 | 高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了 | 看護学修士(高知女子大学) | 基礎看護学 | 患者とその家族に関する看護介入に関する研究 |
| 助手 | 佐東 美緒 | 1965 | 広島大学大学院医学系研究科博士前期課程修了 | 保健学博士(広島大学) | 小児看護学 | 「NICUを退院した子ども・家族のエンパワメントを支援するガイドライン」の開発 |
| 助手 | 嶋岡 暢希 | 1969 | 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了 | 看護学修士(日本赤十字看護大学) | 母性看護学 | 母乳に関する研究 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|----|--------|------|-------------------------|--------------------|---------|--------------------------------------|
| 助手 | 井上 正隆 | 1978 | 高知女子大学大学院看護学研究科修士課程終了 | 看護学修士 (高知女子大学) | 看護管理学 | 看護サービスにおける患者、看護師の満足の構造分析 |
| 助手 | 吉田 亜紀子 | 1970 | 高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了 | 看護学修士 (高知女子大学) | 急性期看護学 | がん看護に関する研究 |
| 助手 | 水津 朋子 | 1975 | 神戸市看護大学大学院看護学研究科修士課程終了 | 看護学修士 (神戸市看護大学) | 慢性看護学 | 脳卒中患者とその家族への在宅看護支援モデルの開発 |
| 助手 | 松木 里江 | 1967 | 千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了 | 看護学修士 (千葉大学) | 老人看護学 | 在宅老人および介護家族に関する研究 |
| 助手 | 平原 直子 | 1974 | 東海大学大学院健康科学研究科修士課程看護学専攻 | 看護学修士 (東海大学) | 基礎看護学 | 家族看護に関する研究、クリティカルケアにおける意識障害患者の家族へのケア |
| 助手 | 池田 貴子 | 1970 | 県立長崎シーボルト大学大学院 | 看護学修士 () | 精神看護学 | 慢性精神障害者の社会支援・対処行動・QOLの関係に関する研究 |

社会福祉学部社会福祉学科

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|--------|------|--------------------------|------------------------|------------|--|
| 教授 | 栗田 明良 | 1940 | 東京大学農学部卒業 | 農学博士 (東京大学) | 高齢者福祉論 | 介護移住「問題」の展開と制度定着要件に関する研究 |
| 教授 | 松田 眞一 | 1940 | 同志社大学大学院文学研究科修士課程修了 | 文学修士 (同志社大学) | 社会福祉学 | 理論系(社会福祉原論、理論史等)、社会分析(戦後日本社会の生活と文化)とNPO論(共同研究) |
| 教授 | 前山 智 | 1949 | 大阪大学大学院工学研究科修士課程修了 | 工学博士 (東北大学) | 福祉情報演習 | 情報教育、福祉情報、線による表面構造解析 |
| 教授 | 川崎 育郎 | 1944 | 同志社大学大学院文学研究科修士課程修了 | 文学修士 (同志社大学) | 臨床心理学 | 障害のある子どもや不適応な状態に陥った子どもの臨床心理学的援助について |
| 教授 | 住友 雄資 | 1961 | 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士課程修了 | 博士(臨床福祉学) (北海道医療大学) | 社会福祉援助技術総論 | 精神障害者の地域生活支援、ケアマネジメント |
| 助教授 | 玉里 恵美子 | 1965 | 龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 | 文学修士 (龍谷大学) | 家族社会学 | 中山間地域における高齢者の生活問題と地域活性化、高知県下の地域福祉に関する実践と理論 |

| 職名 | 氏名 | 生年 | 最終学歴 | 学位(大学名) | 主たる担当科目 | 現在の研究テーマ |
|-----|--------|------|----------------------------|----------------------|----------|---|
| 助教授 | 吉野 由美子 | 1947 | 日本女子大学大学院文学研究科博士前期課程修了 | 社会学修士 (日本女子大学) | 障害者福祉論 | 視覚障害者リハビリテーションの理論と方法に関する研究、視覚障害者自立支援システムの構築に関する研究 |
| 助教授 | 宮上 多加子 | 1958 | 高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了 | 社会福祉学博士 (高知女子大学) | 介護概論 | 家族の認知症介護実践力向上に関する研究 - 介護者の生涯学習体験に基づく分析 - |
| 講師 | 長南 浩人 | 1962 | 筑波大学大学院教育学研究科修士課程修了 | 心身障害学博士 (筑波大学) | 障害者福祉論 | 人工内耳を装用した聴覚障害児の読み書き能力の発達に関する研究：聴覚障害者のリハビリテーションにおける人工内耳の装用効果を認知レベルで検証することにより先天性重度聴覚障害児の言語習得に与える効果を検討 |
| 講師 | 長澤 紀美子 | 1963 | 新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了 | 学術博士 (新潟大学) | 国際福祉論 | 英国の保健医療福祉分野のNPM(ニューパブリックマネジメント)政策、福祉サービスの評価に係わる政策、保健医療福祉分野の患者(消費者)・市民参加、先進国の介護政策の動向と介護労働力に関する研究 |
| 講師 | 西内 章 | 1972 | 龍谷大学大学院社会研究科修士課程修了 | 社会福祉学修士 (龍谷大学) | 社会福祉技術演習 | エコシステム概念を用いたソーシャルワーカーの認識枠組みに関する研究 |
| 助手 | 齋藤 征人 | 1975 | 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科修士課程修了 | 臨床福祉学修士 (北海道医療大学) | 社会福祉現場実習 | 社会福祉の実践からどのように理論がつけられていくのかその過程に関する研究、とりわけ精神障害者福祉分野において |

【大学院】(平成17年度)

看護学研究科<修士課程>

| 領域 | 職名 | 氏名 | 主たる担当科目 |
|----|-----|--------|--------------------------------------|
| - | 教授 | 鈴木 志津枝 | 看護倫理と実践・がん看護論・がん看護対象論・がん看護対症看護援助論ほか |
| - | 教授 | 野嶋 佐由美 | 看護研究と実践・家族看護論・家族看護援助論・家族看護学研究方法ほか |
| - | 教授 | 中野 綾美 | 小児看護論・小児看護対象論・小児看護展開論・小児看護の動向と展望ほか |
| - | 教授 | 粕田 孝行 | 精神看護対象論・精神看護展開論・精神看護方法論・精神看護論ほか |
| - | 教授 | 森下 利子 | がん患者看護展開論・成人看護ケア研究・臨床看護学研究方法ほか |
| - | 教授 | 山田 覚 | 看護管理論・システム経営管理論・看護サービス管理論ほか |
| - | 教授 | 藤田 佐和 | 慢性看護論・慢性看護対象論・家族と病気・看護倫理 |
| - | 教授 | 谷脇 文子 | 看護管理論・看護管理展開論・看護サービス管理論ほか |
| - | 教授 | 時長 美希 | 地域看護論・地域看護展開論・在宅ケアシステム論・看護研究演習ほか |
| - | 教授 | 齋藤 信也 | フィジカルアセスメント特論・病態生理学 |
| - | 助教授 | 長戸 和子 | 家族看護論・家族看護援助論・家族ケアの動向と展望・家族看護学実践演習ほか |
| - | 助教授 | 益守 かづき | 小児看護対象論・小児看護論・小児看護学実践演習 |
| - | 助教授 | 森下 安子 | 在宅老人看護論・老人看護論・在宅看護展開論・在宅老人看護学実践演習ほか |
| - | 助教授 | 竹崎 久美子 | 老人看護展開論・在宅看護展開論・在宅老人看護学実践演習ほか |
| - | 講師 | 大川 宣容 | がん看護学実践演習 |
| - | 講師 | 池添 志乃 | 家族看護学実践演習 |
| - | 講師 | 川上 理子 | 地域看護学実践演習 |

人間生活学研究科<修士課程>

| 領域 | 職名 | 氏名 | 主たる担当科目 |
|----|-----|--------|-------------------------------------|
| 共通 | 教授 | 前山 智 | 特別講義 (データ解析論) |
| 共通 | 教授 | 谷本 真二 | 特別講義 (データ解析論) |
| 共通 | 教授 | 井本 正人 | 特別講義 (生活環境論) |
| 生活 | 教授 | 荻沼 一男 | 人間生活健康情報論・人間生活論演習・環境生態論・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 佐藤 厚 | 人間生活健康情報論・人間生活論演習・人間栄養学・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 川村 美笑子 | 人間生活健康情報論・人間生活論演習・人間栄養論・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 宇野 浩三 | 住環境論・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 一色 健司 | 環境解析論・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 大村 誠 | 環境解析論・課題研究演習 |
| 生活 | 教授 | 笠原 賀子 | 人間生活論演習・栄養教育論 |
| 生活 | 助教授 | 三浦 要一 | 人間生活福祉政策論・住生活論・課題研究演習 |
| 生活 | 助教授 | 團野 哲也 | 特別講義 (生活環境論) |
| 福祉 | 教授 | 青山 英康 | 人間生活福祉政策論・特別講義 (保健・医療・福祉制度論)・課題研究演習 |

| 領域 | 職名 | 氏名 | 主たる担当科目 |
|----|-----|--------|------------------------|
| 福祉 | 教授 | 齋藤 信也 | 人間生活福祉政策論・臨床福祉論・課題研究演習 |
| 福祉 | 教授 | 住友 雄資 | ソーシャルワーク論・課題研究演習 |
| 福祉 | 助教授 | 宮上 多加子 | 介護福祉論 |
| 福祉 | 講師 | 長澤 紀美子 | 国際福祉政策論 |
| 文化 | 教授 | 佐藤 恵里 | 地域文化論 ・ 課題研究演習 |
| 文化 | 教授 | 青木 晴男 | 英米文化論 ・ 課題研究演習 |
| 文化 | 教授 | 北川 明 | 人間生活健康情報論 |
| 文化 | 教授 | 芋生 裕信 | 日本文化論 |
| 文化 | 教授 | 水谷 洋一 | 英米文化論 |
| 文化 | 助教授 | 青木 淳 | 地域文化論 ・ 課題研究演習 |
| 文化 | 助教授 | 東原 伸明 | 日本文化論 |
| 文化 | 助教授 | 高岡 弘幸 | 特別講義 (文化政策論) |

健康生活科学研究科 < 博士後期課程 >

| 領域 | 職名 | 氏名 | 主たる担当科目 |
|----|----|--------|----------------------------|
| 共通 | 教授 | 佐藤 恵里 | 身体表現論 |
| 看護 | 教授 | 野嶋 佐由美 | 家族看護論 |
| 看護 | 教授 | 鈴木 志津枝 | 看護学特別研究 . . . 、がん看護論 . . . |
| 看護 | 教授 | 山田 覚 | システム経営論 . . . |
| 看護 | 教授 | 中野 綾美 | 小児看護論 . . . 、看護学特別研究 . . . |
| 看護 | 教授 | 藤田 佐和 | 慢性看護論 . . . |
| 看護 | 教授 | 森下 利子 | 成人看護論 . . . |
| 生活 | 教授 | 佐藤 厚 | 臨床栄養論・生活科学特別研究 . . . |
| 生活 | 教授 | 川村 美笑子 | 栄養生理論・生活科学特別研究 . . . |
| 生活 | 教授 | 荻沼 一男 | 環境生態論・生活科学特別研究 . . . |
| 生活 | 教授 | 宇野 浩三 | 居住環境論・生活科学特別研究 . . . |
| 生活 | 教授 | 渡邊 文雄 | 食品総合科学論 |
| 福祉 | 教授 | 青山 英康 | 医療・福祉制度論・社会福祉学特別研究 . . . |
| 福祉 | 教授 | 齋藤 信也 | 臨床福祉論・社会福祉学特別研究 . . . |
| 福祉 | 教授 | 松田 眞一 | 社会福祉原理論 |
| 福祉 | 教授 | 栗田 明良 | 地域福祉政策論 |
| 福祉 | 教授 | 住友 雄資 | 精神障害者福祉論 |

非常勤講師

（平成17年4月1日現在）

| | | 氏名 | 専門分野(担当科目) |
|-------|----------|-----------|----------------|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 太田 憲 男 | 住居設計実習 |
| | | 石井 忠彦 | エクステリアデザイン論 |
| | | 石田 秀樹 | 住居環境・設備学 |
| | | 石筒 覚 | 生活調査法 |
| | | 井上 忠典 | 生涯発達論 |
| | | 上田 堯世 | 住居管理論 |
| | | 蒲生 啓司 | 生活科学論B |
| | | 坂本 正夫 | 生活科学論A |
| | | 末田 光一 | 色彩学 |
| | | 高木 和久 | 情報科学演習 |
| | | 田中 きよむ | 生活様式論 |
| | | 寺内 アヤ子 | 被服学実習 |
| | | 徳弘 忠純 | 住居法規 |
| | | 西森 啓史 | インテリアデザイン論 |
| | | 野村 佐和子 | 生涯発達論 |
| | | 松澤 敏明 | 住居法規 |
| | | 丸井 一郎 | コミュニケーション論 |
| | | 山本 修 | ハウジング論 |
| | | 中津 徹 | ファッションビジネス論 |
| | | 三浦 一郎 | マーケティング論 |
| | 健康栄養学科 | 宮本 恵美 | 栄養教育論実習、地域保健実習 |
| | | 網師本 真季 | こころと身体活動 |
| | | 河合 洋見 | 給食経営管理論 |
| | | 田口 徹也 | 健康管理論 |
| | | 田中 弘之 | 運動生理学 |
| | | 谷木 利勝 | 臨床生理学 |
| | | 長尾 恭代 | 食事介護実習 |
| | | 西村 直己 | 人間病態論 |
| | | 橋村 夏世 | 給食計画論 |
| | | 甲藤 温子 | 栄養教育指導論 |
| | 有安 日出子 | 栄養教育指導論 | |
| | 環境理学科 | 石川 慎吾 | 生態学 |
| | | 井上 隆義 | 科学史 |
| | | 岡田 昌久 | 環境生物学実験 |
| | | 小倉 久和 | 環境理学持論 |
| 酒井 敏 | | 流体地球科学 | |
| 種田 耕二 | | 環境生物学実験 | |
| 西島 敏隆 | | 環境保全学 | |
| 西山 孝 | | 地球エネルギー論 | |
| 普喜 満生 | | プログラミング実習 | |
| 藤山 亮治 | | 環境有機化学 | |
| 北條 正司 | | 環境分析化学 | |
| 町田 吉彦 | | 環境生物学実験 | |
| 松岡 達臣 | | 情報生理学 | |

| | | 氏 名 | 専門分野(担当科目) | | |
|---------|-----------------------|---------|------------|---------|-------|
| 生活科学部 | 環境理学科 | 峯 一 朗 | 生殖生物学 | | |
| | | 森 征 洋 | 気象学 | | |
| | | 安 田 尚 登 | 古環境学 | | |
| 文化学部 | 文化学部 | 安 藤 恵 崇 | 比較宗教学 | | |
| | | 今 井 多衣子 | 日本語教授法 | | |
| | | 大 野 定 男 | 書道 | | |
| | | 久米田 高 知 | 情報処理演習 | | |
| | | 出 原 恵 三 | 考古学 | | |
| | | 遠 山 仁 | 新聞論 | | |
| | | 廣 田 佳 久 | 考古学 | | |
| | | 福 島 尚 | 日本文学講読(古典) | | |
| | | 堀 見 麻保郎 | 新聞論 | | |
| | | 前 田 光 雄 | 考古学 | | |
| | | 松 田 直 則 | 考古学 | | |
| | | 宮 村 憲 章 | 新聞論 | | |
| | | 森 沢 孝 道 | 新聞論 | | |
| | | 看護学部 | 看護学科 | 家 保 英 隆 | 保険統計 |
| | | | | 上 村 直 人 | 心のしくみ |
| 上 村 由 樹 | 病態と治療 | | | | |
| 大 野 直 幹 | 小児と疾患 | | | | |
| 大 畑 雅 典 | 病態と治療 | | | | |
| 大 原 啓 志 | 健康管理論 | | | | |
| 岡 谷 恵 子 | 看護と政策 | | | | |
| 岡 林 孝 弘 | 病態と治療 | | | | |
| 岡 部 学 | 病態と治療 | | | | |
| 奥 谷 文 乃 | 人体のしくみ - A、人体のしくみ - B | | | | |
| 管 野 尚 | 病態と治療 | | | | |
| 吉 川 清 志 | 小児と疾患 | | | | |
| 甲 平 一 郎 | 病態と治療 | | | | |
| 小 林 誠 | 病態と治療 | | | | |
| 渋谷 裕 一 | 病態と治療 | | | | |
| 清 水 孝 洋 | 薬理学 | | | | |
| 瀬 口 春 道 | 人体のしくみ - A、人体のしくみ - B | | | | |
| 瀬戸山 元 一 | 医療と経営 | | | | |
| 高 野 順 子 | 看護哲学と倫理 | | | | |
| 高 橋 功 | 医学の世界 | | | | |
| 高 橋 章 人 | 小児と疾患 | | | | |
| 田 口 徹 也 | 疫学 | | | | |
| 田 村 耕 三 | 病態と治療 | | | | |
| 土 山 芳 徳 | 病態と治療 | | | | |
| 手 島 恵 | 看護学の動向と課題 | | | | |
| 時 岡 孝 光 | 病態と治療 | | | | |
| 中 村 裕 之 | 公衆衛生学 | | | | |
| 那 須 良 次 | 病態と治療 | | | | |
| 西 内 律 雄 | 小児と疾患 | | | | |

| | | 氏 名 | 専門分野(担当科目) |
|--------------|---|---------|---------------------|
| 看護学部 | 看護学科 | 西 岡 豊 | 病態と治療 |
| | | 西 原 利 治 | 病態と治療 |
| | | 西 村 直 己 | 病態と治療 |
| | | 宮 澤 真 理 | 小児と疾患 |
| | | 明 神 和 広 | 心のしくみ |
| | | 森 岡 信 之 | 母性学 |
| | | 森 本 雅 徳 | 病態と治療 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 岩 田 裕 | 経済学概論 |
| | | 杉 本 雅 史 | 精神保健福祉援助技術各論 |
| | | 住 友 芳 美 | 精神保健福祉援助演習 |
| | | 高 橋 紀 子 | 医療福祉論 |
| | | 武 田 廣 一 | 精神保健福祉援助技術各論 |
| | | 田 中 きよむ | 社会保障論 、 社会保障論 |
| | | 川 添 俊 明 | 公的扶助論 |
| | | 半 田 雅 典 | 社会福祉特論（ボランティア・NPO論） |
| | | 澤 田 敬 | 子育て支援論 |
| | | 本 田 玄 伯 | 哲学概論 |
| | | 山 崎 正 雄 | 精神保健学 |
| | | 吉 永 宣 生 | 社会福祉施設運営管理論 |
| | | 共通教育 | |
| 岩 村 就 司 | 日本語の表現技術 | | |
| 門 田 幹 夫 | 英語コミュニケーション（ファウンデーション） | | |
| 金 子 光 広 | 情報処理概論 | | |
| オリバー・ラインシュ | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| 上 岡 克 己 | 英語コミュニケーション（ファウンデーション） | | |
| 蒲 生 啓 司 | 生活の中の化学 | | |
| グレイグ・ディレイニー | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| 斎 藤 昌 人 | ドイツ語中級、ドイツ語中級 | | |
| 澤 田 丞 司 | 心とからだの科学 | | |
| ジェラード・マーシェソウ | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| ショーン・バーゴイン | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| ショーン・ローリー | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| スティーブン・キャンベル | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| デイビッド・グラント | 英語コミュニケーション（ファウンデーション） 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| 遠 山 茂 樹 | 情報と社会 | | |
| 原 崎 道 彦 | 倫理学、哲学入門 | | |
| 福 田 善 乙 | 土佐の経済とまちづくり | | |
| ブレンダン・ローリー | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| ポーラ・フェイビアン | 英語コミュニケーション（ファウンデーション） 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| 保 坂 哲 郎 | 国際社会と日本 | | |
| 細 居 俊 明 | 暮らしと経済学 | | |
| 本 間 聖 康 | 心とからだの科学 | | |
| マーカス・オトロウスキー | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |
| マイケル・シャープ | 英語コミュニケーション（スピーキング） | | |

| | 氏 名 | 専門分野(担当科目) |
|---------|------------|---|
| 共通教育 | 前 田 文 子 | 中国語初級 、中国語初級 、中国語中級 、中国語中級 |
| | 松 本 教 仁 | 絵画を読む(東洋) |
| | 宮 田 敏 近 | 英語コミュニケーション (ライティング) |
| | 村 井 和 彦 | 英語コミュニケーション (ファウンデーション) |
| | 持 尾 伸 二 | ドイツ語初級 、ドイツ語初級 |
| | 中 島 久 枝 | 英語コミュニケーション (ファウンデーション) 英語コミュニケーション (ライティング) |
| | 八 木 年 晴 | 食の科学 |
| | 八 木 文 雄 | 心の科学 |
| | フランソワーズ・ナン | 英語コミュニケーション (スピーキング) |
| | 安 田 尚 登 | 地球の科学 |
| | 吉 門 牧 雄 | 英語コミュニケーション (ファウンデーション) |
| | ロジャー・ナン | 英語コミュニケーション (ファウンデーション) 英語コミュニケーション (スピーキング) |
| | 山 本 英 作 | 健康スポーツ科学 |
| | 宮 本 隆 信 | 健康スポーツ科学 |
| | 教 職 | 市 村 藤 一 |
| 伊 藤 一 統 | | 教育社会学 |
| 堅 田 美 穂 | | 国語科教育法 、国語科教育法 |
| 国 沢 鎮 雄 | | 教育実習 |
| 小 島 郷 子 | | 家庭科教育法 、家庭科教育法 |
| 中 澤 勇 夫 | | 同和教育 |
| 那 須 恒 夫 | | 英語科教育法 |
| 松 本 文 彦 | | 教育相談論 |
| 学 芸 員 | 山 崎 善 正 | 教師論 |
| | 奥 野 克 久 | 博物館学 |
| | 関 幸 代 | 博物館実習講義 |
| | 中 村 淳 子 | 博物館実習講義 |
| | 早 川 聞 多 | 博物館学 |
| 廣 田 佳 久 | 博物館学 | |

臨床教授

| | | |
|-------------|----------------|-------|
| 高知医療センター | 病院長 | 瀬戸山元一 |
| " | 救命救急センター長 | 福田 充宏 |
| " | 循環器病センター長・副委員長 | 大脇 嶺 |
| " | がんセンター長・副委員長 | 堀見 忠司 |
| " | 総合周産期母子医療センター長 | 吉川 清志 |
| " | 地域医療センター長 | 深田 順一 |
| " | 看護局長 | 梶本 市子 |
| " | 副看護局長 | 森田なつ子 |
| " | 副看護局長 | 山崎 清恵 |
| 高知赤十字病院 | 看護部長 | 東 洋子 |
| 高知大学医学部附属病院 | 看護部長 | 宮井 千恵 |
| 近森会 | 常任理事・看護部長 | 梶原 和歌 |
| 高知県 | 健康福祉部健康対策課長 | 脇 節子 |

客員教授

宮尾 登美子
高村 禎二

3 事務局職員

(平成17年4月1日現在)

| 課室名 | 職名 | 氏名 | 課室名 | 職名 | 氏名 |
|-----------------|-----------------|--------|-----------|-----------------|--------|
| | 事務局長 | 櫻谷 幸男 | 学生課 | 非常勤職員(保健師) | 坂本 恵子 |
| | 事務局次長 | 横田 和典 | | 非常勤職員(調理員) | 久家 文恵 |
| 改革推進室 | 室長(兼) | 横田 和典 | | 非常勤職員(学部事務補助) | 臼杵 典代 |
| | チーフ | 鎌倉 昭浩 | | 非常勤職員(学部事務補助) | 海地 香奈子 |
| | 主任 | 梅原 博子 | | 非常勤職員(学部事務補助) | 高松 久美 |
| 総務企画課 | 総務企画課長 (短大兼) | 島内 信雄 | 図書情報課 | 図書情報課長 (短大兼) | 津野 晴利 |
| | チーフ(総務担当) | 野瀬 正幸 | | 主査(短大兼) | 原 孝二 |
| | チーフ (企画広報担当) | 木下 俊雄 | | 司書 | 渡邊 桂子 |
| | 主任(短大兼) | 井上 智子 | 非常勤職員(司書) | 中澤 由美 | |
| | 主任 | 別役 昌昭 | 非常勤職員 | 藤田 絵里砂 | |
| | 主幹 | 安並 文 | 池事務室 | 室長 | 吉成 克仁 |
| | 主幹 | 森下 友香 | | チーフ | 塩田 秀夫 |
| | 主査 | 本庄 美保 | | 主任 | 新階 和子 |
| | 主事 | 谷岡 優花 | | 主任 | 井上 雅代 |
| | 主任技師 | 山崎 馨 | | 主任 | 杵山 岩夫 |
| | 非常勤職員 | 伊藤 祥代 | | 主任 | 入交 智子 |
| | 非常勤職員 | 葛島 由利恵 | | 主任 | 鈴木 龍晴 |
| | 学生課長 | 近藤 幸雄 | | 非常勤職員 | 濱田 美代 |
| チーフ(教務担当) | 伊與木 富雄 | 非常勤職員 | | 岩貞 美苗子 | |
| チーフ (学生支援担当) | 細川 忠宣 | 非常勤職員 | | 永瀬 洋子 | |
| 主任(短大兼) | 水田 卓博 | 非常勤職員 | 岡本 淳子 | | |
| 主任 | 尾崎 功基 | 非常勤職員 | 田中 由紀子 | | |
| 学生課 | 主任 | 阿部 久実子 | | | |
| | 主任(短大兼) | 久米 幸彦 | | | |
| | 主任 | 松田 由紀 | | | |
| | 主任 | 北添 仁司 | | | |
| | 主幹 | 中平 麻矢 | | | |
| | 主任技師 | 南 多麻代 | | | |
| | 非常勤職員 | 河村 真美 | | | |
| | 非常勤職員 | 中島 敏継 | | | |

4 教育及び研究

1 学部・大学院の概要

【学部】

生活科学部

人間生活を取り巻く様々な現象を「個としての人間、家族、生活の質」「人間発達や健康の維持・増進」「自然環境と人間生活と関わり」という面から科学的に分析し、認識することを通じて、生活者の視点から、来るべき時代の新たな生活様式を創造し得る人材を養成する。

- * 生活科学のジェネラリストとしての能力の養成
- * 個別分野におけるスペシャリストとしての能力の養成
- * 問題を提起し科学的に考察し解決する能力の養成
- * 地域における実践的能力の養成
- * 情報発信、情報交換能力の養成

文化学部

地元高知の文化、日本の文化、英・米・中をはじめとする諸外国・諸地域の文化について、文学、社会、言語などの角度から深くかつ広く学習することによって、文化の継承と発展及び創造に寄与できる人材を養成する。

- * 人間に対する理解力と自己表現力の養成
- * 地域や現代社会の文化的課題に対する理解力と実践力の養成
- * 日本語及び外国語の優れた運用能力とともに異文化間コミュニケーション能力の養成

看護学部

看護の理念や専門的知識、技術を教授・研究することを通じて、社会の健康問題を人々とともに解決し、人々の健康生活の向上に貢献することができる豊かな人間性・創造性を持った看護者を育成する。

また教育・研究活動を通して看護学の発展に寄与するとともに、地域に根ざした大学として、保健医療活動を通じて人々の健康に貢献する。

- * 人間に対する総合的な理解と科学的・倫理的判断のもとに看護を展開し、健康問題を解決することができる看護者の育成
- * 人間の尊厳、その人らしさを守りながら、その人がより創造的に自らの力を発揮できるように支援できる看護者の育成
- * 社会のニーズを察知し、看護者として他の保健医療従事者と連携しながら健康問題を解決する役割を積極的に担うことのできる看護者の育成
- * 自主的・積極的に学ぶ姿勢と、看護者としてのアイデンティティを培い、専門識者としての自覚を持って、人々の健康生活の向上に貢献することのできる看護者の育成
- * 広い視野に立ち、研究的視点を持って看護の本質を追究し、看護学の体系化に貢献できる看護者の育成

社会福祉学部

人権思想とノーマライゼーションの思想に裏打ちされた社会福祉の理念と専門的知識・援助技術を教授・研究することにより、現代社会及び高知県が直面する高齢化・過疎化などから生ずる福祉課題に主体的に対応する有為な人材を育成する。

- * 地域・家族のもつ福祉課題への対応能力の養成
- * 社会福祉実践能力の養成
- * 健康・医療・福祉などの効果的な連携を図る能力の養成

【 大学院 】

看護学研究科（修士課程）

看護の理念や専門的知識、技術を教授・研究することを通じて、社会の健康問題を人々とともに解決し、人々の健康生活の向上に貢献することができる豊かな人間性・創造性を持った、専門看護師（CNS）及び研究者を育成する。

また、将来にわたる看護の実践・教育・研究活動を通して、看護の変革者として看護学に寄与するとともに、地域に根ざした大学として、地域の人々の健康を促進する文化を創造し、発展させる能力を身に付けた看護専門識者を育成する。

さらには、ヒューマンイズムの立場に立ち、地域の人々の健康問題を、個人・家族・地域のダイナミズムを視野において、倫理的・科学的判断に裏付けされた質の高い看護ケアを提供できる看護専門識者を育成する。

人間生活科学研究科（修士課程）

人間及び人間生活について、生活科学領域、社会福祉領域、文化領域の複数の研究領域から複合的に教育・研究し、複合的な職業能力を有する高度専門職業人を養成する。

健康生活科学研究科（博士後期課程）

健康生活に関する学術的な課題を自立して研究し、健康生活科学に寄与する高度な専門的知識や技術を創造する研究者を育成する。

併せて、健康生活科学の知識・技術、研究能力を身につけ、高度に専門的な業務に従事することのできる高度専門職業人を育てる教育者を育成する。

本研究科では、次のような研究へのアプローチを行う。

- * 健康を基本的な権利として捉え、ヒューマンイズムの理念に基づき、生活者としての人間の視点から健康生活の実現に向けての研究
- * 生涯を通して健康で安心して暮らすことができるような個人システム、家族システム、生活システム、社会システムの探求・研究
- * 健康や健康生活に関わる諸問題を「看護学」「生活科学」「社会福祉学」の知識・技術を軸に、複眼的な視点からの研究

2 教育科目及び受講者の状況

〔学部〕

(1) 共通教育科目(平成17年10月22日現在)

ア 土佐学科目

| 授業科目 | 受講者数(人) | 授業科目 | 受講者数(人) |
|-------------|---------|-----------|---------|
| 土佐の歴史と文化 | 153 | 土佐の自然と暮らし | 89 |
| 土佐の経済とまちづくり | 96 | 土佐の健康と福祉 | 35 |

イ 女性学科目

| 授業科目 | 受講者数(人) | 授業科目 | 受講者数(人) |
|---------|---------|----------|---------|
| 女性学入門 | 140 | 女性の生活と健康 | 21 |
| 女性とキャリア | 145 | | |

ウ 教養科目

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|-------|----------|---------|-------|---------------|---------|
| 人文科学系 | 倫理学 | 149 | 社会科学系 | 国際社会と日本 | 23 |
| | 心の科学 | 58 | | 福祉の世界 | 26 |
| | 哲学入門 | 149 | | 看護の世界 | 8 |
| | 音楽療法入門 | 85 | | ユニバーサルデザイン基礎論 | 100 |
| | 器楽音楽 | 34 | 自然科学系 | 数の世界 | 25 |
| | 器楽音楽 | 19 | | 生活と統計学 | 27 |
| | 絵画を読む | 53 | | 物理の考え方 | 47 |
| | 日本語の表現技術 | 58 | | 生活の中の化学 | 36 |
| | 文学の世界 | 31 | | 生命の科学 | 28 |
| 社会科学系 | 日本国憲法 | 215 | | 地球の科学 | 51 |
| | 暮らしと経済学 | 28 | | 生活デザインの世界 | 30 |
| | 現代社会論 | 34 | | 食の科学 | 61 |

エ 情報科目

| 授業科目 | 受講者数(人) | 授業科目 | 受講者数(人) |
|-------------|---------|----------|---------|
| 情報と社会 | 36 | 心とからだの科学 | 125 |
| 情報処理概論 | 178 | 健康スポーツ科学 | 193 |
| コンピュータリテラシー | 231 | 健康スポーツ科学 | 201 |

オ 健康スポーツ科目

カ 教養セミナー

| 授業科目 | 受講者数(人) |
|--------|---------|
| 教養セミナー | 76 |

オ 外国語科目

生活科学部 生活デザイン学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 66 | フランス語 | フランス語初級 | 5 |
| | 英語コミュニケーション | 19 | | フランス語初級 | 4 |
| | 英語コミュニケーション | 0 | | フランス語中級 | 0 |
| | | | | フランス語中級 | 0 |
| 中国語 | 中国語初級 | 15 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 4 |
| | 中国語初級 | 6 | | ドイツ語初級 | 2 |
| | 中国語中級 | 7 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 2 | | ドイツ語中級 | 0 |

生活科学部 健康栄養学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 66 | フランス語 | フランス語初級 | 5 |
| | 英語コミュニケーション | 19 | | フランス語初級 | 4 |
| | 英語コミュニケーション | 0 | | フランス語中級 | 0 |
| | 専門語学(英語)A | 25 | | フランス語中級 | 0 |
| | 専門語学(英語)B | 25 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 4 |
| 中国語 | 中国語初級 | 15 | | ドイツ語初級 | 2 |
| | 中国語初級 | 6 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 7 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 2 | | | |

生活科学部 環境理学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 44 | フランス語 | フランス語初級 | 0 |
| | 英語コミュニケーション | 51 | | フランス語初級 | 0 |
| | 英語コミュニケーション | 17 | | フランス語中級 | 0 |
| | | フランス語中級 | | 0 | |
| 中国語 | 中国語初級 | 5 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 6 |
| | 中国語初級 | 7 | | ドイツ語初級 | 4 |
| | 中国語中級 | 0 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 0 | | ドイツ語中級 | 0 |

文化学部 文化学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 265 | フランス語 | フランス語初級 | 12 |
| | 英語コミュニケーション | 134 | | フランス語初級 | 11 |
| | 英語コミュニケーション | 102 | | フランス語中級 | 3 |
| | | フランス語中級 | | 3 | |
| 中国語 | 中国語初級 | 65 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 8 |
| | 中国語初級 | 65 | | ドイツ語初級 | 11 |
| | 中国語中級 | 77 | | ドイツ語中級 | 11 |
| | 中国語中級 | 81 | | ドイツ語中級 | 12 |

看護学部 看護学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 123 | フランス語 | フランス語初級 | 1 |
| | 英語コミュニケーション | 38 | | フランス語初級 | 0 |
| | 英語コミュニケーション | 9 | | フランス語中級 | 0 |
| | | フランス語中級 | | 0 | |
| 中国語 | 中国語初級 | 4 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 2 |
| | 中国語初級 | 4 | | ドイツ語初級 | 1 |
| | 中国語中級 | 0 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 0 | | ドイツ語中級 | 0 |

社会福祉学部 社会福祉学科

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|------|-------------|---------|-------|---------|---------|
| 英語 | 英語コミュニケーション | 79 | フランス語 | フランス語初級 | 0 |
| | 英語コミュニケーション | 37 | | フランス語初級 | 0 |
| | 英語コミュニケーション | 28 | | フランス語中級 | 0 |
| | | フランス語中級 | | 0 | |
| 中国語 | 中国語初級 | 3 | ドイツ語 | ドイツ語初級 | 1 |
| | 中国語初級 | 3 | | ドイツ語初級 | 0 |
| | 中国語中級 | 24 | | ドイツ語中級 | 0 |
| | 中国語中級 | 26 | | ドイツ語中級 | 0 |

(2) 専門教育科目

生活科学部 生活デザイン学科

(平成17年10月22日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|---------|--------------|------------------|--------------|------------|---------|
| 学部共通 | 生活デザイン学概論 | 27 | 衣と生活 | 服飾造形実習 | 21 |
| | 健康栄養学概論 | 33 | | 服飾造形実習 | 12 |
| | 環境理学概論 | 27 | | 服飾工芸実習 | 20 |
| | 生涯発達論 | 30 | | アパレル情報論 | 22 |
| | 生活科学論A | 27 | | アパレル情報演習 | 12 |
| | 生活科学論B | 21 | | 被服環境科学 | 6 |
| 学科基礎 | 生活経済学 | 11 | 被服環境科学演習 | 4 | |
| | コミュニケーション論 | 27 | ファッション・ビジネス論 | 50 | |
| | 地域生活論 | - | 住と生活 | 住宅学(製図を含む) | 27 |
| | 家族関係論 | 21 | | 住宅一般構造 | 17 |
| | 生活様式論 | 33 | | 住宅一般構造実習 | 16 |
| | 衣生活学 | 21 | | 室内計画論 | 12 |
| | 住生活学 | 28 | | 住居材料・施工法 | - |
| | 生活素材論 | 26 | | 住居環境・設備学 | 42 |
| | 食様式論 | - | | 住文化史 | 16 |
| | 基礎デザイン論 | 29 | | 住居計画学 | 25 |
| 色彩学 | 28 | 住居管理論 | | 9 | |
| 生活のデザイン | 環境デザイン論 | 25 | | ハウジング論 | 11 |
| | 環境デザイン実習 | 11 | 居住地計画論 | 12 | |
| | エクステリアデザイン論 | 23 | 住居法規 | 13 | |
| | インテリアデザイン論 | 22 | 住居設計実習 | 20 | |
| | アパレルデザイン論 | 22 | 住居設計実習 | 12 | |
| | アパレルデザイン実習 | 22 | 住居設計実習 | 11 | |
| | ユニバーサルデザイン各論 | 18 | 食と生活 | 調理科学 | 27 |
| | ユニバーサルデザイン演習 | 13 | | 調理学実習 | 27 |
| | | 調理科学実験 | | 0 | |
| 生活の経営 | 生活経営学 | 26 | 情報 | 情報科学演習 | 23 |
| | 生活情報論(実習を含む) | 6 | | 情報科学演習 | 10 |
| | 生活法学 | - | 関連科目 | 食品の消費と流通 | 4 |
| | マーケティング論 | 27 | | 基礎栄養学 | 0 |
| | 消費生活論 | 12 | | 基礎食品学 | 27 |
| | 生活調査法 | 26 | | 家庭機械・家庭電気 | 17 |
| 生活調査実習 | 24 | 保育学(実習及び家庭看護を含む) | 19 | | |
| 衣と生活 | 被服材料学 | 24 | その他 | 企業実習 | 19 |
| | 被服材料学実験 | 25 | | | |
| | 被服材料学演習 | - | 課題研究 | 生活デザイン課題演習 | 24 |
| | 生活材料物理化学 | 6 | | 卒業研究 | 25 |
| | 生活材料物理化学実験 | 0 | | | |
| | 繊維製品消費科学 | 9 | | | |
| | 衣文化論 | 28 | | | |
| | 被服学実験 | 27 | | | |
| 被服学実験 | 12 | | | | |

生活科学部 健康栄養学科

(平成17年10月22日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|----------|----------------|---------|------------|------------------|---------|
| 学部共通 | 生活デザイン学概論 | 21 | 食品科学 | 基礎食品学 | 25 |
| | 健康栄養学概論 | 22 | | 食品成分と疾病予防 | 25 |
| | 環境理学概論 | 22 | | 食品の栄養素と機能 | 28 |
| | 生涯発達論 | 21 | | 食品の物性と機能 | 10 |
| | 生活科学論A | 1 | | 食品学実験 | 26 |
| | 生活科学論B | 2 | | 食品学実験 | 27 |
| 学科基礎 | 健康栄養のための基礎科学 | 25 | | 食品学実験 | - |
| | 健康栄養のための基礎科学 | 21 | | 身近な毒と食品 | 34 |
| | 健康栄養のための基礎科学 | 21 | | 食品衛生学実験 | 25 |
| | 健康栄養のための基礎科学実験 | 21 | | 食品とバイオテクノロジー | 2 |
| | 健康栄養のための基礎科学実験 | 21 | 食の実践学 | 基礎調理学 | 23 |
| | 生物有機化学 | 21 | | 調理科学 | 21 |
| | 数理統計学 | 0 | | 調理科学実験 | 4 |
| | こころと福祉 | 21 | | 基礎調理学実習 | 21 |
| | 健康環境情報論 | 23 | | 調理学実習 | 21 |
| | 健康環境情報論実習 | 22 | | 調理学実習 | 24 |
| 人間生活環境論 | 46 | 給食経営管理論 | | 25 | |
| 食品の消費と流通 | 9 | 給食計画論 | | 25 | |
| 生体科学 | 生化学 | 22 | | 大量調理論 | 19 |
| | 生化学 | 27 | | 新調理システム論 | 22 |
| | 生化学実験 | 25 | 給食経営管理実習 | 23 | |
| | 生化学実験 | 25 | 給食実務実習 | 23 | |
| | 解剖生理学 | 46 | 給食経営管理臨地実習 | 23 | |
| | 人間病態論 | 26 | 健康科学 | 運動生理学 | 25 |
| | 解剖生理学実験 | 25 | | 健康科学論 | 0 |
| | 臨床検査医科学 | 23 | | 健康管理論 | 10 |
| 病理学 | 25 | 公衆栄養学 | | 26 | |
| 栄養科学 | 基礎栄養学 | 21 | | 地域保健 | 23 |
| | 基礎栄養学実験 | 25 | | 地域栄養アセスメント | 23 |
| | 応用栄養学 | 69 | | 地域保健実習 | 23 |
| | 応用栄養学 | 47 | | 地域保健臨地実習 | 23 |
| | 応用栄養学 | 48 | こころと身体活動 | 25 | |
| | 応用栄養学実験 | 23 | 食事介護実習 | 24 | |
| | 臨床栄養アセスメント | 23 | 関連科目 | 生活経済学 | 0 |
| | 臨床栄養治療学 | 48 | | 生活経営学 | 0 |
| | 臨床生理学 | 23 | | 家族関係論 | 0 |
| | 臨床栄養学実習 | 23 | | 保育学(実習及び家庭看護を含む) | 0 |
| | 臨床栄養学臨地実習 | 22 | | 衣生活学 | 2 |
| | 臨床栄養学臨地実習 | 22 | | 服飾造形実習 | 0 |
| | 栄養教育論 | 25 | | 服飾造形実習 | 0 |
| | 栄養カウンセリング論 | 23 | | 住居学(製図を含む) | 4 |
| | 栄養教育論実習 | 23 | 家庭電気・家庭機械 | 0 | |
| | 栄養情報処理論 | 23 | その他 | 企業実習 | 1 |
| 総合演習 | 23 | 課題研究 | | 卒業研究 | 21 |
| 学校栄養指導論 | 8 | | | | |
| 学校栄養指導論 | 10 | | | | |

生活科学部 環境理学科

(平成17年10月22日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | |
|-------|-----------|-----------|--------------|----------------|---------|----|
| 学部共通 | 生活デザイン学概論 | 21 | 地球と環境 | 自然環境学 | 19 | |
| | 健康栄養学概論 | 22 | | 地球変動学 | 20 | |
| | 環境理学概論 | 23 | | 古環境学 | 26 | |
| | 生涯発達論 | 25 | | 地球エネルギー論 | 18 | |
| | 生活科学論A | 28 | | 環境保全学 | 31 | |
| | 生活科学論B | 25 | | 固体地球科学 | 31 | |
| 学科基礎 | 物理学通論 | 22 | 物質と環境 | 流体地球科学 | 27 | |
| | 物理学通論 | 21 | | 気象学 | 34 | |
| | 物理学基礎実験 | 21 | | 地球環境情報学(実習を含む) | 20 | |
| | 物理学基礎実験 | 21 | | 形成環境 | 物質科学概論 | 21 |
| | 化学通論 | 22 | | | 力学 | 26 |
| | 化学通論 | 21 | | | 解析力学 | 10 |
| | 化学基礎実験 | 19 | 量子物理学 | | 37 | |
| | 化学基礎実験 | 16 | 量子力学 | | 2 | |
| | 生物学通論 | 21 | 流体力学 | | 20 | |
| | 生物学通論 | 21 | 電磁気学 | | 17 | |
| | 生物学基礎実験 | 20 | 固体物理学 | | 7 | |
| | 生物学基礎実験 | 20 | 環境物質学概論 | | 20 | |
| | 地学通論 | 21 | 環境有機化学 | | 9 | |
| | 地学通論 | 21 | 環境化学 | | 10 | |
| | 地学基礎実験 | 19 | 環境化学実験 | | 3 | |
| | 地学基礎実験 | 19 | エントロピー論 | | 35 | |
| | 解析学 | 18 | 熱とエネルギー | | 17 | |
| | 解析学 | 18 | 応用物理学 | | 8 | |
| | 解析学演習 | 7 | 環境分析化学 | | 5 | |
| | 線形代数学 | 17 | 化学計測学(実習を含む) | | 3 | |
| | 線形代数学演習 | 10 | 環境理学特論 | | 68 | |
| | 応用数学 | 27 | 環境理学セミナー | | 17 | |
| | 応用数学 | 4 | 情報 | 計算機科学概論 | 35 | |
| 数理統計学 | 20 | プログラミング通論 | | 38 | | |
| 科学史 | 72 | プログラミング通論 | | 35 | | |
| 生命と環境 | 生命科学 | 36 | | プログラミング実習 | 35 | |
| | 情報生理学 | 16 | | プログラミング実習 | 35 | |
| | 生命史 | 20 | | 情報処理概論 | 7 | |
| | 生態学 | 19 | データ処理実習 | 19 | | |
| | 環境生物学 | 22 | その他 | 企業実習 | 19 | |
| | 環境生物学実験 | 10 | | 研究課題 | 卒業研究 | 22 |
| | 野外実習 | 43 | | | | |
| 臨海実習 | - | | | | | |
| 生殖生物学 | 24 | | | | | |

文化学部 文化学科

(平成17年10月22日現在)

(その1)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | |
|---------|----------------|-------------|------|---------------|-----------|-----|
| 文化基礎科目群 | 文化学入門 | 90 | 文学専修 | 近代イギリス文学講読A | 12 | |
| | 基礎演習 | 88 | | 近代イギリス文学講読B | 10 | |
| | 土佐地域文化研究(方言) | - | | 現代イギリス文学講読A | 9 | |
| | 土佐地域文化研究(祭り) | - | | 現代イギリス文学講読B | 13 | |
| | 土佐地域文化研究(美術) | - | | アメリカ文学講読 | 9 | |
| | 土佐地域文化研究(スポーツ) | - | | フランス文学講読 | 2 | |
| | 土佐地域文化研究(民俗) | 68 | | 日本語文章構成法 | 41 | |
| | 土佐地域文化研究(教育) | 31 | | 英語文章構成法 | - | |
| | 土佐地域文化研究(文学) | - | | 日本古典文学論文講読 | 38 | |
| | 土佐地域文化研究(文学) | - | | 平安朝文学演習A | 29 | |
| | 土佐地域文化研究(地域学) | - | | 平安朝文学演習B | 21 | |
| | 新聞論 | 78 | | 日本近世文学演習A | 9 | |
| | 情報処理演習 | - | | 日本近世文学演習B | 11 | |
| | 情報処理演習 | 14 | | 日本近現代文学演習A | 23 | |
| | 情報処理演習 | 23 | | 日本近現代文学演習B | 22 | |
| | 情報処理演習 | 7 | | 中国古典文学演習A | 13 | |
| | プレゼンテーション論 | 10 | | 中国古典文学演習B | 14 | |
| | プレゼンテーション論 | 17 | | 中世イギリス文学演習 | 5 | |
| | フィールド実習 | 44 | | ルネサンスイギリス文学演習 | 4 | |
| | フィールド実習 | 7 | | 近代イギリス文学演習A | 3 | |
| フィールド実習 | 34 | 近代イギリス文学演習B | 5 | | | |
| フィールド実習 | 34 | 現代イギリス文学演習A | 8 | | | |
| フィールド実習 | 11 | 現代イギリス文学演習B | 7 | | | |
| 専修科目群 | 文学専修 | 日本文学入門 | 45 | 文化創造専修 | アメリカ文学演習A | 14 |
| | | 英米文学入門 | 34 | | アメリカ文学演習B | 13 |
| | | 日本文学史 | 41 | | フランス文学演習A | 1 |
| | | 中国文学史 | 41 | | フランス文学演習B | 2 |
| | | イギリス文学史 | 43 | | 日本文化概論 | 33 |
| | | アメリカ文学史 | 50 | | 日本文化論講読A | - |
| | | 比較文学 | - | | 日本文化論講読B | 14 |
| | | 文学批評理論 | 53 | | 日本文化論演習A | 18 |
| | | 日本古典文学テーマ講義 | 32 | | 日本文化論演習B | 17 |
| | | 日本近世文学特論 | 21 | | 民俗学 | 119 |
| | | 日本近代文学特論 | 37 | | 民俗学講読 | 15 |
| | | 日本古典文学制度講義 | 46 | | 民俗文化論 | 10 |
| | | 日本近現代詩歌論 | 48 | | 日本史 | - |
| | | 中国古典文学論 | - | | 日本思想史 | 130 |
| | | 日本神話講読 | 49 | | 書道 | 57 |
| | | 物語文学講読A | 45 | | 日本文化史 | 26 |
| | | 物語文学講読B | 40 | | 美術史A | 28 |
| | | 日本中世文学講読A | 5 | | 美術史B | 30 |
| | | 日本中世文学講読B | 10 | | 考古学 | 58 |
| | | 日本近世文学講読A | 11 | | 中国文化論 | - |
| | | 日本近世文学講読B | 10 | | アジア思想史 | - |
| | | 日本近代文学講読 | 36 | | 現代アジア文化論 | - |
| | | 日本現代文学講読 | 43 | | 英米文化概論 | - |
| | | 中国古典文学講読A | 38 | | 英米文化史A | 43 |
| | | 中国古典文学講読B | 42 | | 英米文化史B | 23 |

(その2)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | |
|------------|-------------|--------------|------|---------------|------------------|------|
| 専修科目群 | 文化創造専修 | 西洋史 | 97 | 言語コミュニケーション専攻 | 中級英語アカデミックライティング | 22 |
| | | フランス思想史 | 3 | | 上級英語アカデミックライティング | 19 |
| | | 比較宗教学 | 95 | | 日本語音声学・音韻論 | 65 |
| | | 近現代文化論 | 29 | | 英語文法・英作文 A | 48 |
| | | 近現代生活史 | - | | 英語文法・英作文 B | 45 |
| | | 消費社会論講読 | 10 | | 英語音声学 | 22 |
| | | 現代社会論 | 46 | | 検定英語 A | 39 |
| | | 現代社会論講読 | 22 | | 検定英語 B | 39 |
| | | 現代社会論講読 | 0 | | 検定英語 A | 17 |
| | | 現代社会論演習 A | 13 | | 検定英語 B | 14 |
| | | 現代社会論演習 B | 11 | | 言語文化論 | 75 |
| | | 現代社会論演習 A | 8 | | 英語言語文化論講読 A | 23 |
| | | 現代社会論演習 B | 5 | | 英語言語文化論講読 B | 23 |
| | | 地域文化論 | 7 | | 英語言語文化論講読 A | 12 |
| | | 地域文化論 | 15 | | 英語言語文化論講読 B | 12 |
| | | 地域文化特論 | 45 | | 英語言語文化演習 A | 16 |
| | | 地域文化論講読 | 17 | | 英語言語文化演習 B | 15 |
| | | 地域文化論演習 A | 9 | | 英語言語文化演習 A | 15 |
| | | 地域文化論演習 B | 11 | | 英語言語文化演習 B | 14 |
| | | 音楽文化論 A | 60 | | 対照言語学 | 37 |
| | | 音楽文化論 B | 63 | | 日本語論 | 60 |
| | | 音楽文化特論 A | - | | 日本語史 | 59 |
| | | 音楽文化特論 B | 24 | | 日本語言語文化論講読 | 35 |
| | | 音楽文化論演習 A | 28 | | 日本語言語文化演習 A | 13 |
| | | 音楽文化論演習 B | - | | 日本語言語文化演習 B | 13 |
| | | 映像文化論講読 | 5 | | 日本語教授法 | 14 |
| | | 文化政策論 | 31 | | 日本語教育実習 | 14 |
| | | 文化政策論 | 30 | | 日本語教育法演習 | 18 |
| | | 文化政策論講読 A | 14 | | 日本語教育教材論 | 11 |
| | | 文化政策論講読 B | 13 | | 異文化コミュニケーション論 | 21 |
| | | まちづくり政策論 | 25 | | 留学セミナー | 10 |
| | | 文化政策論演習 A | 14 | | 比較文化論 | 23 |
| | | 文化政策論演習 B | 11 | | 比較文化論 | 19 |
| NPO論 | 77 | 比較文化論 | 20 | | | |
| ジェンダー論 | 11 | 比較文化論 | 5 | | | |
| ジェンダー論演習 A | 4 | 比較文化論講読 A | 8 | | | |
| ジェンダー論演習 B | 5 | 比較文化論講読 B | 8 | | | |
| 文化人類学 | 75 | 比較文化演習 A | 24 | | | |
| 文化人類学講読 | 8 | 比較文化演習 B | 20 | | | |
| 文化人類学演習 A | 13 | 比較文化演習 A | 7 | | | |
| 文化人類学演習 B | 10 | 比較文化演習 B | 5 | | | |
| 専攻 | 言語コミュニケーション | 日本語コミュニケーション | - | その他 | 留学 A | - |
| | | 日本語コミュニケーション | - | | 留学 B | - |
| | | 中級英語リスニング | 39 | | 自主研修 | 6 |
| | | 上級英語リスニング | 33 | | 企業実習 | 64 |
| | | 中級英語スピーキング | 53 | | 課題研究 | 卒業研究 |
| 上級英語スピーキング | 27 | | | | | |

看護学部 看護学科

(平成17年10月22日現在)

(その1)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | | |
|----------|------------|----------|-------------|-------------|------------|------------|----|
| 専門基礎科目 | 微生物学 | 44 | 看護基礎科目 | 看護システム論 | 45 | | |
| | 薬理学 | 47 | | 看護サービス論 | 44 | | |
| | 生化学 | 43 | | 看護と政策 | 47 | | |
| | 医学の世界 | 44 | | 看護教育論 | 1 | | |
| | 人体のしくみ - A | 43 | | 看護管理の動向と課題 | - | | |
| | 人体のしくみ - B | 43 | | チーム医療実習 | 41 | | |
| | 人体のしくみ - A | 43 | | 看護管理実習 | 43 | | |
| | 人体のしくみ - B | 43 | | 老人看護学総論 | 47 | | |
| | 心のしくみ | 44 | | 老人の健康と看護 | 43 | | |
| | 人体のしくみの乱れ | 43 | | 老人看護援助論 | 43 | | |
| | 人体のしくみの乱れ | 43 | 老人看護の動向と課題 | 6 | | | |
| | 診断学 | 47 | 老人看護実習 | 43 | | | |
| | 治療学総論 | 43 | 母性看護学総論 | 47 | | | |
| | 病態と治療 | 43 | 母性看護対象論 | 43 | | | |
| | 病態と治療 | 43 | 母性看護援助論 | 40 | | | |
| | 健康管理論 | 45 | 母性学 | 43 | | | |
| | 疫学 | 45 | 母性看護の動向と課題 | - | | | |
| | 保健統計 | - | 母性看護実習 | 40 | | | |
| | 栄養学 | 44 | 精神看護学総論 | 48 | | | |
| | 社会保障と看護 | 44 | 精神の健康と看護 | 43 | | | |
| | 公衆衛生学 | 43 | 精神看護援助論 | 40 | | | |
| | 人間工学 | 1 | 精神看護の動向と課題 | 5 | | | |
| | 行動科学 | - | 精神看護実習 | 40 | | | |
| | 医療と経営 | 21 | 慢性期看護論 | 44 | | | |
| | 保健行動論 | 5 | 慢性期援助論 | 45 | | | |
| | 社会福祉法制論 | 9 | 終末期看護論 | 46 | | | |
| | 社会福祉援助技術総論 | 3 | 慢性期看護の動向と課題 | 7 | | | |
| 臨床心理学 | 34 | 慢性期看護実習 | 42 | | | | |
| 障害児発達学 | 31 | 急性期看護論 | 43 | | | | |
| 看護基礎科目 | 看護学総論 | 44 | 看護臨床科目 | 急性期援助論 | 46 | | |
| | 健康と看護 | 44 | | 回復期看護論 | 40 | | |
| | 環境と看護 | 44 | | 急性期看護の動向と課題 | 5 | | |
| | 人間と看護 | 44 | | 急性期看護実習 | 42 | | |
| | 看護研究方法論 | 44 | | 小児看護学総論 | 44 | | |
| | 看護哲学と倫理 | 90 | | 小児の健康と看護 | 42 | | |
| | 看護基礎科目 | 生活と看護 | 44 | 小児看護学 | 小児看護援助論 | 42 | |
| | | 生活援助論 | 44 | | 小児と疾患 | 40 | |
| | | 生活援助論 -1 | 44 | | 小児看護の動向と課題 | 4 | |
| | | 生活援助論 -2 | 44 | | 小児看護実習 | 38 | |
| | | 生活援助論 -1 | 43 | | 地域看護学総論 | 44 | |
| | | 生活援助論 -2 | 43 | | 地域の健康と看護 | 45 | |
| | | 看護基礎科目 | 看護過程論 | 43 | 地域看護学 | 地域看護援助論 | 45 |
| | | | 援助関係論 | 44 | | 在宅家族ケア | 44 |
| | | | フィジカルアセスメント | 44 | | 学校保健 | 14 |
| | | | 治療援助論 | 43 | | 養護概説 | 15 |
| | | | 治療援助論 | 43 | | 地域看護の動向と課題 | 5 |
| | | | 症状と看護 | 43 | | 地域看護実習 | 44 |
| | | | 看護援助の動向と課題 | 0 | | | |
| | | | ふれあい実習 | 44 | | | |
| 基礎看護援助実習 | 43 | | | | | | |

(その2)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|----------|--------------|------------|------|------------|---------|
| 総合科目 | バイオロジカルナーシング | 18 | 総合科目 | 看護セミナー -A | 0 |
| | 治療と看護 | 5 | | 看護セミナ - -A | 9 |
| | 看護とデータ分析 | 36 | | 看護セミナー -A | 0 |
| | 臨床看護論 | 14 | | 看護セミナ - -A | 15 |
| | 臨床看護論 | 6 | | 看護セミナー -A | 7 |
| | 臨床看護論 | 6 | | 看護セミナ - -A | 2 |
| | 臨床看護論 | 3 | | 看護セミナー -A | 3 |
| | 臨床看護論 | 5 | | 看護セミナ - -A | 0 |
| | 看護実践論 | 0 | | 看護セミナー - A | 10 |
| | 看護実践論 | 4 | | 看護セミナー -B | 5 |
| | 看護実践論 | 0 | | 看護セミナ - -B | 0 |
| | 看護実践論 | 17 | | 看護セミナー -B | 10 |
| | 看護実践論 | 10 | | 看護セミナ - -B | 0 |
| | 看護実践論 | 5 | | 看護セミナー -B | 0 |
| | 看護実践論 | 1 | | 看護セミナ - -B | 0 |
| | 看護学の動向と課題 | 16 | | 看護セミナー -B | 0 |
| | 最新実践看護講座 | 16 | | 看護セミナ - -B | 3 |
| 最新実践看護講座 | 20 | 看護セミナー - B | 13 | | |
| 最新実践看護講座 | 11 | 看護研究 | 42 | | |
| 最新実践看護講座 | 12 | 総合看護実習 | 40 | | |

社会福祉学部 社会福祉学科

(平成17年10月22日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | |
|-------|-------------|----------------|--------------|----------|---------------|----|
| 基本科目 | 現代生活と社会福祉 | 37 | 分野・領域科目 | 社会保障論 | 42 | |
| | 社会科学入門 | 34 | | 公的扶助論 | 37 | |
| | カウンセリング論 | 35 | | 児童福祉論 | 40 | |
| | 社会福祉概論 | 36 | | 障害者福祉論 | 39 | |
| | 社会福祉概論 | 36 | | 高齢者福祉論 | 37 | |
| | 社会福祉援助技術総論 | 39 | | 医療福祉論 | 7 | |
| | 社会福祉援助技術総論 | 35 | | 精神保健福祉論 | 1 | |
| | 社会福祉史 | 44 | | 国際福祉論 | - | |
| | 社会福祉史 | 39 | | 展開科目 | 社会福祉入門演習 | 35 |
| | 社会福祉原理論 | 42 | | | 社会福祉入門演習 | 35 |
| | 社会福祉法制論 | 33 | | | 社会福祉基礎演習 | 35 |
| | 社会福祉行財政論 | 35 | | | 社会福祉基礎演習 | 35 |
| | 社会福祉行財政論 | 34 | | | 社会福祉専門演習 - a | 35 |
| | 地域福祉論 | 38 | 社会福祉専門演習 - b | | 34 | |
| | 社会保障論 | 35 | 社会福祉専門演習 - a | | 42 | |
| | 公的扶助論 | 39 | 社会福祉専門演習 - b | | 40 | |
| | 児童福祉論 | 41 | 社会福祉外書購読 | | 3 | |
| | 障害者福祉論 | 41 | 社会福祉外書購読 | | - | |
| | 高齢者福祉論 | 37 | 実習科目 | 社会福祉現場実習 | 37 | |
| | 社会福祉施設運営管理論 | 11 | | 社会福祉現場実習 | 35 | |
| | 臨床心理学 | 31 | | 社会福祉現場実習 | 35 | |
| 介護概論 | 36 | 精神保健福祉援助実習 | | 20 | | |
| 保健福祉論 | 31 | 特論科目 | 社会福祉特論 | 31 | | |
| 国際福祉論 | 11 | | 関連科目 | 家族社会学 | 38 | |
| 女性福祉論 | 7 | 地域社会学 | | 35 | | |
| 展開科目 | 方法・技術科目 | 社会福祉援助技術各論 - a | | 38 | 臨床心理学 | 0 |
| | | 社会福祉援助技術各論 - b | | 38 | 心理検査法 | 23 |
| | | 社会福祉援助技術各論 - a | | 36 | 母子保健論 | 12 |
| | | 社会福祉援助技術各論 - b | | 32 | 高齢者保健論 | 4 |
| | | 社会福祉援助技術演習 | | 37 | 障害児発達学 | 38 |
| | | 社会福祉援助技術演習 | | 36 | 法学 | 37 |
| | | 社会福祉援助技術演習 | | 34 | 経済学概論 | 6 |
| | | 社会福祉援助技術演習 | | 35 | 哲学概論 | 11 |
| | | 精神保健福祉援助技術各論 | | 41 | 倫理学概論 | - |
| | | 精神保健福祉援助演習 | | 41 | 精神保健学 | 25 |
| | | ケアマネジメント論 | | 36 | 医学概論 | 35 |
| | | ケアマネジメント演習 | | 18 | 医学概論 | 37 |
| | | 事例研究法 | | 4 | 精神医学 | 41 |
| | | 社会調査演習 | | 7 | 精神科リハビリテーション学 | 1 |
| | | 社会調査演習 | | 3 | | |
| | | カウンセリング演習 | | 31 | | |
| | | カウンセリング演習 | | 13 | | |
| | | 介護演習 | | 35 | | |
| | | 介護演習 | | 36 | | |
| | | 子育て社会支援論 | 33 | | | |
| | | 福祉情報演習 | 20 | | | |

【 大学院 】

看護学研究科

（平成18年3月1日現在）

| 授 業 科 目 | | 受講者数(人) | 授 業 科 目 | | 受講者数(人) | | | |
|----------------------------|-----------------------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|---|
| 看 護 共 通 科 目 | 看護理論と実践 | 9 | が ん 看 護 学 | がん看護論 | - | | | |
| | 看護研究と実践 | 9 | | がん看護対象論 | 3 | | | |
| | 看護倫理 | 9 | | がん患者看護展開論 | 1 | | | |
| | 看護教育論 | 18 | | がん患者対症看護援助論 | 3 | | | |
| | 看護サービス管理論 | 8 | | がん看護課題研究 | 1 | | | |
| | 看護学の動向と展望 | 14 | | がん看護学実践演習 | 3 | | | |
| | データ分析方法論 | 9 | | がん看護学実践演習 | 1 | | | |
| | 病態生理学 | 病態生理学 | 4 | 小 児 看 護 学 | 小児看護論 | 1 | | |
| | | フィジカルアセスメント特論 | 4 | | 小児看護対象論 | 1 | | |
| | | こころの発達 | - | | 小児看護展開論 | - | | |
| | | 保健医療政策と経済 | 12 | | 小児看護ケアの動向と展望 | 2 | | |
| | | 看護コンサルテーション論 | 9 | | 小児看護課題研究 | 2 | | |
| | | 看護研究演習 | 0 | | 小児看護実践演習 | 2 | | |
| | | | | | 小児看護学実践演習 | 1 | | |
| 領 域 科 目 | 家 族 看 護 | 家族看護論 | 9 | 領 域 科 目 | 慢 性 看 護 学 | 慢性看護論 | 1 | |
| | | 家族看護援助論 | 9 | | | 慢性看護対象論 | 1 | |
| | | 家族と病気 | - | | | 慢性看護援助論 | 1 | |
| | | 家族療法 | 7 | | | 慢性看護展開論 | - | |
| | | 家族ケアの動向と展望 | 3 | | | 慢性看護学実践演習 | 1 | |
| | | 家族看護学演習 | - | | | 慢性看護学課題研究 | - | |
| | | 家族看護課題研究 | 3 | | | 看 護 管 理 学 | 看護管理論 | 1 |
| | | 家族看護学実践演習 | 3 | | | | システム経営管理論 | 1 |
| | | 家族看護学研究方法 | - | | | | 看護管理展開論 | 1 |
| | 精 神 看 護 学 | 精神看護論 | 3 | 看護管理の動向と展望 | 0 | | | |
| | | 精神看護対象論 | 3 | 看護管理課題研究 | 1 | | | |
| | | 精神看護展開論 | 3 | 看護管理学実践演習 | 0 | | | |
| | | 精神看護方法論 | 1 | 看護管理学研究方法 | 1 | | | |
| | | 精神看護学演習 | 0 | 臨 床 看 護 学 | 成人看護ケア研究 | | 4 | |
| | | 精神看護課題研究 | 1 | | 家族看護ケア研究 | | 5 | |
| | | 精神看護実践演習 | - | | 精神看護ケア研究 | - | | |
| | | 精神看護学実践演習 | 3 | | 地域看護ケア研究 | 3 | | |
| | | 在 宅 老 人 看 護 学 | 老人看護論 | | - | 小児看護ケア研究 | - | |
| | 在宅老人看護論 | | - | | 在宅老人看護ケア研究 | 3 | | |
| | 老人看護展開論 | | - | | がん看護ケア研究 | 3 | | |
| | 在宅看護展開論 | | 2 | | 慢性期看護ケア研究 | 5 | | |
| | 在宅老人ケアシステム論 | | 0 | | 臨床看護学研究演習 | 3 | | |
| | 地域看護論 | | - | 臨床看護学研究演習 | 3 | | | |
| | 地域看護展開論 | | - | 臨床看護学研究方法 | 1 | | | |
| 地域看護展開論 | 1 | | 臨床看護学研究方法 | 1 | | | | |
| 在宅ケアシステム論 | - | | 臨床看護学研究方法 | 4 | | | | |
| 在宅老人看護課題研究 | 1 | | | | | | | |
| 在宅老人看護学実践演習 | - | | | | | | | |
| 看護研究演習 | 1 | | | | | | | |
| 在宅老人看護学実践演習 | 1 | | | | | | | |

人間生活学研究科

(平成18年3月1日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) |
|----------|--------------------|---------|----------------|----------------|---------|
| 人間 共通 | 人間生活健康情報論 | 17 | 福祉 領域 科目 | 社会福祉原論 | 5 |
| | 人間生活福祉政策論 | 17 | | ソーシャルワーク論 | 7 |
| | 人間生活文化論 | 20 | | 高齢者福祉論 | 5 |
| | 人間生活論演習 | 17 | | 児童福祉論 | 6 |
| | 人間生活論演習 | 17 | | 障害者福祉論 | 2 |
| | 人間生活論演習 | 20 | | 地域福祉論 | 7 |
| | 特別講義 (人間環境論) | 10 | | 臨床福祉論 | 13 |
| | 特別講義 (保健・医療・福祉制度論) | 16 | | 介護福祉論 | 8 |
| | 特別講義 (文化政策論) | 6 | | 国際福祉政策論 | 7 |
| | 特別講義 (生活環境論) | 10 | | 地域文化論 | 7 |
| | 特別講義 (データ解析論) | 9 | | 地域文化論 | 6 |
| 領域 科目 | 人間栄養論 | 15 | 文化 領域 | 日本文化論 | 3 |
| | 人間栄養論 | - | | 日本文化論 | 3 |
| | 食品総合科学論 | - | | 英米文化論 | 2 |
| | 食品総合科学論 | 11 | | 英米文化論 | 1 |
| | 栄養疫学論 | 12 | | 課題研究演習 (論文) | 12 |
| | 栄養教育論 | 11 | | | |
| | 住生活論 | 17 | | | |
| | 住環境論 | - | | | |
| | 環境生態論 | 17 | | | |
| | 環境解析論 | 8 | | | |
| | 環境解析論 | - | | | |

健康生活科学研究科

(平成18年3月1日現在)

| 授業科目 | | 受講者数(人) | 授業科目 | | 受講者数(人) | |
|----------------------|-----------|---------|----------------------------------|------------|---------|----|
| 研究 指導 科目 | 看護学特別研究 | 5 | 生活 科学 領域 研究 支援 科目 | 人間栄養論 | 0 | |
| | 看護学特別研究 | 4 | | 臨床栄養論 | 0 | |
| | 看護学特別研究 | 4 | | 栄養生理論 | 0 | |
| | 生活科学特別研究 | - | | 保健環境論 | 0 | |
| | 生活科学特別研究 | - | | 居住環境論 | 0 | |
| | 生活科学特別研究 | 3 | | 環境生態論 | 0 | |
| | 社会福祉学特別研究 | 2 | | 医療・福祉制度論 | 0 | |
| | 社会福祉学特別研究 | 1 | | 臨床福祉論 | 0 | |
| | 社会福祉学特別研究 | 2 | | 社会福祉原理論 | 0 | |
| 領域 研究 支援 科目 | 小児看護論 | 6 | 社会 福祉 学 領域 | 地域福祉政策論 | 0 | |
| | 小児看護論 | 0 | | ノーマリゼーション論 | 0 | |
| | がん看護論 | 5 | | 障害者福祉論 | 0 | |
| | がん看護論 | 2 | | 障害者福祉援助論 | 0 | |
| | 家族看護論 | 6 | | 精神障害者福祉論 | 0 | |
| | 家族看護論 | 0 | | 国際福祉比較論 | 0 | |
| | システム経営論 | 5 | | 共通 科目 | 健康科学論 | 4 |
| | システム経営論 | 0 | | | 健康政策論 | 10 |
| | 地域ケアシステム論 | 3 | | | 身体表現論 | 0 |
| | 慢性看護論 | 6 | | | | |
| 成人看護論 | 6 | | | | | |
| 精神看護論 | 4 | | | | | |

3 教員免許及び国家資格の状況

(1) 教員免許申請状況

(平成18年3月31日現在)

| 学 部 | 学 科 | 種 類 | 教 科 | 申請者数 |
|--------|----------|---------|-----|------|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 中一種・高一種 | 家庭 | 2 |
| | | 高一種 | 課程 | 3 |
| | 健康栄養学科 | 中一種・高一種 | 家庭 | 5 |
| | 環境理学科 | 中一種・高一種 | 理科 | 10 |
| 文化学部 | 文化学科 | 中一種・高一種 | 国語 | 13 |
| | | 高一種 | 国語 | 4 |
| | | 中一種・高一種 | 英語 | 28 |
| | | 高一種 | 英語 | 3 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 高一種 | 公民 | 5 |
| 看護学部 | 看護学科 | 養護一種 | | 8 |
| 合 計 | | | | 81 |

(2) 国家資格取得状況

(平成18年3月31日現在)

| 国 家 資 格 | 区 分 | 受験者数 | 合格者数 | 合 格 率 |
|---------|-----|------|------|--------|
| 保 健 師 | 新 卒 | 41 | 37 | 90.2% |
| | 既 卒 | 8 | 3 | 37.5% |
| 看 護 師 | 新 卒 | 37 | 37 | 100.0% |
| 社会福祉士 | 新 卒 | 42 | 29 | 69.0% |
| 精神保健福祉士 | 新 卒 | 19 | 17 | 89.5% |

4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

(1)学位授与状況

(単位:人)

| 研究科名 | 修士 | | 博士 | |
|-----------|--------|-----|--------|----|
| | 平成17年度 | 累計 | 平成17年度 | 累計 |
| 看護学研究科 | 13 | 74 | - | - |
| 人間生活科学研究科 | 13 | 52 | - | - |
| 健康生活科学研究科 | - | - | 9 | 18 |
| 計 | 26 | 126 | 9 | 18 |

【学位授与者一覧(平成17年度)】

博士

| 授与年月日 | 学位の種類 | 氏名 | 論文名 |
|------------|-----------|--------|--|
| 平成18年3月16日 | 博士(看護学) | 畦地 博子 | 精神科看護の【説明】に関する研究 |
| 平成18年3月16日 | 博士(看護学) | 植田 喜久子 | 壮年期女性の死生観とその形成に関する研究 |
| 平成18年3月16日 | 博士(学術) | 河野 淑子 | 南西諸島におけるハマボスの染色体多型と地理分布 -奄美諸島について- |
| 平成18年3月16日 | 博士(社会福祉学) | 中川 ふさ | ハワイ政府移住民局日本人部の開設要因に関する歴史的研究 |
| 平成18年3月16日 | 博士(看護学) | 濱田 裕子 | 障害のある子どもと社会をつなぐ家族のプロセス -障害児もいる家族として社会に踏み出す- |
| 平成18年3月16日 | 博士(看護学) | 稲田 久美子 | 看護組織における組織文化の測定尺度の開発 |
| 平成18年3月16日 | 博士(学術) | 徐 明仿 | 台湾における介護サービスの提供体制 |
| 平成18年3月16日 | 博士(学術) | 野村 卓生 | 運動習慣改善への効果的な啓発・教育に関する研究 日常的な身体活動促進への行動科学的アプローチ |
| 平成18年3月16日 | 博士(生活科学) | 森山 ゆり | 生活習慣病の危険因子としてのホモシステインに関する研究 |

修 士

| 授与年月日 | 学位の種類 | 氏 名 | 論 文 名 |
|------------|-----------|--------|--|
| 平成17年9月30日 | 修士(学術) | 田内 佳子 | 精神保健分野における個人情報保護とその利活用～精神障害者の個人情報保護と健康支援における情報共有の現状と運用マニュアル作成～ |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 大納 庸子 | 家族の症状マネージメントに介入する看護の方法 A method of nursing to approach in the symptom management of family |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 加藤 依子 | 親から慢性疾患をもつ子どもへのセルフケアの責任の移行 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 金子 智美 | 筋萎縮性側索硬化症(ALS)病者を内包する家族のコントロール Control of Family living with a Amyotrophic Lateral Sclerosis(ALS) patient |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 坂本 章子 | 若年性パーキンソン病患者家族の病気と共に生きる構え The schema of living with the illness of a youth Parkinson's disease patiwns among families |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 染谷 千亜希 | 訪問看護における協働と訪問看護師が協働していくうえでの困難に関する研究 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 高山 良子 | 再発を繰り返す肝臓がん患者の調和 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 戸田 万利子 | 病院の看護職員の職務満足に関する研究 -病院の統合が職務満足に影響する要因に焦点を当てて- |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 野中 真澄 | 初発肺がん患者の家族のがん診断期から在宅期における困難と対処 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 増井 亜紀 | コミュニティ・エンパワメントを目指した保健師のグループ活動への支援 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 丸川 清美 | 看護の行きづまりを打開する看護ケア |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 目原 陽子 | 子どもがNICUに入院した経験をもつ父親の「親となる」過程 |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 山中 福子 | 地域医療支援病院における外来看護活動 -外来看護師を配置することの価値- |
| 平成18年3月16日 | 修士(看護学) | 吉村 利津子 | 看護師長の実践を通じた変革に関する研究 -変革ができる人材の効果的な育成を目指して- |
| 平成18年3月16日 | 修士(社会福祉学) | 玉木 瑞枝 | ボランティア概念の枠組みとボランティア像に関する一考察 |

| 授与年月日 | 学位の種類 | 氏名 | 論文名 |
|------------|-----------|--------|---|
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 福留 久司 | 高知県の地域文化特性 ~ 中世以降における土佐の永小作権の展開を中心に ~ |
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 石井 俊典 | 古代における四国の仏教美術 - その造形に見る地域特性 - |
| 平成18年3月17日 | 修士(社会福祉学) | 尾立 眞知 | ケアマネージャーの活動実態と課題 - 可能な限り在宅生活の継続を保障するために - |
| 平成18年3月17日 | 修士(社会福祉学) | 栗山 裕司 | 介護保険制度化における各種居宅サービスの関連性とその効果 - 十和村における各種居宅サービスの事例分析より - |
| 平成18年3月17日 | 修士(生活科学) | 谷岡 由梨 | Spirulina platensis NIES-39におけるシュードビタミンB12の生理機能の解明 - ビタミンB12依存性メチオニン合成酵素遺伝子の同定とクローニング - |
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 野竹 武雄 | 安芸城復元図の研究 空間構成の考察 |
| 平成18年3月17日 | 修士(生活科学) | 古屋 美知 | シニア海外ボランティアの健康状態と体重との関係について |
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 元吉 安芸子 | 妊婦健診における不規則性抗体検査の実施状況 - 高知県下における調査 - |
| 平成18年3月17日 | 修士(生活科学) | 山本 恵美 | 加齢に伴うビタミンB12吸収障害への対応策の検討 - 発酵食品めふんを利用した遊離型ビタミンB12の補完 - |
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 渡邊 慶子 | トマトに期待される視覚・味覚の効果に着目した病院食への応用 |
| 平成18年3月17日 | 修士(学術) | 片山 訓博 | 日本に於ける呼吸機能検査の妥当性に関する研究 |

(2) 大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

| 学 部 | 学 科 | 学年 | 受賞者数 | 功 績 |
|--------|----------|----|------|--------------------------------|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 4 | 1名 | 高知県建築デザインコンペにおける高知県知事賞を含む3度の受賞 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 4 | 1名 | 太鼓部の部長として大学の地域貢献活動に寄与 |

【学長賞】

| 学 部 | 学 科 | 学年 | 受賞者数 | 功 績 |
|---------|----------|----|------|---|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 4 | 1名 | 高知県建築デザインコンペにおいて KUTV テレビ高知社長賞受賞 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 4 | 1名 | 高知県建築デザインコンペにおいて(社)高知県建設業協会建築部会長賞受賞 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 4 | 1名 | 高知県建築デザインコンペにおいて高知県教育長賞 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 4 | 1名 | 日本建築学会四国支部長賞受賞 高知県建築デザインコンペにおいて(社)高知県建築士事務所協会会長賞 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 3 | 4名 | 高知県建築デザインコンペにおいて高知県知事賞受賞 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 3 | 4名 | 高知県建築デザインコンペにおいて(社)日本建築士事務所協会会長賞を受賞 |
| 生活科学部 | 健康栄養学科 | 4 | 2名 | 食育ボランティアの設立とこどもを対象とした食育授業 |
| 文化学部 | 文化学科 | 4 | 1名 | インカレ・バドミントン個人ベスト32 |
| 文化学部 | 文化学科 | 2 | 1名 | インカレ・水泳50mバタフライ1位 |
| 文化学部 | 文化学科 | 2 | 1名 | インカレ・水泳100m自由形2位 |
| 看護学部 | 看護学科 | 4 | 1名 | エルムズ大学へ短期留学をしたことを礎に、本学の国際交流活動の発展に貢献した。 |
| 弓道部 | | | 4名 | (アピール賞) |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 講師 | 1名 | 第50回高知県出版文化賞受賞 |
| 南 裕 子 | | | - | 世界看護師協会会長 |
| 久 常 節 子 | | | - | 日本看護師協会会長 |

(3) サティフィケーション授与状況

| 職 名 | 氏 名 | 内 容 | 招聘者(学部) |
|--|-----------------------|---|---------------------|
| Ed.D | Anne Harrison | 平成17年5月28日～6月8日 | 高知女子大学 (国際交流委員会) |
| Director of ESL / International Programs of Elms College | Joyce Hampton | エルムズ大学と高知女子大学との短期研修プログラム遂行への協力に対して | |
| エルムズ大学 学生 | Amar Bellara | 平成17年5月28日～6月8日 日本語及び日本文化に関する短期研修プログラム修了 | 高知女子大学 (国際交流委員会) |
| | Ashley Bernier | | |
| | Kelly O'Connor | | |
| | Edward Manley | | |
| | Nicole Forcier | | |
| | Marc Carrasco | | |
| | Nathan Miller | | |
| | Audra Andrade | | |
| | Jessica Payne | | |
| ウランバトル第23番外国語教育特別学校学生 | ENKHBAT ENKHCHIMEG | 平成17年5月18日～7月22日 高知女子大学での体験短期聴講修了 | 高知女子大学 (国際交流委員会) |
| | DASHDORJ ANUDARI | | |

| 職 名 | 氏 名 | 内 容 | 招聘者(学部) |
|-------------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------|
| バングラデシュ 政府組織 シニア・アシスタント・チーフ | Borhanul Haque | | |
| インドネシア 女性権利教化省 行政課長補佐 | Ratna Susianawati | | |
| モンゴル 厚生労働省 男女及び家庭対策政策組織協力課副課長 | Bindiryaa Dugersuren | | |
| ネパール 内閣府 次官 | Narayan Prasad Bidari | | |
| パキスタン パンジャブ国税局 行政主任 | Kaukab Nazir | 平成17年8月1日～8月12日 JICA事業高知女子大学プロジェクトによる研修修了「女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース」 | JICA事業高知女子大学プロジェクト事業統括 水谷洋一 |
| ウズベキスタン 経済研究教育センター ジェンダー開発課長 | Dildora Asamutdinovna Tadjibaeva | | |
| ベトナム ベトナム女性組合 情報教育通信部副部長 | Tran Thi Hong | | |
| アフガニスタン 公衆衛生大臣室 家族計画推進員 | Hamrah Khan | | |
| カンボジア 女性省 女性事務局地方事務所所長 | Sokhan Lim | | |
| モンゴル国立大学大学院生 | BAASANJAV BAYARMANDAKH | | |
| モンゴル国立大学学生 | BAYARAA UYANGA | 平成17年9月28日～12月2日 高知女子大学での短期体験聴講修了 | 高知女子大学(国際交流委員会) |
| ウランバートル中等教育学校学生 | DELGEREKH NOMIUN | | |

5 FD活動実施状況(平成17年度)

| 学 部 | 演 題 | 講 師 | 年月日 |
|--------|---|---------------------------------------|----------------------|
| 生活科学部 | 筑波大学における学生による授業評価の結果とこれに基づいた授業改善の方法について | 一色 健司 氏 (高知女子大学生生活科学部教授) 資料のみ提供 | H17.4 |
| 文化学部 | 「大学評価とFD活動」 | 有本 章 氏 (広島大学高等教育研究センター) | H17.12.22 |
| 看護学部 | 「医療保険と介護保険の変遷と看護のデザイン」 | 森下 安子 氏 (高知女子大学助教授) | H17.9.15 |
| | 「介護保険制度の改革とケアマネージメントの将来方向」 | 白澤 政和 氏 (大阪市立大学大学院生活科学研究科教授) | H17.11.27 |
| | 「看護と政策」 | 小川 忍 氏 (日本看護協会常任理事) | H17.12.4 |
| | 「医療の動向を見据える看護のトップマネージメント」 | 粕田 孝之 氏 (高知女子大学看護学部教授) | H18.2.24 |
| | 「社会・医療・教育を動かす」 | 瀬戸山 元一 氏 (高知医療センター病院長) | H18.3.1 |
| 社会福祉学部 | 全国社会福祉教育セミナー 参加 | - | H17.10.29 ~ 10.30 |
| | 公立大学協会社会福祉学系部会 参加 | - | H17.10.30 |
| | 社会福祉士養成実習指導者研修会 参加 | - | H18.1.29 ~ 2.1 |

5 学 生

1 行事实績（平成17年度）

平成17年

| | |
|--------------------------|-----------------------|
| 4月 6日(水) | 入学式 |
| 4月11日(月) | 前期授業開始 |
| 4月21日(木) | 創立記念日・新入生の集い |
| 5月16日(月) | 前期定例学生大会 |
| 7月 1日(金)～ 3日(日) | 四国地区大学総合体育大会 |
| 7月 6日(水) | 入試担当者説明会 |
| 7月19日(火)～31日(日) | 前期末試験・補講期間 |
| 8月 1日(月)～9月16日(金) | 夏期休業期間 |
| 8月 1日(月) | オープンキャンパス |
| 9月17日(土)～30日(金) | 集中授業期間 |
| 9月18日(日) | 看護学部3年次編入学試験 |
| 9月18日(日)～19日(月) | 大学院入学試験 |
| 10月 3日(月) | 後期授業開始 |
| 10月 7日(金) | 地震避難訓練 |
| 10月29日(土)～30日(日) | 大学祭 |
| 11月12日(土) | 推薦入学試験、社会福祉学部3年次編入学試験 |
| 12月 1日(木) | 後期定例学生大会 |
| 12月16日(金)～23日(金) | 集中授業期間 |
| 12月25日(日)～平成18年 1月 7日(土) | 冬期休業期間 |

平成18年

| | |
|-------------------|-------------------|
| 1月 8日(日)～15日(日) | 集中授業期間 |
| 1月16日(月) | 授業開始 |
| 1月21日(土)～22日(日) | 大学入試センター試験 |
| 2月 6日(月)～17日(金) | 後期末試験・補講期間 |
| 2月20日(月)～3月20日(月) | 集中授業期間 |
| 2月25日(土)～26日(日) | 一般選抜入学試験(前期日程) |
| 2月26日(日) | 私費外国人留学生選抜入学試験 |
| 3月12日(日)～13日(月) | 一般選抜入学試験(後期日程) |
| 3月16日(木) | 博士論文発表会・学位授与式(博士) |
| 3月17日(金) | 卒業式・学位授与式(修士) |
| 3月21日(火)～4月5日(水) | 春期休業期間 |

2 入学の状況

(1)学部(推薦・個別・私費外国人留学生・編入)・大学院別の入学状況(平成17年度)

【学部】

推薦

(単位:人)

| 学部 区分 | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 計 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 募集人員 (a) | 11 | 20 | 11 | 10 | 52 |
| 志願者数 (b) | 32 | 29 | 27 | 28 | 116 |
| 倍率 (b / a) | (2.9) | (1.5) | (2.5) | (2.8) | (2.2) |
| 受験者数 (c) | 32 | 29 | 25 | 28 | 114 |
| 倍率 (c / a) | (2.9) | (1.5) | (2.3) | (2.8) | (2.2) |
| 合格者数 (d) | 13 | 20 | 10 | 10 | 53 |
| 倍率 (c / d) | (2.5) | (1.5) | (2.5) | (2.8) | (2.2) |
| 入学者数 | 13 | 20 | 10 | 10 | 53 |

推薦は県内のみ

個別

(単位:人)

| 学部 区分 | | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 計 |
|---------------|----|---------|---------|----------|----------|---------|
| 募集人員 (a) | | 49 | 60 | 29 | 21 | 159 |
| 志願者数 (b) | 県内 | 18 | 102 | 41 | 41 | 202 |
| | 県外 | 192 | 494 | 261 | 283 | 1230 |
| | 計 | 210 | 596 | 302 | 324 | 1432 |
| 倍率 (b / a) | | (4.3) | (9.9) | (10.4) | (15.4) | (9.0) |
| 受験者数 (c) | 県内 | 17 | 95 | 34 | 35 | 181 |
| | 県外 | 173 | 464 | 178 | 211 | 1026 |
| | 計 | 190 | 559 | 212 | 246 | 1207 |
| 倍率 (c / a) | | (3.9) | (9.3) | (7.3) | (11.7) | (7.6) |
| 合格者数 (d) | 県内 | 4 | 18 | 7 | 6 | 35 |
| | 県外 | 65 | 206 | 28 | 22 | 321 |
| | 計 | 69 | 224 | 35 | 28 | 356 |
| 倍率 (c / d) | | (2.8) | (2.5) | (6.1) | (8.8) | (3.4) |
| 入学者数 | 県内 | 3 | 10 | 7 | 6 | 26 |
| | 県外 | 53 | 56 | 27 | 17 | 153 |
| | 計 | 56 | 66 | 34 | 23 | 179 |

私費外国人留学生

(単位:人)

| 学 部 区分 | 学 部 | | | | 計 |
|-----------|-------|------|------|--------|-----|
| | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | |
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 志願者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 受験者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 合格者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 入学者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

3年次編入

(単位:人)

| 学 部 区分 | 学 部 | | | | 計 |
|---------------|-------|-------|---------|---------|---------|
| | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | |
| 募集人員 (a) | - | - | 4 | 3 | 7 |
| 志願者数 (b) | 県内 | - | 4 | 5 | 9 |
| | 県外 | - | 18 | 4 | 22 |
| | 計 | - | 22 | 9 | 31 |
| 倍率 (b / a) | (-) | (-) | (5.5) | (3.0) | (4.4) |
| 受験者数 (c) | 県内 | - | 4 | 5 | 9 |
| | 県外 | - | 16 | 3 | 19 |
| | 計 | - | 20 | 8 | 28 |
| 倍率 (c / a) | (-) | (-) | (5.0) | (2.7) | (4.0) |
| 合格者数 (d) | 県内 | - | 1 | 1 | 2 |
| | 県外 | - | 4 | 2 | 6 |
| | 計 | - | 5 | 3 | 8 |
| 倍率 (c / d) | (-) | (-) | (4.0) | (2.7) | (3.5) |
| 入学者数 | 県内 | - | 1 | 1 | 2 |
| | 県外 | - | 4 | 1 | 5 |
| | 計 | - | 5 | 2 | 7 |

【大学院】

(単位:人)

| 研究科 区分 | | 看護学研究科 | 人間生活学 研究科 | 健康生活科 学研究科 | 計 |
|---------------|----|------------|--------------|---------------|---------|
| | | 募集人員 (a) | 10 | 18 | 6 |
| 志願者数 (b) | 県内 | 10 | 19 | 2 | 31 |
| | 県外 | 15 | 8 | 6 | 29 |
| | 計 | 25 | 27 | 8 | 60 |
| 倍率 (b / a) | | (2.5) | (1.5) | (1.3) | (1.8) |
| 受験者数 (c) | 県内 | 10 | 18 | 2 | 30 |
| | 県外 | 15 | 8 | 6 | 29 |
| | 計 | 25 | 26 | 8 | 59 |
| 倍率 (c / a) | | (2.5) | (1.4) | (1.3) | (1.7) |
| 合格者数 (d) | 県内 | 5 | 14 | 2 | 21 |
| | 県外 | 7 | 4 | 5 | 16 |
| | 計 | 12 | 18 | 7 | 37 |
| 倍率 (c / d) | | (2.1) | (1.4) | (1.1) | (1.6) |
| 入学者数 | 県内 | 5 | 14 | 2 | 21 |
| | 県外 | 7 | 4 | 5 | 16 |
| | 計 | 12 | 18 | 7 | 37 |

学部(推薦・個別・私費外国人留学生・3年次編入)入学状況一覧(平成17年度)

(単位:人)

| 学部・学科名 | | 区分 | | 募集人員 | 志願者数 | | 受験者数A | | 合格者数B | | 追加合格者数 | | 入学者数 | | 受験倍率 A/B |
|--------|----------|----------|----------|------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|------|------|-------------|
| | | | | | 全体 | (県内) | 全体A | (県内) | 全体B | (県内) | 全体 | (県内) | 全体 | (県内) | |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 推薦 | 一般 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | | | 4 | 4 | 1.0 |
| | | | 専門 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1.0 |
| | | 個別 | 前期 | 16 | 81 | 2 | 73 | 2 | 23 | 0 | | | 22 | 0 | 3.2 |
| | | | 計 | 20 | 86 | 7 | 78 | 7 | 28 | 5 | | | 27 | 5 | 2.8 |
| | 健康栄養学科 | 推薦 | 一般 | 4 | 20 | 20 | 20 | 20 | 5 | 5 | | | 5 | 5 | 4.0 |
| | | 個別 | 前期 | 16 | 71 | 10 | 63 | 10 | 18 | 2 | | | 16 | 2 | 3.5 |
| | | 計 | 20 | 91 | 30 | 83 | 30 | 23 | 7 | | | 21 | 7 | 3.6 | |
| | 環境理学科 | 推薦 | 一般 | 3 | 7 | 7 | 7 | 7 | 3 | 3 | | | 3 | 3 | 2.3 |
| | | 個別 | 前期 | 17 | 58 | 6 | 54 | 5 | 26 | 2 | 2 | 0 | 18 | 1 | 2.1 |
| | | | 私費外国人留学生 | 若干人 | 0 | / | - | / | - | / | - | / | - | / | |
| | | 計 | 20 | 65 | 13 | 61 | 12 | 29 | 5 | | | 21 | 4 | 2.1 | |
| | 小計 | 推薦 | 一般 | 10 | 31 | 31 | 31 | 31 | 12 | 12 | 0 | 0 | 12 | 12 | 2.6 |
| | | | 専門 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1.0 |
| | | 個別 | 前期 | 49 | 210 | 18 | 190 | 17 | 67 | 4 | 2 | 0 | 56 | 3 | 2.8 |
| | | | 私費外国人留学生 | 若干人 | 0 | / | - | / | - | / | - | / | - | / | |
| | | 計 | 60 | 242 | 50 | 222 | 49 | 80 | 17 | 2 | 0 | 69 | 16 | 2.8 | |
| 文化学部 | 文化学科 | 推薦 | 一般 | 20 | 29 | 29 | 29 | 29 | 20 | 20 | | | 20 | 20 | 1.5 |
| | | 個別 | 前期 | 50 | 244 | 50 | 207 | 46 | 83 | 11 | | | 50 | 7 | 2.5 |
| | | | 後期 | 10 | 352 | 49 | 352 | 49 | 141 | 7 | | | 16 | 3 | 2.5 |
| | 私費外国人留学生 | 若干人 | 0 | / | - | / | - | / | - | / | - | / | | | |
| 計 | 80 | 625 | 128 | 588 | 124 | 244 | 38 | 0 | 0 | 86 | 30 | 2.4 | | | |
| 看護学部 | 看護学科 | 推薦 | 一般 | 10 | 27 | 27 | 25 | 25 | 10 | 10 | | | 10 | 10 | 2.5 |
| | | | 専門 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 個別 | 前期 | 25 | 131 | 22 | 121 | 22 | 31 | 6 | | | 30 | 6 | 3.9 |
| | | | 後期 | 4 | 171 | 19 | 91 | 12 | 4 | 1 | | | 4 | 1 | 22.8 |
| | | 私費外国人留学生 | 若干人 | 0 | / | - | / | - | / | - | / | - | / | | |
| | | 3年次編入 | 4 | 22 | 4 | 20 | 4 | 5 | 1 | | | 5 | 1 | 4.0 | |
| 計 | 44 | 351 | 72 | 257 | 63 | 50 | 18 | | | 49 | 18 | 5.1 | | | |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 推薦 | 一般 | 9 | 28 | 28 | 28 | 28 | 10 | 10 | | | 10 | 10 | 2.8 |
| | | | 専門 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 個別 | 前期 | 17 | 195 | 26 | 177 | 25 | 23 | 5 | | | 20 | 5 | 7.7 |
| | | | 後期 | 3 | 129 | 15 | 69 | 10 | 5 | 1 | | | 3 | 1 | 13.8 |
| | | 私費外国人留学生 | 若干人 | 1 | / | 1 | / | 1 | / | / | / | 1 | / | | |
| | | 3年次編入 | 3 | 9 | 5 | 8 | 5 | 3 | 1 | | | 2 | 1 | 2.7 | |
| 計 | 33 | 362 | 74 | 283 | 68 | 42 | 17 | | | 36 | 17 | 6.7 | | | |
| 合計 | 推薦 | 一般 | 49 | 115 | 115 | 113 | 113 | 52 | 52 | 0 | 0 | 52 | 52 | 2.2 | |
| | | 専門 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1.0 | |
| | 個別 | 前期 | 141 | 780 | 116 | 695 | 110 | 204 | 26 | 2 | 0 | 156 | 21 | 3.4 | |
| | | 後期 | 17 | 652 | 83 | 512 | 71 | 150 | 9 | 0 | 0 | 23 | 5 | 3.4 | |
| | 私費外国人留学生 | 若干人 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | |
| | 3年次編入 | 7 | 31 | 9 | 28 | 9 | 8 | 2 | 0 | 0 | 7 | 2 | 3.5 | | |
| | 計 | 217 | 1,580 | 324 | 1,350 | 304 | 416 | 90 | 2 | 0 | 240 | 81 | 3.2 | | |

年次別学部（推薦・個別・私費外国人留学生）入学状況（平成13～17年度）

（単位：人）

| 学部・学名 | 区分 | 平成17年度 | | | | | | 平成16年度 | | | | | | 平成15年度 | | | | | | 平成14年度 | | | | | | 平成13年度 | | | | | | | |
|--------|----------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|-----|------|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 受験倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 受験倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 受験倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 受験倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 受験倍率 | | |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 推薦 | 一般 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 1.0 | 3 | 7 | 7 | 3 | 3 | 2.3 | 3 | 14 | 14 | 3 | 3 | 4.7 | 3 | 11 | 11 | 3 | 3 | 3.7 | 4 | 12 | 12 | 4 | 4 | 3.0 |
| | | | 専門 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | | | | | | |
| | | 計 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 1.0 | 4 | 10 | 10 | 4 | 4 | 2.5 | 4 | 15 | 15 | 4 | 4 | 3.8 | 4 | 12 | 12 | 4 | 4 | 3.0 | 4 | 12 | 12 | 4 | 4 | 3.0 | |
| | | 個別 | 前期 | 16 | 81 | 73 | 23 | 22 | 3.2 | 16 | 65 | 58 | 22 | 18 | 2.6 | 16 | 57 | 48 | 23 | 21 | 2.1 | 16 | 56 | 50 | 25 | 23 | 2.0 | 16 | 60 | 55 | 23 | 18 | 2.4 |
| | | | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 20 | 86 | 78 | 28 | 27 | 2.8 | 20 | 75 | 68 | 26 | 22 | 2.6 | 20 | 72 | 63 | 27 | 25 | 2.3 | 20 | 68 | 62 | 29 | 27 | 2.1 | 20 | 72 | 67 | 27 | 22 | 2.5 | | |
| | 健康栄養学科 | 推薦 | 一般 | 4 | 20 | 20 | 5 | 5 | 4.0 | 4 | 17 | 17 | 4 | 4 | 4.3 | 4 | 22 | 22 | 4 | 4 | 5.5 | 4 | 22 | 21 | 4 | 4 | 5.3 | 4 | 23 | 23 | 4 | 4 | 5.8 |
| | | | 専門 | 16 | 71 | 63 | 18 | 16 | 3.5 | 16 | 103 | 95 | 21 | 21 | 4.5 | 16 | 82 | 72 | 22 | 20 | 3.3 | 16 | 84 | 74 | 22 | 19 | 3.4 | 16 | 86 | 76 | 22 | 19 | 3.5 |
| | | 計 | 20 | 91 | 83 | 23 | 21 | 3.6 | 20 | 120 | 112 | 25 | 25 | 4.5 | 20 | 104 | 94 | 26 | 24 | 3.6 | 20 | 106 | 95 | 26 | 23 | 3.7 | 20 | 109 | 99 | 26 | 23 | 3.8 | |
| | | 個別 | 前期 | 3 | 7 | 7 | 3 | 3 | 2.3 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 1.3 | 3 | 6 | 6 | 3 | 3 | 2.0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 1.3 |
| | | | 後期 | 17 | 58 | 54 | 26 | 18 | 2.1 | 17 | 106 | 86 | 24 | 17 | 3.6 | 17 | 167 | 150 | 42 | 36 | 3.6 | 17 | 73 | 61 | 32 | 22 | 1.9 | 17 | 105 | 89 | 27 | 19 | 3.3 |
| | 計 | 20 | 65 | 61 | 29 | 21 | 2.1 | 20 | 110 | 90 | 27 | 20 | 3.3 | 20 | 173 | 156 | 45 | 39 | 3.5 | 20 | 74 | 62 | 33 | 23 | 1.9 | 20 | 109 | 93 | 30 | 22 | 3.1 | | |
| | 環境理学科 | 推薦 | 一般 | 10 | 31 | 31 | 12 | 12 | 2.6 | 10 | 28 | 28 | 10 | 10 | 2.8 | 10 | 42 | 42 | 10 | 10 | 4.2 | 10 | 34 | 33 | 8 | 8 | 4.1 | 11 | 39 | 39 | 11 | 11 | 3.5 |
| | | | 専門 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | | | | | | |
| | | 計 | 11 | 32 | 32 | 13 | 13 | 2.5 | 11 | 31 | 31 | 11 | 11 | 2.8 | 11 | 43 | 43 | 11 | 11 | 3.9 | 11 | 35 | 34 | 9 | 9 | 3.8 | 11 | 39 | 39 | 11 | 11 | 3.5 | |
| 個別 | | 前期 | 49 | 210 | 190 | 67 | 56 | 2.8 | 49 | 274 | 239 | 67 | 56 | 3.6 | 49 | 306 | 270 | 87 | 77 | 3.1 | 49 | 213 | 185 | 79 | 64 | 2.3 | 49 | 251 | 220 | 72 | 56 | 3.1 | |
| | | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 60 | 242 | 222 | 80 | 69 | 2.8 | 60 | 305 | 270 | 78 | 67 | 3.5 | 60 | 349 | 313 | 98 | 88 | 3.2 | 60 | 248 | 219 | 88 | 73 | 2.5 | 60 | 290 | 259 | 83 | 67 | 3.1 | | | |
| 文化学部 | 文化学科 | 推薦 | 一般 | 20 | 29 | 29 | 20 | 20 | 1.5 | 20 | 34 | 34 | 20 | 20 | 1.7 | 20 | 36 | 36 | 21 | 21 | 1.7 | 20 | 38 | 38 | 21 | 21 | 1.8 | 20 | 32 | 32 | 20 | 20 | 1.6 |
| | | | 専門 | 50 | 244 | 207 | 83 | 50 | 2.5 | 50 | 223 | 196 | 81 | 52 | 2.4 | 50 | 225 | 201 | 73 | 50 | 2.8 | 50 | 289 | 264 | 78 | 56 | 3.4 | 50 | 153 | 132 | 86 | 71 | 1.5 |
| | | 計 | 70 | 273 | 236 | 103 | 70 | 2.0 | 70 | 257 | 230 | 101 | 72 | 2.6 | 70 | 261 | 237 | 94 | 71 | 2.5 | 70 | 327 | 302 | 99 | 77 | 2.7 | 70 | 185 | 164 | 106 | 91 | 1.8 | |
| | | 個別 | 前期 | 10 | 352 | 352 | 141 | 16 | 2.5 | 10 | 184 | 184 | 74 | 12 | 2.5 | 10 | 171 | 171 | 60 | 12 | 2.9 | 10 | 197 | 197 | 36 | 5 | 5.5 | 10 | 143 | 143 | 23 | 5 | 6.2 |
| | | | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 80 | 625 | 588 | 244 | 86 | 2.4 | 80 | 441 | 414 | 175 | 84 | 2.4 | 80 | 432 | 408 | 154 | 83 | 2.6 | 80 | 524 | 499 | 135 | 82 | 3.7 | 80 | 328 | 307 | 129 | 96 | 2.4 | | | |
| 看護学部 | 看護学科 | 推薦 | 一般 | 10 | 27 | 25 | 10 | 10 | 2.5 | 10 | 30 | 30 | 10 | 10 | 3.0 | 10 | 20 | 20 | 10 | 10 | 2.0 | 10 | 26 | 26 | 10 | 10 | 2.6 | 9 | 29 | 29 | 9 | 9 | 3.2 |
| | | | 専門 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2.0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2.0 |
| | | 計 | 11 | 27 | 25 | 10 | 10 | 2.5 | 11 | 32 | 32 | 11 | 11 | 2.9 | 11 | 21 | 21 | 11 | 11 | 1.9 | 11 | 28 | 28 | 11 | 11 | 2.5 | 10 | 31 | 31 | 10 | 10 | 3.1 | |
| | | 個別 | 前期 | 25 | 131 | 121 | 31 | 30 | 3.9 | 25 | 138 | 121 | 31 | 28 | 3.9 | 25 | 172 | 153 | 31 | 26 | 4.9 | 25 | 123 | 117 | 27 | 26 | 4.3 | 25 | 107 | 98 | 31 | 29 | 3.2 |
| | | | 後期 | 4 | 171 | 91 | 4 | 4 | 22.8 | 4 | 92 | 48 | 4 | 4 | 12.0 | 4 | 154 | 84 | 4 | 4 | 21.0 | 4 | 91 | 56 | 4 | 4 | 14.0 | 5 | 178 | 96 | 5 | 5 | 19.2 |
| 計 | 40 | 329 | 237 | 45 | 44 | 5.3 | 40 | 263 | 201 | 46 | 43 | 4.4 | 40 | 348 | 259 | 46 | 41 | 5.6 | 40 | 242 | 201 | 42 | 41 | 4.8 | 40 | 316 | 225 | 46 | 44 | 4.9 | | | |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 推薦 | 一般 | 9 | 28 | 28 | 10 | 10 | 2.8 | 8 | 24 | 24 | 9 | 9 | 2.7 | 8 | 25 | 25 | 9 | 9 | 2.8 | 8 | 19 | 19 | 9 | 9 | 2.1 | 8 | 24 | 23 | 8 | 8 | 2.9 |
| | | | 専門 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | | 計 | 10 | 28 | 28 | 10 | 10 | 2.8 | 9 | 25 | 25 | 10 | 10 | 2.5 | 9 | 25 | 25 | 9 | 9 | 2.8 | 9 | 19 | 19 | 9 | 9 | 2.1 | 8 | 24 | 23 | 8 | 8 | 2.9 | |
| | | 個別 | 前期 | 17 | 195 | 177 | 23 | 20 | 7.7 | 17 | 133 | 120 | 20 | 18 | 6.0 | 17 | 96 | 85 | 20 | 20 | 4.3 | 17 | 139 | 122 | 20 | 16 | 6.1 | 18 | 111 | 97 | 21 | 18 | 4.6 |
| | | | 後期 | 3 | 129 | 69 | 5 | 3 | 13.8 | 4 | 179 | 98 | 7 | 7 | 14.0 | 4 | 142 | 82 | 6 | 3 | 13.7 | 4 | 137 | 88 | 12 | 12 | 7.3 | 4 | 106 | 51 | 8 | 5 | 6.4 |
| 計 | 30 | 353 | 275 | 39 | 34 | 7.1 | 30 | 337 | 243 | 37 | 35 | 6.6 | 30 | 264 | 193 | 35 | 32 | 5.5 | 30 | 295 | 229 | 41 | 37 | 5.6 | 30 | 241 | 171 | 37 | 31 | 4.6 | | | |
| 合計 | 合計 | 推薦 | 一般 | 49 | 115 | 113 | 52 | 52 | 2.2 | 48 | 116 | 116 | 49 | 49 | 2.4 | 48 | 123 | 123 | 50 | 50 | 2.5 | 48 | 117 | 116 | 48 | 48 | 2.4 | 48 | 124 | 123 | 48 | 48 | 2.6 |
| | | | 専門 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 3 | 6 | 6 | 3 | 3 | 2.0 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.0 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1.5 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2.0 |
| | | 計 | 52 | 116 | 114 | 53 | 53 | 2.2 | 51 | 122 | 122 | 52 | 52 | 2.3 | 51 | 125 | 125 | 52 | 52 | 2.4 | 51 | 120 | 119 | 50 | 50 | 2.4 | 49 | 126 | 125 | 49 | 49 | 2.6 | |
| | | 個別 | 前期 | 141 | 780 | 695 | 204 | 156 | 3.4 | 141 | 768 | 676 | 199 | 154 | 3.4 | 141 | 799 | 709 | 211 | 173 | 3.4 | 141 | 764 | 688 | 204 | 162 | 3.4 | 142 | 622 | 547 | 210 | 174 | 2.6 |
| | | | 後期 | 17 | 652 | 512 | 150 | 23 | 3.4 | 18 | 455 | 330 | 85 | 23 | 3.9 | 18 | 467 | 337 | 70 | 19 | 4.8 | 18 | 425 | 341 | 52 | 21 | 6.6 | 19 | 427 | 290 | 36 | 15 | 8.1 |
| 計 | 210 | 1549 | 1322 | 408 | 233 | 3.2 | 210 | 1346 | 1128 | 336 | 229 | 3.4 | 210 | 1393 | 1173 | 333 | 244 | 3.5 | 210 | 1309 | 1148 | 306 | 233 | 3.8 | 210 | 1175 | 962 | 295 | 238 | 3.3 | | | |

(3)出身地別の入学状況(平成17年度)

【学部】

個別

(単位:人)

| 学部 | 生活科学部 | | | | 文化学部 | | 看護学部 | | 社会福祉学部 | | 合計 | | |
|-----|------------|----------|-----|----|------|----|------|----|--------|----|-----|----|-----|
| | 生活 デザイン | 健康 栄養 | 環境理 | 小計 | 文化 | | 看護 | | 社会福祉 | | | | |
| 区分 | 前期 | 前期 | 前期 | 前期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 計 |
| 北海道 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 青森 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 岩手 | | | | 0 | | | | | 1 | | 1 | 0 | 1 |
| 宮城 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 秋田 | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 山形 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 福島 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 茨城 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 栃木 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 群馬 | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 埼玉 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 千葉 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 東京 | | | | 0 | | | | | 1 | | 1 | 0 | 1 |
| 神奈川 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | 2 | 0 | 2 |
| 新潟 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 富山 | 2 | 1 | | 3 | | | 1 | | | | 4 | 0 | 4 |
| 石川 | | | | 0 | | | | | 1 | | 1 | 0 | 1 |
| 福井 | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 山梨 | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 長野 | | | | 0 | 1 | | | | 1 | | 2 | 0 | 2 |
| 岐阜 | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 静岡 | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | 3 | 0 | 3 |
| 愛知 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | 3 | 1 | 4 |
| 三重 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 滋賀 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 京都 | 1 | | | 1 | 1 | 2 | | | | | 2 | 2 | 4 |
| 大阪 | | | | 0 | | | 3 | 1 | | | 3 | 1 | 4 |
| 兵庫 | 6 | 1 | 2 | 9 | 3 | 1 | 2 | | 1 | | 15 | 1 | 16 |
| 奈良 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 和歌山 | | | | 0 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 鳥取 | | | | 0 | 2 | | | | 1 | | 3 | 0 | 3 |
| 島根 | | | | 0 | 3 | | 1 | | | | 4 | 0 | 4 |
| 岡山 | | | 1 | 1 | 5 | | | | | | 6 | 0 | 6 |
| 広島 | 1 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 3 | 9 |
| 山口 | | 1 | 1 | 2 | | | | | 1 | | 3 | 0 | 3 |
| 徳島 | | | 3 | 3 | 5 | 1 | 3 | | | | 11 | 1 | 12 |
| 香川 | 3 | 1 | 1 | 5 | 4 | | 2 | | 1 | | 12 | 0 | 12 |
| 愛媛 | | 2 | | 2 | 8 | 4 | 3 | 1 | 3 | 1 | 16 | 6 | 22 |
| 高知 | | 2 | 1 | 3 | 7 | 3 | 6 | 1 | 5 | 1 | 21 | 5 | 26 |
| 福岡 | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | | | | 3 | 0 | 3 |
| 佐賀 | | | | 0 | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 |
| 長崎 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 1 | 3 | | 2 | | 9 | 1 | 10 |
| 熊本 | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 大分 | 1 | | 1 | 2 | 2 | | 1 | | | | 5 | 0 | 5 |
| 宮崎 | | 1 | 1 | 2 | | | 1 | | 1 | | 4 | 0 | 4 |
| 鹿児島 | 2 | | | 2 | | | | | | | 2 | 0 | 2 |
| 沖縄 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | | 3 | 0 | 3 |
| 合計 | 22 | 16 | 18 | 56 | 50 | 16 | 30 | 4 | 20 | 3 | 156 | 23 | 179 |

私費外国人留学生

| 学部 | 生活科学部 | | | | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 合 計 |
|----|-------------|----------|-----|----|------|------|--------|-----|
| 学科 | 生 活 デザイン | 健康 栄養 | 環境理 | 小計 | 文 化 | 看 護 | 社会福祉 | |
| 中国 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |

推 薦

(単位:人)

| 学部 | 生活科学部 | | | | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 合 計 |
|----|-------------|----------|-----|----|------|------|--------|-----|
| 学科 | 生 活 デザイン | 健康 栄養 | 環境理 | 小計 | 文 化 | 看 護 | 社会福祉 | |
| 高知 | 5 | 5 | 3 | 13 | 20 | 10 | 10 | |

3年次編入

(単位:人)

| 学部 | 生活科学部 | | | | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 合 計 |
|-----|-------------|----------|-----|----|------|------|--------|-----|
| 学科 | 生 活 デザイン | 健康 栄養 | 環境理 | 小計 | 文 化 | 看 護 | 社会福祉 | |
| 神奈川 | | | | | | 1 | 1 | |
| 京都 | | | | | | 1 | | 1 |
| 兵庫 | | | | | | 1 | | 1 |
| 和歌山 | | | | | | 1 | | 1 |
| 高知 | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | | | | | | 5 | 2 | 7 |

【 大学院 】

(単位:人)

| 研究科 | 看 護 学 科 | 人間生活学 研 究 科 | 健康生活科学 研 究 科 | 合 計 |
|-----|---------|----------------|-----------------|-----|
| 福島 | | | 1 | 1 |
| 福井 | | | 1 | 1 |
| 愛知 | 1 | | | 1 |
| 滋賀 | | | 1 | 1 |
| 京都 | 1 | | | 1 |
| 大阪 | | 1 | | 1 |
| 徳島 | | 1 | | 1 |
| 香川 | | | 1 | 1 |
| 愛媛 | 1 | 2 | | 3 |
| 高知 | 5 | 14 | 2 | 21 |
| 福岡 | 4 | | | 4 |
| 大分 | | | 1 | 1 |
| 合計 | 12 | 18 | 7 | 37 |

3 学生数

(平成17年4月1日現在)

単位：人

| 学部・学科 | | 入学定員 | 1回生 | | | 2回生 | | | 3回生 | | | 4回生 | | | 合計 | | |
|--------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | | 県内 | 県外 | 計 | 県内 | 県外 | 計 | 県内 | 県外 | 計 | 県内 | 県外 | 計 | 県内 | 県外 | 計 |
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 20 | 5 | 22 | 27 | 8 | 14 | 22 | 9 | 14 | 23 | 6 | 20 | 26 | 28 | 70 | 98 |
| | 健康栄養学科 | 20 | 7 | 14 | 21 | 5 | 20 | 25 | 8 | 15 | 23 | 7 | 16 | 23 | 27 | 65 | 92 |
| | 環境理学科 | 20 | 4 | 17 | 21 | 4 | 16 | 20 | 4 | 31 | 35 | 3 | 20 | 23 | 15 | 84 | 99 |
| | 小計 | 60 | 16 | 53 | 69 | 17 | 50 | 67 | 21 | 60 | 81 | 16 | 56 | 72 | 70 | 219 | 289 |
| 文化学部 | 文化学科 | 80 | 30 | 56 | 86 | 37 | 46 | 83 | 32 | 48 | 80 | 47 | 52 | 99 | 146 | 202 | 348 |
| 看護学部 | 看護学科 | 40 | 17 | 27 | 44 | 25 | 18 | 43 | 19 | 22 | 41 | 19 | 23 | 42 | 80 | 90 | 170 |
| | 編入生 | | / | / | / | / | / | / | 1 | 4 | 5 | 1 | 3 | 4 | 2 | 7 | 9 |
| | 小計 | | 17 | 27 | 44 | 25 | 18 | 43 | 20 | 26 | 46 | 20 | 26 | 46 | 82 | 97 | 179 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 30 | 16 | 18 | 34 | 16 | 19 | 35 | 18 | 14 | 32 | 18 | 23 | 41 | 68 | 74 | 142 |
| | 編入生 | | / | / | / | / | / | / | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 3 | 4 | 1 | 5 |
| | 小計 | | 16 | 18 | 34 | 16 | 19 | 35 | 19 | 15 | 34 | 21 | 23 | 44 | 72 | 75 | 147 |
| 学部生計 | 学部合計(編入生除く) | 210 | 79 | 154 | 233 | 95 | 133 | 228 | 90 | 144 | 234 | 100 | 154 | 254 | 364 | 585 | 949 |
| | 編入生 | | / | / | / | / | / | / | 2 | 5 | 7 | 4 | 3 | 7 | 6 | 8 | 14 |
| | 学部合計 | | 79 | 154 | 233 | 95 | 133 | 228 | 92 | 149 | 241 | 104 | 157 | 261 | 370 | 593 | 963 |
| 大学院 | 看護学研究科 | 10 | 5 | 7 | 12 | 6 | 11 | 17 | / | / | / | / | / | / | 11 | 18 | 29 |
| | 人間生活学研究科 | 18 | 14 | 4 | 18 | 22 | 3 | 25 | / | / | / | / | / | / | 36 | 7 | 43 |
| | 健康生活学研究科 | 6 | 2 | 5 | 7 | 2 | 3 | 5 | 16 | 7 | 23 | / | / | / | 20 | 15 | 35 |
| 大学院生計 | 大学院合計 | 34 | 21 | 16 | 37 | 30 | 17 | 47 | 16 | 7 | 23 | 0 | 0 | 0 | 67 | 40 | 107 |
| 合計 | | 244 | 100 | 170 | 270 | 125 | 150 | 275 | 108 | 156 | 264 | 104 | 157 | 261 | 437 | 633 | 1070 |

4 休学・退学・長期履修者及び単位互換の状況

(1) 年次別休学者数

(単位:人)

| 区 分 | | H13年度 | H14年度 | H15年度 | H16年度 | H17年度 |
|-----------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 |
| | 健康栄養学科 | 2 | 4 | 1 | 1 | 2 |
| | 環境理学科 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | 小 計 | 4 | 5 | 5 | 5 | 3 |
| 文化学部 | 文化学科 (英文・国文学科含む) | 17 | 10 | 14 | 18 | 13 |
| 看護学部 | 看護学科 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 3 | 4 | 4 | 5 | 3 |
| 学 部 合 計 | | 28 | 22 | 27 | 31 | 22 |
| 大 学 院 | 看護学研究科 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 人間生活学研究科 | 0 | 3 | 11 | 14 | 8 |
| | 健康生活学研究科 | 0 | 2 | 6 | 6 | 7 |
| 大 学 院 合 計 | | 2 | 7 | 19 | 22 | 17 |
| 合 計 | | 30 | 29 | 46 | 53 | 39 |

(2) 年次別退学者数

(単位:人)

| 区 分 | | H13年度 | H14年度 | H15年度 | H16年度 | H17年度 |
|-----------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 |
| | 健康栄養学科 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 |
| | 環境理学科 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 |
| | 小 計 | 3 | 3 | 3 | 7 | 3 |
| 文化学部 | 文化学科 (英文・国文学科含む) | 8 | 3 | 5 | 8 | 7 |
| 看護学部 | 看護学科 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 学 部 合 計 | | 11 | 7 | 10 | 18 | 11 |
| 大 学 院 | 看護学研究科 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 人間生活学研究科 | 0 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 健康生活学研究科 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 |
| 大 学 院 合 計 | | 0 | 3 | 7 | 4 | 3 |
| 合 計 | | 11 | 10 | 17 | 22 | 14 |

(3) 長期履修者数(平成18年3月1日現在) (単位:人)

| 区 分 | | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 計 |
|---------|----------|----|----|----|----|----|
| 生活科学部 | 生活デザイン学科 | 1 | - | - | - | 1 |
| | 健康栄養学科 | 1 | - | - | - | 1 |
| | 環境理学科 | - | - | - | - | 0 |
| | 小 計 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 文化学部 | 文化学科 | 6 | 6 | 2 | 1 | 15 |
| 看護学部 | 看護学科 | 1 | - | - | - | 1 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 3 | 1 | - | - | 4 |
| 学 部 合 計 | | 12 | 7 | 2 | 1 | 22 |

(単位:人)

| 区 分 | | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|-----------|----------|----|----|----|----|---|
| 大学院 | 看護学研究科 | - | 0 | - | - | 0 |
| | 人間生活学研究科 | 1 | 0 | - | - | 1 |
| | 健康生活学研究科 | - | 0 | - | - | 0 |
| 大 学 院 合 計 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(4) 単位互換の状況(平成17年度) (単位:人)

| 大 学 名 | 派 遣 | | 受 入 | |
|----------|-----|---------|-----|---------|
| | 人数 | 科目数(延べ) | 人数 | 科目数(延べ) |
| 高知大学 | 10 | 14 | 2 | 2 |
| 高知短期大学 | 8 | 8 | 5 | 12 |
| 高知学園短期大学 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 18 | 22 | 7 | 14 |

5 課外活動

(平成17年6月15日現在)

| 文 科 系 | | 体 育 系 | |
|---------------------------------------|--------|--|--------|
| 団 体 名 | 部員数(人) | 団 体 名 | 部員数(人) |
| マンドリンクラブ | 6 | バスケ同好会 | 4 |
| 高知女子大合唱部 | 7 | 剣道部 | 3 |
| 新世紀寺子屋物語 | 7 | バレーボール部 | 14 |
| 裏千家茶道部 | 9 | The Field Waves with Guard Team"Aracs" | 8 |
| ESCORTERS | 16 | 水泳部 | 4 |
| いちのまたクラブ | 5 | 卓球部 | 3 |
| 小原流華道部 | 6 | やっちゃん | 26 |
| 演劇研究会 | 4 | ソフトテニス部 | 8 |
| 比較日本文化研究部 | 6 | ダンス部 | 7 |
| 漫画研究部 | 16 | ワンダーフォーゲル部 | 2 |
| 美術部 | 2 | グローバルクラブ (日韓学生よさこいチームJaparean) | 22 |
| 生活デザイン創作研究会 | 49 | 太鼓部 | 23 |
| 大学生協学生委員会 | 5 | スポーツ友の会 | 37 |
| 池手話サークル | 46 | 女子大フットサル | 5 |
| 映画研究会 | 19 | FC女子大ソフィア(女子サッカー) | 8 |
| 陶芸部 | 14 | ソフトボール部 | 18 |
| 表千家不白流茶道部 | 5 | 合気道部 | 9 |
| 箏曲部 | 9 | バスケットボール部 | 10 |
| オープンキャンパス実行委員会 | 10 | 硬式テニス部 | 9 |
| We Love 手話ッチ | 6 | 弓道部 | 8 |
| ワンボラ(NPO法人高知セラピー ・ドック協会ボランティアグループ) | 11 | バドミントン部 | 19 |
| 演劇部 | 5 | SNB | 4 |
| 写真部 | 11 | | |
| 23団体 | 274 | 22団体 | 251 |
| 45団体 | | | 525 |

6 保健管理状況（平成17年度）

【保健室利用状況】

単位：件

| 内容 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|---------|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|-----|
| 永国寺キャンパス | 内科 | 12 | 25 | 21 | 25 | 1 | 5 | 31 | 17 | 16 | 9 | 11 | 2 | 175 |
| | 外科 | 11 | 10 | 8 | 9 | 1 | 3 | 21 | 11 | 8 | 2 | 3 | 0 | 87 |
| | 婦人科 | 5 | 7 | 10 | 15 | 0 | 0 | 5 | 7 | 6 | 3 | 2 | 0 | 60 |
| | その他 | 39 | 79 | 52 | 35 | 12 | 10 | 43 | 26 | 28 | 18 | 15 | 1 | 358 |
| | 合計件数 | 67 | 121 | 91 | 84 | 14 | 18 | 100 | 61 | 58 | 32 | 31 | 3 | 680 |
| | 合計人数(人) | 62 | 113 | 83 | 88 | 14 | 17 | 94 | 57 | 51 | 21 | 29 | 2 | 631 |
| 池キャンパス | 内科 | 12 | 16 | 15 | 21 | 2 | 2 | 13 | 25 | 22 | 7 | 8 | 1 | 144 |
| | 外科 | 8 | 13 | 11 | 16 | 1 | 1 | 3 | 2 | 9 | 4 | 1 | 3 | 72 |
| | 婦人科 | 3 | 17 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 7 | 2 | 3 | 0 | 2 | 52 |
| | その他 | 104 | 63 | 39 | 27 | 11 | 25 | 50 | 33 | 21 | 13 | 23 | 27 | 436 |
| | 合計件数 | 127 | 109 | 69 | 68 | 18 | 31 | 69 | 67 | 54 | 27 | 32 | 33 | 704 |
| | 合計人数(人) | 108 | 87 | 55 | 60 | 15 | 29 | 59 | 54 | 44 | 24 | 29 | 29 | 593 |
| 合計件数 | 194 | 230 | 160 | 152 | 32 | 49 | 169 | 128 | 112 | 59 | 63 | 36 | 1,384 | |
| 合計人数(人) | 170 | 200 | 138 | 148 | 29 | 46 | 153 | 111 | 95 | 45 | 58 | 31 | 1,224 | |

【精神科医師によるメンタルヘルス相談】

単位：件

| 開催月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 永国寺キャンパス | 3 | 2 | 3 | 5 | / | / | 3 | 4 | 3 | 1 | 1 | / | 25 |
| 池キャンパス | 2 | 1 | 2 | 1 | / | 2 | / | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 19 |
| 合計件数 | 5 | 3 | 5 | 6 | 0 | 2 | 3 | 6 | 6 | 3 | 3 | 2 | 44 |

【カウンセラーによるメンタルヘルス相談】

単位：件

| 開催月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 永国寺キャンパス | 6 | 9 | 21 | 21 | 11 | 9 | 17 | 12 | 11 | 13 | 11 | 14 | 155 |
| 池キャンパス | 2 | 1 | 2 | 1 | / | / | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | / | 9 |
| 合計件数 | 8 | 10 | 23 | 22 | 11 | 9 | 17 | 14 | 12 | 13 | 11 | 14 | 164 |

【医師による婦人科相談】

単位：件

| 開催月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 永国寺キャンパス | / | 7 | / | 4 | / | / | 7 | / | 1 | / | / | / | 19 |
| 池キャンパス | / | 5 | / | / | / | / | 2 | / | 2 | / | / | / | 9 |
| 合計件数 | 0 | 12 | 0 | / | / | / | 7 | 2 | 1 | 2 | 0 | / | 24 |

7 授業料等の状況

(1)入学科、授業料(平成17年度)

| 区 分 | | 入学手数料の額 | 入学料の額 | | 授業料の額 | |
|--------|-----|----------------------------|----------|----------|-------|----------|
| | | | 県内生 | 県外生 | | |
| 学 生 | 学 部 | ¥17,000 (編入の場合は¥30,000) | ¥141,000 | ¥282,000 | 年 額 | ¥535,800 |
| | 大学院 | ¥30,000 | | | | |
| 科目等履修生 | | ¥4,900 | ¥14,100 | ¥28,200 | 1単位 | ¥14,800 |
| 研 究 生 | | ¥4,900 | ¥42,300 | ¥84,600 | 月 額 | ¥29,700 |

(2)授業料免除状況

| 区 分 | | 学 部 | | | 大 学 院 | | | 合 計 | | |
|--------|-----|------------|------------|-------------|------------|----------|------------|------------|------------|-------------|
| | | 半額免除 | 全額免除 | 計 | 半額免除 | 全額免除 | 計 | 半額免除 | 全額免除 | 計 |
| 平成15年度 | 前期 | 7人 | 4人 | 11人 | 5人 | 1人 | 6人 | 12人 | 5人 | 17人 |
| | | ¥879,900 | ¥999,600 | ¥1,879,500 | ¥651,000 | ¥260,400 | ¥911,400 | ¥1,530,900 | ¥1,260,000 | ¥2,790,900 |
| | 後期 | 8人 | 7人 | 15人 | 5人 | 1人 | 6人 | 13人 | 8人 | 21人 |
| | | ¥1,031,100 | ¥1,759,800 | ¥2,790,900 | ¥651,000 | ¥260,400 | ¥911,400 | ¥1,682,100 | ¥2,020,200 | ¥3,702,300 |
| 計 | 15人 | 11人 | 26人 | 10人 | 2人 | 12人 | 25人 | 13人 | 38人 | |
| | | ¥1,911,000 | ¥2,759,400 | ¥4,670,400 | ¥1,302,000 | ¥520,800 | ¥1,822,800 | ¥3,213,000 | ¥3,280,200 | ¥6,493,200 |
| 平成16年度 | 前期 | 16人 | 4人 | 20人 | 2人 | 1人 | 3人 | 18人 | 5人 | 23人 |
| | | ¥2,083,200 | ¥1,041,600 | ¥3,124,800 | ¥260,400 | ¥260,400 | ¥520,800 | ¥2,343,600 | ¥1,302,000 | ¥3,645,600 |
| | 後期 | 15人 | 7人 | 22人 | 1人 | 0人 | 1人 | 16人 | 7人 | 23人 |
| | | ¥3,906,000 | ¥3,645,600 | ¥7,551,600 | ¥130,200 | ¥0 | ¥130,200 | ¥4,036,200 | ¥3,645,600 | ¥7,681,800 |
| 計 | 31人 | 11人 | 42人 | 3人 | 1人 | 4人 | 34人 | 12人 | 46人 | |
| | | ¥5,989,200 | ¥4,687,200 | ¥10,676,400 | ¥390,600 | ¥260,400 | ¥651,000 | ¥6,379,800 | ¥4,947,600 | ¥11,327,400 |
| 平成17年度 | 前期 | 14人 | 7人 | 21人 | — | — | — | 14人 | 7人 | 21人 |
| | | ¥1,875,300 | ¥1,875,300 | ¥3,750,600 | — | — | — | ¥1,875,300 | ¥1,875,300 | ¥3,750,600 |
| | 後期 | 23人 | 8人 | 31人 | — | 1人 | 1人 | 23人 | 9人 | 32人 |
| | | ¥3,080,850 | ¥2,143,200 | ¥5,224,050 | — | ¥267,900 | ¥267,900 | ¥3,080,850 | ¥2,411,100 | ¥5,491,950 |
| 計 | 37人 | 15人 | 52人 | — | 1人 | 1人 | 37人 | 16人 | 53人 | |
| | | ¥4,956,150 | ¥4,018,500 | ¥8,974,650 | — | ¥267,900 | ¥267,900 | ¥4,956,150 | ¥4,286,400 | ¥9,242,550 |

8 日本学生支援機構奨学金受給状況

(平成18年3月1日現在)

【学部】

単位:人

| 区分 | | 生活科学部 | | | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 合計 |
|-----|----------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 生活デザイン学科 | 健康栄養学科 | 環境理学科 | 文化学科 | 看護学科 | 社会福祉学科 | |
| 全学年 | 1種 | 24 | 19 | 19 | 53 | 38 | 41 | 194 |
| | きぼう | 28 | 23 | 33 | 105 | 46 | 32 | 267 |
| | 計 | 52 | 42 | 52 | 158 | 84 | 73 | 461 |
| | 〔受給者数 /学生数〕 | (54%) | (46%) | (53%) | (46%) | (47%) | (50%) | (48%) |
| | 併用 | 5 | 5 | 7 | 19 | 12 | 9 | 57 |
| | 他奨学金 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 10 |
| 1回生 | 1種 | 5 | 4 | 4 | 12 | 7 | 10 | 42 |
| | きぼう | 15 | 6 | 7 | 37 | 13 | 8 | 86 |
| | 計 | 20 | 10 | 11 | 49 | 20 | 18 | 128 |
| | 併用 | 2 | 1 | 1 | 9 | 4 | 3 | 20 |
| | 他奨学金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2回生 | 1種 | 8 | 9 | 6 | 13 | 8 | 11 | 55 |
| | きぼう | 4 | 8 | 7 | 18 | 12 | 9 | 58 |
| | 計 | 12 | 17 | 13 | 31 | 20 | 20 | 113 |
| | 併用 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 11 |
| | 他奨学金 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 3回生 | 1種 | 7 | 4 | 5 | 18 | 8 | 11 | 53 |
| | きぼう | 2 | 5 | 13 | 22 | 7 | 6 | 55 |
| | 計 | 9 | 9 | 18 | 40 | 15 | 17 | 108 |
| | 併用 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 8 |
| | 他奨学金 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 4回生 | 1種 | 4 | 2 | 4 | 10 | 15 | 9 | 44 |
| | きぼう | 7 | 4 | 6 | 28 | 14 | 9 | 68 |
| | 計 | 11 | 6 | 10 | 38 | 29 | 18 | 112 |
| | 併用 | 2 | 1 | 2 | 4 | 6 | 3 | 18 |
| | 他奨学金 | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 1 | 7 |

他奨学金:日本学生支援機構以外

(平成18年3月1日現在)

【大学院】

単位:人

| 区 分 | 看護学研究科 | 人間生活学研究科 | 健康生活学研究科 | 合計 | |
|-----|----------------|----------|----------|--------|---------|
| 全学年 | 1種 | 8 | 4 | 2 | 14 |
| | きぼう | 5 | 0 | 0 | 5 |
| | 計 | 13 | 4 | 2 | 19 |
| | 〔受給者数〕 /学生数 | (46%) | (10%) | (6%) | (18%) |
| | 併用 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| | 他奨学金 | 4 | 2 | 1 | 3 |
| 1回生 | 1種 | 4 | 2 | 1 | 7 |
| | きぼう | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | 計 | 6 | 2 | 1 | 9 |
| | 併用 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 他奨学金 | 2 | - | - | 2 |
| 2回生 | 1種 | 4 | 2 | 0 | 6 |
| | きぼう | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | 計 | 7 | 2 | 0 | 9 |
| | 併用 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 他奨学金 | 1 | - | - | 1 |
| 3回生 | 1種 | | | 1 | 1 |
| | きぼう | | | 0 | 0 |
| | 計 | - | - | 1 | 1 |
| | 併用 | | | 0 | 0 |
| | 他奨学金 | | | - | 0 |

他奨学金:日本学生支援機構以外

9 卒業(修了)者の状況

(1) 年次別卒業(修了)者数

(単位:人)

| 区 分 | | H7 | H8 | H9 | H10 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | |
|--------|----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 学 部 | 家政学部 | 家政学科 | 21 | 24 | 21 | 17 | 26 | 24 | - | - | - | - | - |
| | | 食物栄養学科 | 22 | 20 | 32 | 23 | 19 | 21 | 1 | - | - | - | - |
| | | 生活理学科 | 18 | 21 | 25 | 19 | 19 | 18 | 1 | 1 | - | - | - |
| | | 看護学科 | 22 | 23 | 20 | 27 | 27 | 25 | - | - | - | - | - |
| | | 小 計 | 83 | 88 | 98 | 86 | 91 | 88 | 2 | 1 | - | - | - |
| | 文学部 | 国文学科 | 44 | 64 | 48 | 38 | 43 | 43 | 4 | - | 1 | - | - |
| | | 英文学科 | 45 | 75 | 35 | 29 | 55 | 36 | 4 | 1 | | - | - |
| | | 小 計 | 89 | 139 | 83 | 67 | 98 | 79 | 8 | 1 | 1 | - | - |
| | 生活科学部 | 生活デザイン学科 | - | - | - | - | - | - | 23 | 25 | 24 | 22 | 22 |
| | | 健康栄養学科 | - | - | - | - | - | - | 23 | 26 | 25 | 22 | 21 |
| | | 環境理学科 | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | 19 | 24 | 22 |
| | | 小 計 | - | - | - | - | - | - | 66 | 71 | 68 | 68 | 65 |
| | 文化学部 | 文化学科 | - | - | - | - | - | - | 80 | 75 | 74 | 89 | 78 |
| | 看護学部 | 看護学科 | - | - | - | - | - | - | 45 | 46 | 50 | 45 | 41 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | - | - | - | - | - | - | 37 | 34 | 35 | 34 | 43 | |
| 学 部 計 | | 172 | 227 | 181 | 153 | 189 | 167 | 238 | 228 | 228 | 236 | 227 | |
| 大学院 | 看護学研究科 | - | - | - | - | 11 | 10 | 8 | 11 | 11 | 10 | 13 | |
| | 人間生活学研究科 | - | - | - | - | - | - | - | 16 | 14 | 9 | 12 | |
| | 健康生活学研究科 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 7 | 9 | |
| | 大学院計 | - | - | - | - | 11 | 10 | 8 | 27 | 27 | 26 | 34 | |
| 合 計 | | 172 | 227 | 181 | 153 | 200 | 177 | 246 | 255 | 255 | 262 | 261 | |

(2) 平成17年度卒業生就職状況
【学科別産業別就職状況】

(平成18年8月11日現在)

| 区 分 | 生活科学部 | | | | 文化学部 | 社会福祉学部 | 看護学部 | 合計 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | 生活デザイン | 健康栄養 | 環境理 | 計 | 文化 | 社会福祉 | 看護 | |
| 卒業者数 | 22 | 21 | 22 | 65 | 76 | 43 | 41 | 225 |
| 進学者数 | 1 | 1 | 0 | 2 | 7 | 1 | 3 | 13 |
| 就職希望者数(A) | 19 | 20 | 20 | 59 | 68 | 39 | 37 | 203 |
| 就職決定者数(B) | 18 | 20 | 16 | 54 | 59 | 39 | 37 | 189 |
| 就職決定率(B)/(A)% | 94.7% | 100.0% | 80.0% | 91.5% | 86.8% | 100.0% | 100.0% | 93.1% |
| 建設業 | (2) 4 | | | (2) 4 | | 1 | | (2) 5 |
| 製造業 | | (1) 6 | 1 | (1) 7 | 1 | 1 | | (1) 9 |
| 電気・ガス・水道業 | | | (1) 1 | (1) 1 | | | | (1) 1 |
| 運輸・通信業 | | | 3 | 3 | (3) 6 | | | (3) 9 |
| 卸売・小売業・飲食 | (5) 11 | (4) 7 | (1) 4 | (10) 22 | (3) 9 | (1) 4 | | (14) 35 |
| 金融・保険業 | | | (2) 3 | (2) 3 | (6) 9 | 1 | | (8) 13 |
| 不動産業 | | | | | | | | |
| 医療保健業 | | (1) 6 | | (1) 6 | (1) 1 | (15) 24 | (12) 27 | (29) 58 |
| 教 育 | 教員 | | 2 | 2 | (2) 6 | (1) 2 | 1 | (3) 11 |
| | 職員 | | 1 | 1 | 1 | | | 2 |
| サービス業 | (1) 3 | | 2 | (1) 5 | (5) 18 | 3 | | (6) 26 |
| 公務 | | | | | (1) 2 | | (2) 7 | (3) 9 |
| 上記以外 | | | | | 6 | 3 | (1) 2 | (1) 11 |
| 合 計 | (8) 18 | (6) 20 | (4) 16 | (18) 54 | (21) 59 | (17) 39 | (15) 37 | (71) 189 |

注 ()内の数値は高知県内に就職した者

【都道府県別就職状況】

(単位:人)

| 都道府県 | 教 員 | 公務員 | 企業等 | 合 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 高知県 | 4 | 13 | 54 | 71 |
| 香川県 | 2 | | 13 | 15 |
| 東京都 | | 1 | 12 | 13 |
| 愛媛県 | 1 | | 8 | 9 |
| 大阪府 | | 1 | 7 | 8 |
| 徳島県 | 1 | 1 | 5 | 7 |
| 兵庫県 | | 1 | 6 | 7 |
| 岡山県 | 1 | | 6 | 7 |
| 愛知県 | | 1 | 5 | 6 |
| 神奈川県 | | 4 | 1 | 5 |
| 長崎県 | 2 | | 2 | 4 |
| 宮崎県 | 1 | 2 | 1 | 4 |
| 福岡県 | | 1 | 3 | 4 |
| 島根県 | | | 2 | 2 |
| 千葉県 | | | 2 | 2 |
| 京都府 | | | 2 | 2 |
| 沖縄県 | | 1 | 1 | 2 |
| 宮城県 | | | 1 | 1 |
| 埼玉県 | | | 1 | 1 |
| 山梨県 | | 1 | | 1 |
| 静岡県 | | | 1 | 1 |
| 福井県 | | | 1 | 1 |
| 石川県 | | | 1 | 1 |
| 和歌山県 | 1 | | | 1 |
| 広島県 | | | 1 | 1 |
| 山口県 | | | 1 | 1 |
| 鳥取県 | | | 1 | 1 |
| 鹿児島県 | | | 1 | 1 |
| 内定先不明 | | | 10 | 10 |
| 合 計 | 13 | 27 | 149 | 189 |

注 教員・公務員には臨時職員を含む

6 総合情報センター

1 図書等受入状況

| 区 分 | | 17年度 | | 累 計 |
|-----|--------|---------|--------|---------|
| | | 永 国 寺 | 池 | |
| 図 書 | 和漢書(冊) | 2,070 | 1,070 | 195,479 |
| | 洋 書(冊) | 151 | 26 | 34,203 |
| | 合 計(冊) | 2,221 | 1,096 | 229,682 |
| 雑 誌 | 和雑誌(種) | 399(10) | 463(2) | 2,603 |
| | 洋雑誌(種) | 43(2) | 65(2) | 411 |
| | 合 計(種) | 442(12) | 528(4) | 3,014 |

()は平成17年度に増加した雑誌種数

2 図書館利用状況(平成17年度)

| | 永 国 寺 | 池 | 合 計 |
|---------|--------|--------|---------|
| 入館者数(人) | 41,069 | 62,973 | 104,042 |
| 貸出人数(人) | 5,213 | 4,369 | 9,582 |
| 貸出冊数(冊) | 11,955 | 13,107 | 25,062 |

3 学内LANの状況(平成17年度)

(1) サーバ、ネットワークシステムの概要

サーバ

www、smtp、DNS、proxy 等で、FireWallとvirus checkerを入れている。

ネットワークシステム

永国寺キャンパスがメインネットワークでインターネットに繋がっており、池キャンパスはサブネットワークで、1.5MBでメインネットワークと接続されている。

(2) 登録ID総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳

UNIXワークステーション登録

教職員 157名(教員124名、事務職員26名、その他7名)

学 生 137名(学部103名、大学院34名)

WindowsNTシステム登録

教職員 27名、学生 1043名

接続端末の総数及びキャンパスごとの内訳

総数 約650台

永国寺キャンパス 約500台

池キャンパス 約150台

7 国際交流

1 米国 マサチューセッツ州エルムズ大学との交流

平成10年10月 国際交流協定締結

交流状況

- ・短期学生研修生の派遣や受入れ
- ・3ヶ月の短期留学生の派遣や受入れ

(平成17年度実績:H18.3.31現在)

| 短期(2週間) | | 短期(3ヶ月以上1年未満) | |
|---------|----|---------------|----|
| 派遣 | 受入 | 派遣 | 受入 |
| 10 | 9 | 1 | 0 |

2 米国 オレゴン州オレゴンヘルスサイエンス大学看護学部との交流

平成12年1月 大学院看護学研究科との間で国際交流協定締結

3 中国 華中師範大学との交流

平成13年2月 国際交流協定締結

4 モンゴル ウランバートル第23番外国語教育特別学校との交流

平成17年1月 国際交流協定締結

交流状況

- ・3ヶ月の短期留学生の派遣や受入れ

(平成17年度実績:H18.3.31現在)

| 派遣 | 受入 |
|----|-------------------|
| 10 | 5 (協定校の卒業生を含む) |

8 開かれた大学

1 公開講座等実施状況(平成17年度)

○公開講座

| 区 分 | 内 容 | 回数 | 実施時期 | 参加数 | 対象者 |
|-------------|------------------------------------|----|---------|-----|--------------------------|
| 生 活 科 学 部 | 健康フォーラム「食育基本法と今後の課題」 | 1 | 2/19 | 108 | 栄養士 |
| 文 化 学 部 | 女性と文化(第2回) | 1 | 6/17 | 45 | 県民 |
| | 女性と文化(第3回) | 1 | 10/21 | 30 | 県民 |
| | 西鶴の辞世吟について | 1 | 12/9 | 60 | 県民 |
| 看 護 学 部 | 養護教諭の専門的役割 | 1 | 8/24 | 97 | 養護教諭、学 校関係者、医 療従事者 |
| | 患者さんの身体の声を聴く～ケアに生かすフィジカルアセスメント入門編～ | 1 | 10/29 | 83 | 看護職者 |
| | 思春期・青年期のこころの理解 | 1 | 3/4 | 105 | 看護職者 |
| 社 会 福 祉 学 部 | 高校生のための公開講座 | 2 | 7/28、29 | 24 | 高校生 |
| 計 | | 9 | | 552 | |

○リカレント講座

| 区 分 | 内 容 | 回数 | 実施時期 | 参加数 | 対象者 |
|-----------|-------------------------------|----|----------|-----|----------------|
| 生 活 科 学 部 | 地域の健康づくりと栄養 | 10 | 10～12月 | 185 | 専門職 |
| 文 化 学 部 | 「コミュニケーションに活かしたい！日本語実践講座」 | 1 | 7/25 | 37 | 教員 |
| | 「英語で英語教育を語り合おう！英語力・教育力向上のために」 | 3 | 8/2～4 | 19 | |
| | 「英語教育へのコーパス利用講座」 | 2 | 8/18、19 | 17 | |
| | 「英語で異文化コミュニケーションを考え、語り合おう！」 | 3 | 12/23～25 | 3 | |
| | 中国古典小説の世界 | 3 | 6～7月 | 19 | 教員、教育行 政関係者 |
| | 古典の指導に関する研究実践発表 | 1 | 8/21 | 22 | |
| | 講読『源氏物語』-「若紫」巻 | 9 | 10～12月 | 117 | |
| 看 護 学 部 | 精神看護学領域(力動とセルフケア) | 1 | 5/19 | 42 | 保健医療関 係者 |
| | 地域看護学領域 | 1 | 12/17 | 11 | |
| | 慢性看護学領域 | 1 | 7/23 | 14 | |
| | がん看護学領域(在宅がん看護の現状と課題) | 1 | 9/4 | 10 | |

| 区 分 | 内 容 | 回数 | 実施時期 | 参加数 | 対象者 |
|-------------|------------------------------------|----|------------|-----|-------------|
| 看 護 学 部 | 小児看護学領域(病気の子ども ^の 家族の看護) | 1 | 12/3 | 7 | 保健医療関係者 |
| | 母性看護学領域(周産期における倫理的課題) | 1 | 8/5 | 5 | |
| | 老人看護学領域(「認知症ケア」の最近の動向について) | 1 | 2/4 | 28 | |
| | 看護管理学領域(看護管理について語る) | 1 | 11/25 | 17 | |
| 社 会 福 祉 学 部 | 介護保険制度改革の意義と限界 | 1 | 10/22 | 55 | 保健・医療・福祉関係者 |
| | 介護サービス情報の公開と福祉サービスの第三者評価 | 1 | 12/3 | | |
| | 地域福祉(活動)計画策定のすすめ | 1 | 11/26 | | |
| | 障害者福祉サービス提供システムの現状と課題 | 2 | 11/30、12/7 | | |
| | 聴覚障害者とのコミュニケーション | 1 | 11/16 | | |
| | 公的年金を考える | 1 | 11/19 | | |
| | 卒業生パワーアップセミナー | 9 | 10~12月 | 3 | 本学卒業生 |
| 計 | | 56 | | 608 | |

○その他

| 区 分 | 内 容 | 回数 | 実施時期 | 参加数 | 対象者 |
|---------|--|----|-------|-----|----------|
| 看 護 学 部 | <看護相談室事業> ケア検討会9領域 家族看護学・精神看護学・がん看護学 小児看護学・母性看護学・地域看護学 老人看護学・看護管理学・慢性看護学 | 27 | 通年 | 574 | 保健医療関係者等 |
| | 看護教員対象の学習会9領域 家族看護学・精神看護学・がん看護学 小児看護学・母性看護学・地域看護学 老人看護学・看護管理学・慢性看護学 | 9 | 8~12月 | 113 | 看護教員等 |
| 文 化 学 部 | 県民開放授業 前期 [募集科目] 35科目 [受講者数] 93人 (35科目) 後期 [募集科目] 36科目 [受講者数] 89人 (36科目) | | | | |

2 学会その他の委員等の状況（平成17年度）

(1) 全国・国際学会の理事・幹事

| 学部 | 職名 | 氏名 | 学会名 | 理事・幹事の別 |
|--------|-----|-------|--------------------|-----------|
| 生活科学部 | 教授 | 大村 誠 | 国際測地学協会 | 小委員会4.4幹事 |
| | 教授 | 井本 正人 | 日本流通学会 | 理事 |
| | 教授 | 荻沼 一男 | 染色体学会 | 理事 |
| | 助教授 | 團野 哲也 | 日本繊維製品消費科学会 | 評議員 |
| | 教授 | 一色 健司 | コンピュータ利用教育協議会 | 理事・運営委員 |
| | 助教授 | 佐藤 之紀 | 日本調理科学会 | 中国・四国支部役員 |
| | 教授 | 宇野 浩三 | 北海道住まい・環境教育学会 | 会長 |
| | 教授 | 笠原 賀子 | 新潟栄養・食生活学会 | 幹事 |
| 文化学部 | 教授 | 鈴木滉二郎 | 文化経済学会 | 理事 |
| | 助教授 | 高岡 弘幸 | 土佐民俗学会 | 常任理事 |
| | 助教授 | 橋尾 直和 | 四万十・流域圏学会 | 理事・代表幹事 |
| 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 日本家族看護学会 | 副理事長 |
| | 教授 | 鈴木志津枝 | 日本がん看護学会 | 理事 |
| | 教授 | 山田 覚 | 日本災害看護学会 | 副理事長 |
| | 教授 | 中野 綾美 | 日本家族看護学会 | 理事 |
| | 助教授 | 長戸 和子 | 日本家族看護学会 | 幹事 |
| 社会福祉学部 | 教授 | 川崎 育郎 | 日本心理学会 | 専門別議員 |
| | | | 日本感情心理学会 | 理事 |
| | 教授 | 住友 雄資 | 日本地域福祉学会 | 理事 |
| | | | 日本精神障害者リハビリテーション学会 | 理事 |

(2) 公的機関が設置した審議会・委員会の委員等

| 学部 | 職名 | 氏名 | 審議会・委員会名等 | 発令者 |
|-------|------|----------|--------------------------|----------------|
| | 学長 | 青山 英康 | 高知県人権尊重の社会づくり協議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県食の安全・安心推進審議会 | 高知県知事 |
| | | | 新しい地域保健体制検討委員会アドバイザー会議 | 兵庫県知事 |
| | | | ひょうご健康づくり県民行動指標策定委員会 | 兵庫県知事 |
| | | | 高知県老人医療費問題検討委員会 | 高知県健康福祉部長 |
| | | | 岡山市保健所問題懇談会 | 岡山市長 |
| | | | 岡山市公衆衛生委員会 | 岡山市長 |
| | | | 健康市民おかやま21推進会議 | 岡山市長 |
| 生活科学部 | 教授 | 一色 健司 | 高知県環境審議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県環境影響評価技術審査会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員 | 高知県教育長 |
| | | | 新宇治川放水路地下水監視委員会 | いの町長 |
| | 教授 | 井本 正人 | 高知県NPOと行政との協働推進事業審査会 | 高知県文化環境部長 |
| | 教授 | 笠原 賀子 | 管理栄養士国家試験委員 | 厚生労働大臣 |
| | | | 「元気の素は食事から実践事業」検討委員会 | 高知県教育委員会教育長 |
| | | | 「食に関する指導の手引き-中学校用-」作成委員会 | 群馬県教育委員会教育長 |
| | 教授 | 川村美笑子 | 食の安心・安全推進協議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県科学アカデミー・ミッション総括委員 | 高知県知事 |
| | | | 高知県海洋深層水ミネラル調整液等商品化推進会議 | 高知県知事 |
| | | | 高知県地域家庭教育推進協議会 | 高知県教育委員会生涯学習課長 |
| | 教授 | 大村 誠 | 高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員 | 高知県教育長 |
| 教授 | 原 絢子 | 高知市環境審議会 | 高知市長 | |

| 学部 | 職名 | 氏名 | 審議会・委員会名等 | 発令者 |
|---------------------|-------|-----------------|-----------------------------------|-------------|
| 生活科学部 | 助教授 | 三浦 要一 | 史跡高松城跡建造物検討委員会 | 高松市教育委員会教育長 |
| | 助教授 | 風間 裕 | 高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員 | 高知県教育長 |
| | 助手 | 島崎佐智代 | 高知県建築審査会 | 高知県知事 |
| | 助手 | 島崎佐智代 | 高知県地方港湾審議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知市都市美審議会 | 高知市長 |
| | | | 高知市住宅審議会 | 高知市長 |
| | | | 高知市都市計画審議会 | 高知市長 |
| | 助手 | 堀内 和美 | 高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員 | 高知県教育長 |
| | | | 高知市里山保全審議会 | 高知市長 |
| | | | 高知市緑政審議会 | 高知市長 |
| 文化学部 | 教授 | 佐藤 恵里 | 高知県立文学館運営協議会 | 高知県知事 |
| | 助教授 | 五百蔵高浩 | 高知県立西高等学校スーパーイングリッシュハイスクール運営指導委員会 | 高知県教育長 |
| | 助教授 | 清原 泰治 | 高知県スポーツの歩み検討委員会 | 高知県教育長 |
| | | | 高知県スポーツの歩み編集委員会 | 高知県教育長 |
| | | | 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 | 池川町教育長 |
| | 助教授 | 岩倉 秀樹 | 高知県公文書開示審査会 | 高知県知事 |
| | | | 高知市放置自動車廃物判定委員会 | 高知市長 |
| | | | 高知市行政情報公開・個人情報保護審査会 | 高知市長 |
| 高知市議会情報公開・個人情報保護審査会 | | | 高知市議会議長 | |
| 講師 | 長妻由里子 | 高知地方労働審議会家内労働部会 | 高知労働局長 | |
| 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 高知県地方薬事審議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県看護職員需給見通し検討委員会 | 高知県知事 |

| 学部 | 職名 | 氏名 | 審議会・委員会名等 | 発令者 |
|------------------------|-----|-------|---|----------------|
| 看護学部 | 教授 | 中野 綾美 | 学校給食表彰候補学校選考審査会 | 高知県教育委員会教育長 |
| | | | 高知市社会福祉審議会 | 高知市長 |
| | 教授 | 時長 美希 | 高知市国民健康保険運営協議会 | 高知市長 |
| | | | 高知市建築審査会 | 高知市長 |
| | 教授 | 山田 覚 | 災害時健康管理体制整備推進事業検討委員会 | 高知県知事 |
| | | | 在宅要医療者災害支援事業検討委員会 | 高知県知事 |
| | 助教授 | 森下 安子 | 日高村高齢者保健福祉計画・介護保険計画策定委員会 | 日高村長 |
| | | | 日高村地域包括支援センター運営協議会 | 日高村長 |
| 社会福祉学部 | 教授 | 前山 智 | 高知県社会福祉審議会 | 高知県知事 |
| | 教授 | 栗田 明良 | 高知市社会福祉審議会 | 高知市長 |
| | 教授 | 川崎 育郎 | 高知県児童福祉審議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県青少年問題協議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県障害者就学指導委員会 | 高知県教育長 |
| | | | 高知市児童虐待予防ネットワーク会議 | 高知市長 |
| | 助教授 | 吉野由美子 | 高知県障害者施策推進協議会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県医療審議会 | 高知県知事 |
| | | | 県立身体障害者リハビリテーションセンター及び県立小高坂厚生センターの今後のあり方を考える会 | 高知県健康福祉部障害福祉課長 |
| | | | 高知市障害者計画推進協議会 | 高知市長 |
| | 助教授 | 宮上多加子 | 高知県地域教育力再生プラン事業運営協議会 | 高知県教育委員会教育長 |
| | 助教授 | 玉里恵美子 | 四国21世紀の道ビジョン推進懇談会 | 四国地方整備局長 |
| | | | 高知県農業経営・生産対策等に関する第三者委員会 | 高知県知事 |
| | | | 高知県高齢者保健福祉推進委員会 | 高知県知事 |
| 高知県立ふくし交流プラザ指定管理者審査委員会 | | | 高知県知事 | |

| 学部 | 職名 | 氏名 | 審議会・委員会名等 | 発令者 |
|--------|-----|-------|---------------------------|-------|
| 社会福祉学部 | 助教授 | 玉里恵美子 | 高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集評価委員会 | 高知市長 |
| | | | 大豊町行政文書開示審査会 | 大豊町長 |
| | | | 大豊町高齢者保健福祉推進委員会 | 大豊町長 |
| | 助教授 | 長澤紀美子 | 福祉サービス第三者評価推進委員会 | 高知県知事 |

3 刊行物、パンフレット等作成状況(平成17年度)

| 区 分 | 名 称 |
|-------------|--|
| 全 学 | 大学案内(日本語版・英語版) 学報 高知女子大学紀要 学生便覧 授業内容の概要(シラバス) オープンキャンパス(冊子・ポスター) KWU NEWS(地域創成センター) JICA 女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース 就活ハンドブック(2006年度版) 入学者選抜に関する要項 各入試の募集要項(看護学部編入学・社会福祉学部編入学・推薦入学・一般選抜・私費外国人留学生選抜・大学院3研究科) |
| 生 活 科 学 部 | 生活科学部報2005年版 |
| 文 化 学 部 | 平成17年度卒業研究概要集 文化学部の就職カタログ100 ポケット文化 文化学部活動記録(2004年度) 文化学部 県民開放授業受講生募集要項 平成17年度(前期) 文化学部 県民開放授業受講生募集要項 平成17年度(後期) |
| 看 護 学 部 | 看護学部ニュースレター 高知女子大学看護学会誌 高知女子大学看護学部地域貢献活動報告書 平成16年度・平成17年度 平成17年度看護学部活動報告書 |
| 社 会 福 祉 学 部 | 社会福祉学部報 高校生のための公開講座vol.6 2005年度版 こんにちは、社会福祉学部です。 2005年度 社会福祉実習報告 平成17年度リカレント教育講座 |
| 大 学 院 | 大学院案内 博士論文内容の要旨及び審査結果の要旨 授業内容の概要(大学院用) |

9 JICAプロジェクト

1 概要 (平成17年度)

| | |
|--------|--|
| コース名 | 「女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース」 |
| 研修期間 | 平成17年8月1日～平成17年8月12日 |
| 定員 | 8名 |
| 言語 | 英語 |
| 参加研修員数 | 9名 バングラデシュ、インドネシア、モンゴル、ネパール、パキスタン、 ウズベキスタン、ベトナム、アフガニスタン、カンボジアから各1名 |

2 プロジェクト担当教員

| | | |
|--------------|-----------|--------|
| 事業総括 | 文化学部長 | 水谷 洋一 |
| プロジェクトマネージャー | 生活科学部 助教授 | 團野 哲也 |
| サブマネージャー | 文化学部 助教授 | 高岡 弘幸 |
| サブマネージャー | 文化学部 講師 | 長妻 由里子 |

3 研修プログラム

| 年月日 | テ ー マ | 講 師 |
|----------|---------------------|---|
| H17.8.2 | 「高知県の歴史と文化」 | 宅間 一之(土佐女子短期大学教授) 高岡 弘幸(高知女子大学助教授) |
| H17.8.3 | 「アジア女性のエンパワーメントと開発」 | 織田由紀子((財)アジア女性交流・研究フォーラム 主席研究員) 長妻由里子(高知女子大学講師) |
| H17.8.4 | 「ジェンダー基礎論」 | 長妻由里子(高知女子大学講師) 古谷 滋子(こうち男女共同参画センター「ソーレ」) |
| H17.8.5 | 「日本における女性の生活史」 | 坂本 正夫(高知県立歴史民族資料館館長) 高岡 弘幸(高知女子大学助教授) |
| H17.8.6 | 「生活改善の考え方と役割」 | 井本 正人(高知女子大学教授) |
| H17.8.8 | 「女性の健康」 | 青山 英康(高知女子大学学長) 齋藤 信也(高知女子大学教授) |
| H17.8.9 | 「地域・家族と女性」 | 玉里恵美子(高知女子大学助教授) |
| H17.8.10 | 「女性と出産」 | 千浦 淑子(高知大学教授) |
| H17.8.11 | 「ドメスティック・バイオレンスと女性」 | 浦 周子(高知県女性相談所長) 武田 紀(高知ボランティア・ビューロー) |
| H17.8.12 | 「成果発表会」・「閉講式」 | - |

10 財 務

1 収入・支出の状況(平成17年度)

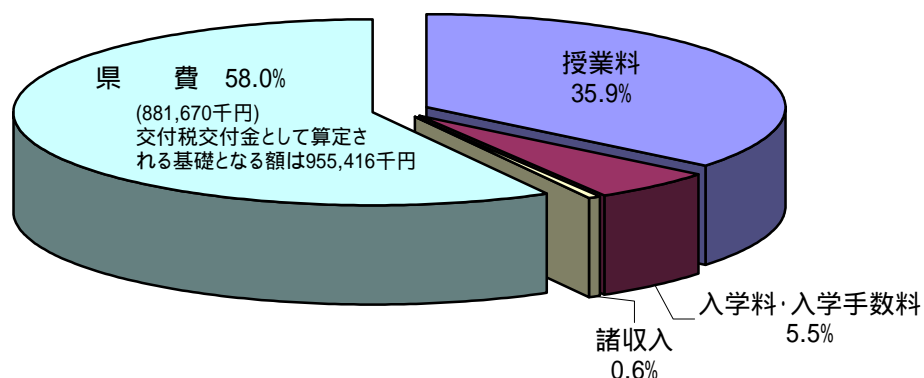
大学独自の収入(入学料や授業料など)は、収入全体の約42%で残りは県費でまかなわれている。また、教職員や非常勤講師などの人件費が支出全体の約75%を占めており、光熱水費などの施設維持経費と併せると支出全体の約90%が一般管理経費となっている。残り10%程度で教育・研究など大学独自の活動を行っている。

【収入の内訳】

単位:千円

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|-----------|---|
| 授 業 料 | 545,492 | 637,254千円(全体の約42%) 大学独自の収入(自主財源) 諸収入は、センター試験受託料・庁舎等使用料・労働保険料 |
| 入学料・入学手数料 | 83,016 | |
| 諸 収 入 | 8,746 | |
| 県 費 | 881,670 | 参考: 交付税基準財政需要額 955,416千円 内訳 保健系(看護学部・看護学研究科) @308千円×1325人(学生数208人×補正率6.37) = 408,100千円 文科系(文化学部) @308千円×348人(学生数348人×補正率1.00) = 107,184千円 家政系(生活科学部・社会福祉学部・人間生活学研究科・健康生活科学研究科) @308千円×1429人(学生数514人×補正率2.78) = 440,132千円 |
| 合 計 | 1,518,924 | |

< 収入の割合 >

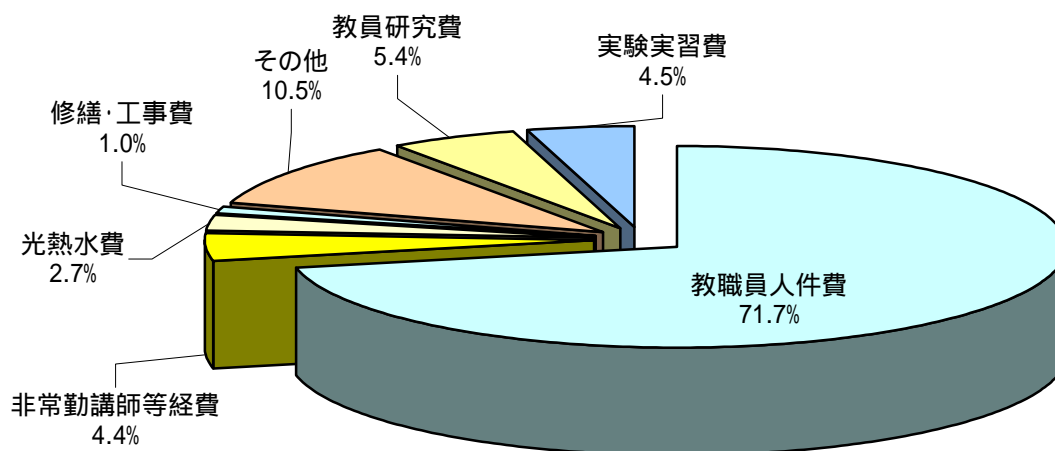


【支出の内訳】

単位:千円

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------------|-----------|--|
| 教 職 員 人 件 費 | 1,088,632 | 教員や事務局職員の人件費 |
| 非 常 勤 講 師 等 経 費 | 65,960 | 非常勤講師及び非常勤・臨時職員の人件費・旅費 |
| 光 熱 水 費 | 40,919 | 電気・水道・ガス等の経費 |
| 修 繕 ・ 工 事 費 | 14,876 | 校舎等の修繕・工事等の経費 主に永国寺キャンパスの施設改善のために使用 |
| そ の 他 | 158,975 | 各種委員会経費、情報機器・植栽の維持管理、学内の清掃、消耗品の購入等学校を運営していくための経費 |
| 教 員 研 究 費 | 81,729 | 主に教員の研究のための経費 |
| 実 験 実 習 費 | 67,833 | 主に授業や実習のための経費 |
| 合 計 | 1,518,924 | |

< 支出の割合 >



2 外部資金の状況

(1) 科学研究費補助金交付状況

【科学研究費補助金交付実績】

| 研究 種 目 | 研究代表者 | | | 研究分担者 | | | 研究 題 目 | 新規・ 継続・ 終了・ 転出の 別 | 研究 期 間 | 交付金額（千円） | | | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-----|-----------------------------------|---|-------------------------------|--------------|----------|-------|-------|-------|---------------|-------------------|--------|
| | 学 部 | 職 名 | 氏 名 | 学 部 | 職 名 | 氏 名 | | | | H 1 4 | H 1 5 | H 1 6 | H 1 7 | H 1 8 (予定) | H 1 9 (予 定) | 計 |
| 萌芽 研 究 | 文化学部 | 助教授 | 青木 淳 | | | | 聖遺物信仰の成立と信仰圏の形成過程に関する日欧比較研究 | 継続 | H15～17 | | 1,200 | 1,100 | 900 | | | 3,200 |
| | 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 看護学部 | 教授 | 中野 彩美 | 喘息疾患患児の家族対処とその効果に関する多元的データに基づいた有効な指標の同定 | 終了 | H14～16 | 1400 | 900 | 1,100 | | | | 3,400 |
| | | | | | 助教授 | 長戸 和子 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 講師 | 青木 典子 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 講師 | 川上 理子 | | | | | | | | | | |
| | | | 助手 | 瓜生 浩子 | | | | | | | | | | | | |
| 社会福祉学部 | 講師 | 長澤紀美子 | | | | ステイクホルダー参加型の保健医療福祉共同体のガバナンスに関する研究 | 継続 | H16～17 | | | 700 | 900 | | | 1,600 | |
| | 講師 | 長南 浩人 | | | | 人工内耳を装用した聴覚障害児の音韻意識の発達に関する研究 | 新規 | H17～18 | | | | 1,300 | 600 | | 1,900 | |
| 小 計 | | | | | | | | | | 1,400 | 2,100 | 2,900 | 3,100 | 600 | 0 | 10,100 |
| 若手 研 究 B | 生活科学部 | 助教授 | 三浦 要一 | | | | 明治中期から大正期の大阪市接続町村における市街地形成と「大大阪新開地」の成立 | 終了 | H15～16 | | 800 | 600 | | | | 1,400 |
| | 看護学部 | 講師 | 青木 典子 | | | | 精神障害者の症状マネジメントに関する研究 | 新規 | H16～17 | | | 1,600 | 1,200 | | | 2,800 |
| | | 講師 | 大川 宣容 | | | | クリティカルケアにおける看護師の看護援助技術に関する研究 | 継続 | H16～17 | | | 1,100 | 800 | | | 1,900 |
| | | 講師 | 川上 理子 | | | | 家族介護者の意欲を向上させるレスパイトケアのプログラム開発 | 継続 | H16～17 | | | 1,200 | 1,400 | | | 2,600 |
| | | 助手 | 瓜生 浩子 | | | | 家族 - 患者間の認知的ギャップを緩和するための看護ケアガイドラインの作成 | 継続 | H16～17 | | | 1,400 | 1,400 | | | 2,800 |

| 研究種目 | 研究代表者 | | | 研究分担者 | | | 研究題目 | 新規・継続・終了・転出の別 | 研究期間 | 交付金額(千円) | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------|-------|--|---------------|--------|----------|-------|-------|--------|---------|---------|---|--------|
| | 学部 | 職名 | 氏名 | 学部 | 職名 | 氏名 | | | | H14 | H15 | H16 | H17 | H18(予定) | H19(予定) | 計 | |
| 若手研究B | 看護学部 | 助手 | 平原 直子 | | | | クリティカルケアにおける意識障害患者の家族に対する看護ケアに関する研究 | 新規 | H17~18 | | | | 900 | 700 | | | 1,600 |
| | | 講師 | 池添 志乃 | | | | 家族の生活の再構築の比較脳血管障害患者と痴呆老人の家族の知恵の発達の視点から | 終了 | H15~16 | | 1,800 | 1,600 | | | | | 3,400 |
| | | 講師 | 松枝 睦美 | | | | 妊娠初期から育児期における女性を中心とした家族へのサポートシステムに関する研究 | 終了 | H15~16 | | 1,700 | 1,500 | | | | | 3,200 |
| | | 助手 | 新田 和子 | | | | 看護師の共感の技術を開発する教育プログラムの作成 | 転出 | H16~18 | | | 1,800 | | | | | 1,800 |
| | 小 計 | | | | | | | | | | 0 | 4,300 | 10,800 | 5,700 | 700 | 0 | 21,500 |
| 基盤研究B | 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 看護学部 | 教授 | 中野 綾美 | 難病患者と共に生きる家族の在宅生活を支える看護ケアガイドラインの開発 | 継続 | H16~18 | | | | 2,500 | 2,000 | 2,600 | | 7,100 |
| | | | | | 助教授 | 長戸 和子 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 講師 | 池添 志乃 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 講師 | 川上 理子 | | | | | | | | | | | |
| | 助手 | 瓜生 浩子 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 看護学部 | 教授 | 山田 真 | 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 精神科患者分類別看護問題・看護介過の開発とコンピュータプログラムの運用化の試み | 継続 | H14~17 | 3,400 | 2,600 | 3,200 | 3,700 | | | | 12,900 |
| | | | | | 教授 | 粕田 孝行 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 助手 | 池田 貴子 | | | | | | | | | | | |
| | 看護学部 | 教授 | 藤田 佐和 | 看護学部 | 教授 | 鈴木志津枝 | がん体験者の折り合いをつける力に着眼した長期的適応を促す看護援助プログラムの開発 | 継続 | H14~17 | 3,300 | 1,600 | 1,400 | 1,700 | | | | 8,000 |
| | | | | | 教授 | 森下 利子 | | | | | | | | | | | |
| 講師 | | | | | 大川 宣容 | | | | | | | | | | | | |
| 助手 | 水津 朋子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教授 | 鈴木志津枝 | | | | 在宅ターミナルケアに関する地域ネットワークシステムモデルの開発 | 継続 | H14~16 | 1,500 | 1,700 | 1,400 | | | | | 4,600 | | |
| 小 計 | | | | | | | | | 8,200 | 5,900 | 8,500 | 7,400 | 2,600 | 0 | 32,600 | | |

| 研究種目 | 研究代表者 | | | 研究分担者 | | | 研究題目 | 新規・継続・終了・転出の別 | 研究期間 | 交付金額(千円) | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-------|-------|---|---|--|--------|--------------------------------|--------|--------|-------|---------|---------|-------|
| | 学部 | 職名 | 氏名 | 学部 | 職名 | 氏名 | | | | H14 | H15 | H16 | H17 | H18(予定) | H19(予定) | 計 |
| 基盤研究C | 生活科学部 | 教授 | 井本 正人 | | | | 過疎地域における移動の円滑化に関する実証的研究 | 継続 | H16~18 | | | 1,100 | 800 | 1,000 | | 2,900 |
| | | 教授 | 大久保茂男 | | | | 原子核の虹散乱と核間相互作用・クラスター構造の研究 | 継続 | H16~19 | | | 1,200 | 700 | 800 | 700 | 3,400 |
| | | 教授 | 渡邊 文雄 | 生活科学部 | 助手 | 宮本 恵美 | 栄養補助食品(および飼料)スピルリナの栄養欠点の克服に関する研究 | 継続 | H15~17 | | 800 | 800 | 1,000 | | 2,600 | |
| | | 教授 | 荻沼 一男 | | | | 葉芽を利用した染色体による広義トウダイグサ科の核型進化 | 終了 | H15~16 | | 1,900 | 1,700 | | | 3,600 | |
| | 文化学部 | 助教授 | 高岡 弘幸 | | | | 高度経済成長期の地方都市におけるスーパーマーケット進出と民族文化変容の研究 | 終了 | H15~16 | | 700 | 500 | | | 1,200 | |
| | 看護学部 | 教授 | 中野 綾美 | 看護学部 | 助教授 | 益守かづき | 入院中の子ども・家族の看護者に対する『交渉』を支援する看護介入の開発 | 継続 | H15~17 | | 1,000 | 1,500 | 1,000 | | 3,500 | |
| | | 助手 | 佐東 美緒 | 教授 | 野嶋佐由美 | 脆弱性を有する個人と家族を対照とする地域看護活動分類と活動モデルの構築 | | 新規 | H17~19 | | | | 1,600 | 900 | 800 | 3,300 |
| | | 助教授 | 益守かづき | | | | 地域で生活している健康障害をもつ子どものヘルスプロモーションへの看護介入の構築 | 継続 | H16~18 | | | 2,200 | 500 | 900 | 3,600 | |
| | | 助教授 | 森下 安子 | | | | 看護学部 | 教授 | 時長 美希 | 介護予防と在宅生活の継続を支援するケアマネジメント指針の開発 | 新規 | H17~19 | | | | 1,100 |
| | | 講師 | 川上 理子 | 助手 | 松木 里江 | 高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活行動範囲回復のためのセルフケアプログラム開発 | 新規 | H17~19 | | | | | 1,100 | 400 | 500 | 2,000 |
| | | 講師 | 池添 志乃 | 看護学部 | 教授 | | 野嶋佐由美 | 脳血管障害患者と痴呆性高齢者の家族の介護キャリアを支える看護援助マニュアルの開発 | 新規 | | H17~19 | | | | 1,500 | 900 |

| 研究種目 | 研究代表者 | | | 研究分担者 | | | 研究題目 | 新規・継続・終了・転出の別 | 研究期間 | 交付金額 (千円) | | | | | | | | |
|-------|--------|-----|-------|--------|-----|--------------------------------------|---|---------------|--------|-----------|--------|--------|--------|----------|----------|-------|-------|-------|
| | 学部 | 職名 | 氏名 | 学部 | 職名 | 氏名 | | | | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 (予定) | H19 (予定) | 計 | | |
| 基盤研究C | 看護学部 | 助手 | 佐東 美緒 | 看護学部 | 教授 | 中野 綾美 | 「NICUを退院した子ども・家族のエンパワメントを支援するガイドライン」の開発 | 継続 | H16～18 | | | 1,900 | 800 | 900 | | | 3,600 | |
| | | | | | 助教授 | 益守かづき | | | | | | | | | | | | |
| | | 助教授 | 長 彦彦 | 看護学部 | 教授 | 鈴木志津枝 | がん体験者の長期的適応とその関連要因に関する国際比較研究 | 転出 | H16～17 | | | 1,500 | | | | | | 1,500 |
| | | | | | 教授 | 谷脇 文子 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 教授 | 藤田 佐和 | | | | | | | | | | | | |
| | | 助教授 | 長戸 和子 | | | 慢性疾患患者の家族のマネジメント力を測定するスケールの開発と実践への活用 | 終了 | H14～16 | 1,600 | 800 | 900 | | | | | 3,300 | | |
| | 社会福祉学部 | 教授 | 住友 雄資 | 社会福祉学部 | 助手 | 斎藤 征人 | 精神障害者の地域生活支援を実現するための住居確保に関する実証的研究 | 継続 | H16～18 | | | 1,200 | 800 | 800 | | | 2,800 | |
| | | | | | | | | | | 助教授 | 宮上多加子 | | | 1,100 | 900 | | | 2,000 |
| | | | | | | | | | | 教授 | 栗田 明良 | | | 1,400 | 1,400 | 500 | | |
| 小計 | | | | | | | | | 3,000 | 6,600 | 16,100 | 11,800 | 7,600 | 3,900 | 49,000 | | | |
| 合計 | | | | | | | | | 12,600 | 18,900 | 38,300 | 28,000 | 11,500 | 3,900 | 113,200 | | | |

【年次別科学研究費新規採択件数(研究種目別)】

| 区分 (科学研究費) | | 特定領域研究 | 萌芽研究 | 若手研究B | 基盤研究A | 基盤研究B | 基盤研究C | 計 |
|---------------|---------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----|
| 平成15年度 | 申請件数(件) | 0 | 4 | 12 | 0 | 2 | 17 | 35 |
| | 採択件数(件) | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 4 | 8 |
| 平成16年度 | 申請件数(件) | 1 | 3 | 12 | 0 | 5 | 15 | 36 |
| | 採択件数(件) | 0 | 1 | 4 | 0 | 1 | 7 | 13 |
| 平成17年度 | 申請件数(件) | 0 | 5 | 9 | 0 | 3 | 14 | 31 |
| | 採択件数(件) | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 6 |

| 区分 (研究成果公開促進費) | | 研究成果 公開発表 | 学術定期 刊行物 | 学術図書 | データ ベース | 計 |
|-------------------|---------|--------------|-------------|------|------------|---|
| 平成17年度 | 申請件数(件) | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 採択件数(件) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【年次別科学研究費新規採択件数(学部別)】

| 区 分 (科学研究費) | | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 計 |
|----------------|---------|-------|------|------|--------|-----|
| 平成15年度 | 教員数(人) | 32 | 21 | 27 | 12 | 92 |
| | 申請件数(件) | 14 | 8 | 7 | 6 | 35 |
| | 申請率 | 44% | 38% | 26% | 50% | 38% |
| | 採択件数(件) | 3 | 2 | 3 | 0 | 8 |
| 平成16年度 | 教員数(人) | 29 | 22 | 27 | 14 | 92 |
| | 申請件数(件) | 10 | 5 | 16 | 5 | 36 |
| | 申請率 | 34% | 23% | 59% | 36% | 39% |
| | 採択件数(件) | 2 | 0 | 8 | 3 | 13 |
| 平成17年度 | 教員数(人) | 31 | 23 | 27 | 12 | 93 |
| | 申請件数(件) | 11 | 8 | 10 | 2 | 31 |
| | 申請率 | 35% | 35% | 37% | 17% | 33% |
| | 採択件数(件) | 0 | 0 | 5 | 1 | 6 |

| 区 分 | | 生活科学部 | 文化学部 | 看護学部 | 社会福祉学部 | 計 |
|--------|---------|-------|------|------|--------|----|
| 平成17年度 | 教員数(人) | 31 | 23 | 27 | 12 | 93 |
| | 申請件数(件) | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 申請率 | 0% | 0% | 0% | 8% | 1% |
| | 採択件数(件) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(2) 奨学寄附金受入状況(※平成15年度から実施)

| H15 | 寄附を受けた者 | | | 金額(円) | 寄附者 | 研究題目 |
|-----|---------|-----|-------|------------|---------------------|-------------------------|
| 1 | — | 学長 | 青山 英康 | ¥4,500,000 | 本人 | 高知女子大学における教育研究の奨励 |
| 2 | 生活科学部 | 教授 | 渡邊 文雄 | ¥500,000 | マイクロアルジェコーポレーション(株) | 円石藻利用についての基礎研究 |
| 3 | 社会福祉学部 | 助教授 | 住友 雄資 | ¥590,000 | (財)三菱財団 | 精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究 |
| 合計 | | 3件 | | ¥5,590,000 | | |

| H16 | 寄附を受けた者 | | | 金額(円) | 寄附者 | 研究題目 |
|-----|---------|-----|-------|------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1 | — | 学長 | 青山 英康 | ¥17,000 | 本人 | 高知女子大学における教育研究の奨励 |
| 2 | — | 学長 | 青山 英康 | ¥1,000,000 | 高知女子大学教職員組合 | 高知女子大学における教育研究の奨励 |
| 3 | 生活科学部 | 教授 | 渡邊 文雄 | ¥500,000 | マイクロアルジェコーポレーション(株) | 円石藻利用についての基礎研究 |
| 4 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | ¥300,000 | 有限会社 創友 | ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験 |
| 5 | 生活科学部 | 助手 | 川口 順子 | ¥300,000 | 財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団 | 高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について |
| 6 | 社会福祉学部 | 助教授 | 住友 雄資 | ¥210,000 | (財)三菱財団 | 精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究 |
| 合計 | | 6件 | | ¥2,327,000 | | |

| H17 | 寄附を受けた者 | | | 金額(円) | 寄附者 | 研究題目 |
|-----|---------|----|--|-------|-----|------|
| | 実績なし | | | | | |
| 合計 | | 0件 | | ¥0 | | |

3 学長特別枠助成事業の状況

【学長特別枠助成事業実績(平成17年度)】

| 事業名 | No. | 代表者 | | | 研究題目 | 助成費 (千円) |
|--------|-----|--------|-----|-------|--|-------------|
| | | 学部 | 職名 | 氏名 | | |
| 国際研究活動 | 1 | 生活科学部 | 教授 | 井本 正人 | Study on the National Minimum Standards for Public Transportation in Depopulated Areas | 300 |
| | 2 | 生活科学部 | 教授 | 大久保茂男 | 虹散乱における相互作用とクラスター構造の研究 | 300 |
| | 3 | 生活科学部 | 教授 | 大村 誠 | 地球観測の研究における国際交流及び研究活動 | 243 |
| | 4 | 生活科学部 | 教授 | 荻沼 一男 | スリランカ(民主社会主義共和国)固有の被子植物群の基礎遺伝学的研究 | 452 |
| | 5 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 本学と地方自治体(高知・サンパウロ)の国際協力プロジェクト - 本学の国際交流のさらなる発展のための - | 300 |
| | 6 | 生活科学部 | 教授 | 笠原 賀子 | People to People Ambassador Programsへの参加 | 770 |
| | 7 | 生活科学部 | 助教授 | 團野 哲也 | Dyeing Characteristics of Tyrian Purple - Preparation, Redox and Color Fastness to light of 6,6' -Dibromoindigo- 貝紫の染色性について - 6,6' -ジプロモインデイゴの合成、酸化還元、耐光堅ろう性 - | 230 |
| | 8 | 生活科学部 | 助教授 | 松本 由香 | 東南アジアにおける衣生活の変容とファッション化についての研究 | 300 |
| | 9 | 文化学部 | 教授 | 水谷 洋一 | 国際交流の促進 | 384 |
| | 10 | 文化学部 | 助教授 | 青木 淳 | フィールド実習 で行うヨーロッパ美術見学会の旅費(講師分) | 352 |
| | 11 | 文化学部 | 助教授 | 青木 淳 | ドイツ・フランケン地方における聖遺物信仰に関する研究 | 30 |
| | 12 | 社会福祉学部 | 助教授 | 吉野由美子 | 国際研究活動推進事業 | 300 |
| | | 小 計 | | | 12件 | 3,961 |
| 地域貢献推進 | 13 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 仁淀川流域(日高村、佐川町、越知町、池川町、吾川村、仁淀村)における高齢者の南海地震に備えての健康づくり - 特に非常時における元気の出る食の提供(災害栄養学) - | 328 |
| | 14 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 沖の島での健康づくりから生きがいづくりへ | 500 |
| | 15 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 「東津野村から「新しい健康食」の開発・展開」 | 300 |
| | 16 | 生活科学部 | 助教授 | 松本 由香 | 土佐和紙の歴史と生活デザインへの展開についての研究 | 200 |
| | 17 | 生活科学部 | 助手 | 堀内 和美 | 人工林の間伐区域と非間伐区域の植生の季節遷移調査 | 500 |
| | 18 | 文化学部 | 助教授 | 青木 淳 | 室戸市金剛頂寺所蔵文化財の調査 | 500 |
| | 19 | 文化学部 | 助教授 | 清原 泰治 | 「中山間地域における総合型地域スポーツクラブの設立に関する研究 - 池川町を事例として -」 | 200 |
| | 20 | 文化学部 | 助教授 | 清原 泰治 | 「高知県のスポーツ史に関する研究 - 地域スポーツ文化の向上を目指す歴史書『高知県スポーツの歩み』執筆のための史料収集 -」 | 180 |
| | 21 | 文化学部 | 助教授 | 橋尾 直和 | 焼畑の復元による中山間地域・流域圏の活性化 | 289 |
| | 22 | 看護学部 | 教授 | 鈴木志津枝 | 高知医療センターと看護学部との連携型ユニフィケーション:看護相談室の立ち上げ | 300 |
| | 23 | 社会福祉学部 | 助教授 | 玉里恵美子 | 地域福祉計画策定における住民参加のあり方について | 681 |
| | 24 | 社会福祉学部 | 助教授 | 宮上多加子 | [歯科における定期的管理(メンテナンス)の有用性]リコールシステムを用いて | 371 |
| | | 小 計 | | | 12件 | 4,349 |

| 事業名 | No. | 代表者 | | | 研究題目 | 助成費 (千円) |
|--------|-----|-------|-----|-------|--|-------------|
| | | 学部 | 職名 | 氏名 | | |
| 学内教育改善 | 25 | 生活科学部 | 教授 | 笠原 賀子 | 学内教育改善推進事業 | 600 |
| | 26 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 国際学会及び英文論文作成に向けた高知女子大学大学院学生の指導 | 500 |
| | 27 | 生活科学部 | 助教授 | 松本 由香 | 日本の伝統衣文化体験実習～浴衣を着てみよう～ | 108 |
| | 28 | 生活科学部 | 講師 | 松井 慶子 | 学内教育改善推進事業 | 826 |
| | 29 | 文化学部 | 教授 | 佐藤 恵理 | 民族芸能学会大会実行委員会運営 | 100 |
| | 30 | 文化学部 | 助教授 | 五百蔵高浩 | 共通教育英語教育改善に向けて | 245 |
| | 31 | 文化学部 | 助教授 | 高西 成介 | モンゴルにおける日本語教育の現状に関する講演会開催 | 20 |
| | 32 | 文化学部 | 助教授 | 東原 伸明 | 大学における文学の位相と文学の教育調査・研究 - 日・中・米文学の協同的实践 - | 800 |
| | 33 | 文化学部 | 助教授 | 東原 伸明 | 高知女子大学ホームページリニューアル | 350 |
| | 34 | 看護学部 | 教授 | 鈴木志津枝 | 看護学部臨地実習を円滑に行うための備品の充実 | 1,182 |
| | 35 | 看護学部 | 教授 | 鈴木志津枝 | 看護学部臨地実習を円滑に行うための備品の充実 | 2,028 |
| | 36 | 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 日本家族看護学会事務局運営 | 100 |
| | 37 | 看護学部 | 教授 | 野嶋佐由美 | 日本看護系大学協議会・専門看護師教育課程認定委員会事務局運営 | 100 |
| | 38 | 看護学部 | 教授 | 藤田 佐和 | 教員の能力開発プログラムの作成とファカルティ・ディベロップメント(FD) | 300 |
| | 39 | 看護学部 | 教授 | 時長 美希 | 女性の健康課題への支援強化事業 | 300 |
| | 40 | 事務局 | 主任 | 梅原 博子 | 携帯電話の女子大ホームページ「事務局への意見・相談箱」の設置 | 42 |
| | | 小 計 | | | 16件 | 7,601 |
| 産学連携研究 | 41 | 生活科学部 | 教授 | 川村美笑子 | 「唾液にみる栄養素の口腔内への影響に関するモニタリングの開発」 | 500 |
| | 42 | 生活科学部 | 教授 | 佐藤 厚 | 行動変容のためのバナー開発 | 585 |
| | 43 | 看護学部 | 教授 | 森下 安子 | 「ICF」を活用した高齢者ケアのケアプラン、評価に関するコンピューターソフトプログラムの開発 | 500 |
| | | | 小 計 | | | 3件 |
| その他 | 44 | 事務局 | 主事 | 谷岡 優花 | 女子大知名度アップのためのパンフレット作成 | 242 |
| | | | 小 計 | | | 1件 |
| | | 合 計 | | | 44件 | 17,738 |

【年次別学長特別枠助成事業実績】

| 事業名 | 平成15年度 | | 平成16年度 | | 平成17年度 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 採択件数 | 金額 | 採択件数 | 金額 | 採択件数 | 金額 |
| 国際研究活動 | 7 | 1,787 | 7 | 1,989 | 12 | 3,961 |
| 地域貢献推進 | 12 | 3,552 | 16 | 6,300 | 12 | 4,349 |
| 学内教育改善 | 6 | 1,455 | 9 | 2,591 | 16 | 7,601 |
| 産学連携研究 | 2 | 1,000 | 3 | 2,620 | 3 | 1,585 |
| その他 | 12 | 6,632 | - | - | 1 | 242 |
| 計 | 39 | 14,426 | 35 | 13,500 | 44 | 17,738 |

11 キャンパス

1 土地

| 区 分 | 所 在 地 | 面 積(m ²) |
|--------------------|-------------------------|----------------------|
| 校舎敷地 | 高知市永国寺町5番15号 | 11,313.00 |
| 校舎敷地 | 高知市永国寺町6番28号 | 3,115.98 |
| 校舎敷地 | 高知市池2751-1 | 31,586.00 |
| 集団給食実習室敷地 運動場敷地 | 高知市永国寺町2番25号 | 7,406.00 |
| 運動場敷地 | 高知市池2532-2 | 9,620.00 |
| 多目的広場・大学駐車場 | 高知市池2469-1 | 23,963.00 |
| 学生寮教職員宿舎敷地 | 高知市東石立町17番2号 | 2,653.00 |
| 学長公舎敷地 | 高知市南久万字長田190番4号 | 458.00 |
| 瀬戸教職員宿舎敷地 | 高知市瀬戸西町3丁目132.140.141番地 | 627.12 |
| 東城山教員宿舎敷地 | 高知市東城山町字西川原田124番3 | 828.41 |
| 池教員宿舎敷地 | 高知市池2160-1 | 3,226.00 |
| 朝倉教員宿舎敷地 | 高知市朝倉本町1丁目210-3 | 281.00 |
| 鴨部教員宿舎敷地 | 高知市鴨部1258-1 | 568.51 |
| その他(法面等) | 高知市池2155-1 ほか | 9,957.00 |
| 計 | | 105,603.02 |

2 建 物

| 区 分 | 所 在 地 | 面 積(m ²) |
|------------|-------------------------|----------------------|
| 校 舎 | 高知市永国寺町5番15号 | 6,631.48 |
| 図書館 | " | 1,401.48 |
| 自転車置場 | " | 44.10 |
| 講堂兼体育館 | " | 1,237.54 |
| 南校舎 | 高知市永国寺町6番28号 | 3,213.96 |
| 自転車置場 | " | 134.00 |
| 学生会館 | " | 1,434.85 |
| 校 舎 | 高知市池2751-1 | 12,565.89 |
| 体育館 | " | 3,337.16 |
| 自転車置場 | " | 262.50 |
| 集団給食実習室 | 高知市永国寺町2番25号 | 247.50 |
| 部室・器具庫等 | " | 129.48 |
| 弓道場 | " | 49.25 |
| グラウンド内トイレ等 | 高知市池2751-1 | 67.20 |
| 学生寮 | 高知市東石立町17番2号 | 1,173.02 |
| 教職員宿舎 | " | 684.48 |
| " | 高知市東城山町西川原田124番3号 | 746.76 |
| 学長公舎 | 高知市南久万字長田190番4号 | 117.47 |
| 瀬戸教職員宿舎 | 高知市瀬戸西町3丁目132.140.141番地 | 317.52 |
| 朝倉教員宿舎 | 高知市鴨部1258-1 | 134.02 |
| 鴨部教員宿舎 | 高知市鴨部1258-1 | 278.60 |
| 池教員宿舎 | 高知市池2160-10 | 1,116.19 |
| 計 | | 35,324.45 |

高知県立

高知女子大学

〒780-8515 高知県高知市永国寺町 5 番 15 号

TEL 088-873-2156 (代表)

FAX 088-873-3934

<http://www.kochi-wu.ac.jp/>